
第3章 産業の現況と課題

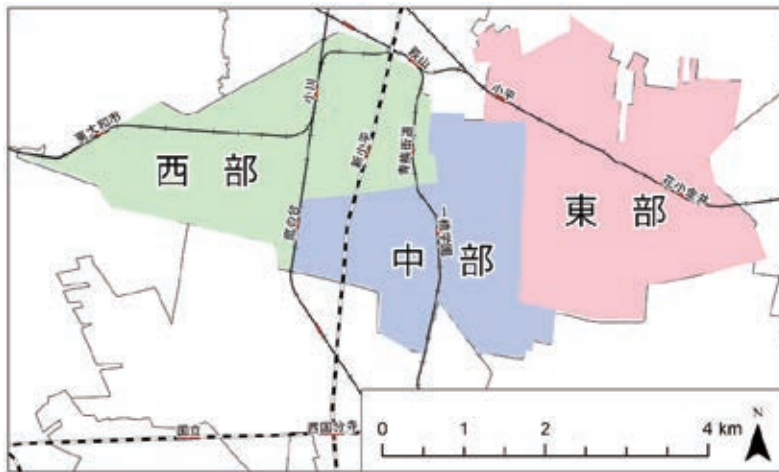
1. 調査概要

平成 29 年度に策定する小平市産業振興基本計画及び小平市農業振興計画の基礎資料とするため、市民意識調査、事業所動向調査、従業員意識調査、農家意向調査を実施した。さらに、小平市内の商店会、事業所、農家にヒアリング調査を実施し、アンケート調査の内容と比較しながら検討を行った。なお、送付した調査票については第 5 章の付録に記載した。

	対象者	日程	結果
市民意識調査	アンケート送付件数 2,000 件 (内 1,995 件到達、5 件不達) ・市内に住所を有する 18 歳以上の市民 ・10 歳毎の年代別人口割合に応じた無作為抽出	発送：平成 28 年 9 月 23 日(金) 締切：平成 28 年 10 月 11 日(火)	回収率：642 件(32.2%) 有効回答：635 件(31.8%) ※無効回答：7 件
事業所動向調査	アンケート送付件数 1,025 件 (内 1,019 件到達、6 件不達) ・市内に関連する事業所 ・帝国データバンクから抽出	発送：平成 28 年 9 月 23 日(金) 締切：平成 28 年 10 月 11 日(火)	回収率：382 件(37.5%) 有効回答：377 件(37.0%) ※無効回答：5 件
	市内の商店会へのヒアリング	平成 28 年 10 月 11 日(火)～ 平成 28 年 11 月 4 日(金)	商店会：6 件
	市内企業へのヒアリング	平成 28 年 10 月 11 日(火)～ 平成 28 年 11 月 4 日(金)	事業所：14 件
従業員意識調査	アンケート協力依頼 9 事業所	平成 28 年 10 月 11 日(火)～ 平成 28 年 10 月 31 日(月)	回収率：179 件 有効回答：179 件 ※無効回答：0 件
農家意向調査	アンケート送付件数 352 件 ・市内の全農家 ・東京むさし農業協同組合会員及び作付け調査の結果などから抽出	発送：平成 28 年 9 月 23 日(金) 締切：平成 28 年 10 月 11 日(火)	回収率：306 件(86.9%) 有効回答：294 件(83.5%) ※無効回答：12 件
	農家へのヒアリング	平成 28 年 10 月 11 日(火)～ 平成 28 年 11 月 4 日(金)	農家：12 件

調査報告書の見方

- 1 市民意識調査、事業所動向調査、従業員意識調査、農家意向調査については、実施した全ての設問について回答結果を掲載している。
- 2 集計は小数点第2位を四捨五入している。
- 3 複数回答の設問では、有効回答者数を基数として各項目の割合を算出しているため、各項目の割合を合計しても100%にならない、又は超えることがある。
- 4 各設問において、特に明記されていない場合、数値は件数を表す。
- 5 購買行動における小平市の地域区分については、花小金井、花小金井南町、大沼町、天神町、鈴木町、御幸町、回田町、美園町を小平市東部地域に、仲町、学園東町、学園西町、津田町、喜平町、上水南町、上水本町を小平市中部地域に、小川東町、小川町、上水新町、小川西町、たかの台、栄町、中島町を小平市西部地域として集計した。



- 6 本文中で使用している「スコア」とは、設問ごとに各項目における回答を点数化し、回答者全員の平均を算出したものと定義する。なお、小数点第3位を四捨五入している。

項目とスコア	使用設問			
	市民意識調査	事業所動向調査	従業員意識調査	農家意向調査
非常に当てはまる 4 ~ 1 全くあてはまらない	問2、問3、問11	-	問2、問3	-
評価できる 4 ~ 1 評価できない	問15	-	-	-
ほぼ毎日 4 ~ 1 全く利用しない	問5	-	-	-
非常に重視している 5 ~ 1 全く重視していない	-	問7	-	-
増加傾向 5 ~ 1 減少傾向	-	問5	-	-

- 7 質問文で「当てはまるもの 2 つまで ○印をつけてください」といったように、複数回答が可能な設問において、規定数を超過して○をつけた回答がみられた。本報告書では、規定数を超過して○をつけた回答を除いて集計する場合と、規定数を超過して○をつけた回答を加えて集計する場合とで両者に大きな傾向の差が認められないことを確認したうえで、回答者の意見を多く反映させる観点から、後者の方法により集計した結果を掲載している。

2. 市民意識調査結果

1) 回答者の属性について

問 1. 以下の項目について、それぞれ当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。

表 3-1 は回答者の性別を表している。「女性(316 件、52.3%)」が「男性(288 件、47.7%)」よりやや多い。

表 3-1 性別

	件数	割合
男性	288	47.7%
女性	316	52.3%
合計	604	100.0%

表 3-2 及び表 3-3 は、回答者の年代と世帯構成を表している。年代をみると、最も多かったのは、「70 歳以上(148 件、23.3%)」であり、次いで「60 歳代(126 件、19.9%)」であった。

世帯構成をみてみると、「親と子どもの 2 世代家族(312 件、49.3%)」が最も多く、次いで「夫婦のみの世帯(191 件、30.2%)」、「一人暮らし(73 件、11.5%)」であった。

表 3-2 年代

	件数	割合
10歳代(18歳以上)	12	1.9%
20歳代	85	13.4%
30歳代	80	12.6%
40歳代	92	14.5%
50歳代	91	14.4%
60歳代	126	19.9%
70歳以上	148	23.3%
合計	634	100.0%

表 3-3 世帯構成

	件数	割合
1. 一人暮らし	73	11.5%
2. 夫婦のみの世帯	191	30.2%
3. 親と子どもの2世代家族	312	49.3%
4. 祖父母と親と子どもの3世代家族	24	3.8%
5. その他	33	5.2%
合計	633	100.0%

表 3-4 は、回答者の同居家族の人数を表している。「2 人(212 件、34.3%)」が最も多く、次いで「3 人(154 件、24.9%)」、「4 人(129 件、20.9%)」であった。

表 3-4 同居家族の人数

	件数	割合
1人	70	11.3%
2人	212	34.3%
3人	154	24.9%
4人	129	20.9%
5人	39	6.3%
6人	11	1.8%
7人以上	3	0.5%
合計	618	100.0%

表 3-5 は、回答者の居住年数を表している。最も多かった回答は、「20 年以上(275 件、44.0%)」であり、次いで「10 年以上 20 年未満(175 件、28.0%)」であった。これらを合わせると、回答者の 72.0%が居住年数 10 年以上となっている。一方、最も少なかった回答は、「5 年以上 10 年未満(64 件、10.2%)」であった。

表 3-5 居住年数

	件数	割合
1. 5年未満	111	17.8%
2. 5年以上10年未満	64	10.2%
3. 10年以上20年未満	175	28.0%
4. 20年以上	275	44.0%
合計	625	100.0%

表 3-6 及び図 3-1 は、回答者の普段利用する駅を表している。最も利用する割合が多かった駅は「11.花小金井駅(134件、23.5%)」であり、次いで「10.小平駅(87件、15.2%)」と、上位2駅が西武新宿線の駅であった。3位以降は、西武多摩湖線の「8.一橋学園駅(71件、12.4%)」、西武国分寺線の「2.鷹の台駅(52件、9.1%)」、JR・西武線の「9.国分寺駅(52件、9.1%)」という結果であった。

表 3-6 普段利用する駅

	件数	割合
1. 東大和市駅	32	5.6%
2. 鷹の台駅	52	9.1%
3. 小川駅	47	8.2%
4. 八坂駅	2	0.4%
5. 萩山駅	4	0.7%
6. 新小平駅	30	5.3%
7. 青梅街道駅	15	2.6%
8. 一橋学園駅	71	12.4%
9. 国分寺駅	52	9.1%
10. 小平駅	87	15.2%
11. 花小金井駅	134	23.5%
12. 武蔵小金井駅	31	5.4%
13. その他	8	1.4%
14. 駅は利用しない	6	1.1%
合計	571	100.0%

図 3-1 普段利用する駅

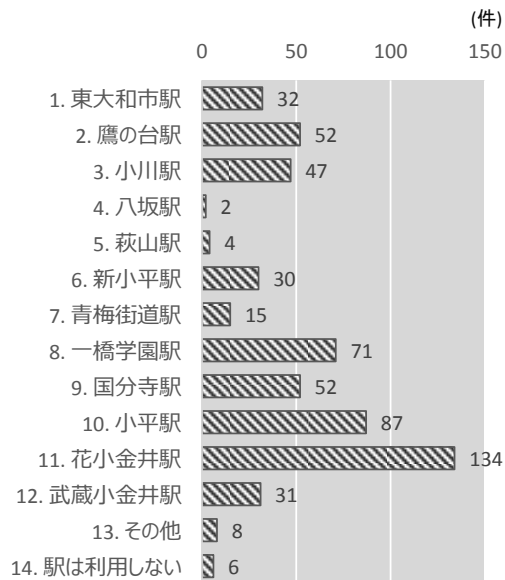


表 3-7 及び図 3-2 は、回答者の世帯年収を表している。「200万円以上400万円未満(164件、27.2%)」が最も多く、次いで「400万円以上600万円未満(121件、20.1%)」であった。

表 3-7 世帯年収

	件数	割合
1. 200万円未満	73	12.1%
2. 200万円以上400万円未満	164	27.2%
3. 400万円以上600万円未満	121	20.1%
4. 600万円以上800万円未満	90	15.0%
5. 800万円以上1,000万円未満	75	12.5%
6. 1,000万円以上1,200万円未満	52	8.6%
7. 1,200万円以上1,400万円未満	9	1.5%
8. 1,400万円以上	18	3.0%
合計	602	100.0%

図 3-2 世帯年収

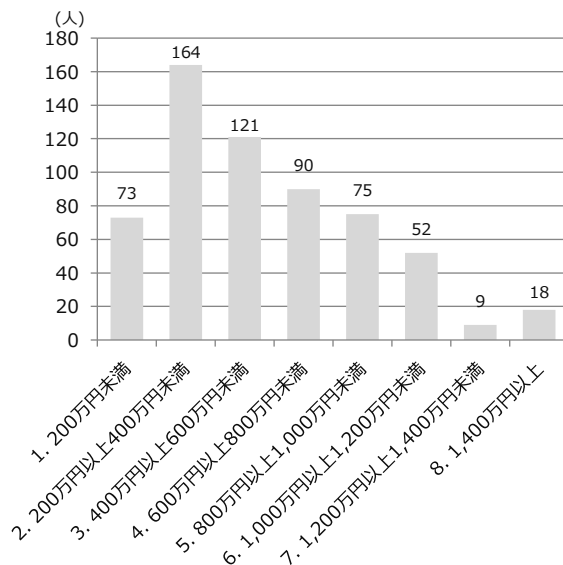


表 3-8 及び図 3-3 は回答者の勤務状況を表している。「1.正規雇用(184 件、29.7%)」が最も多く、次いで「6.無職(年金生活含む)(133 件、21.5%)」であった。

表 3-8 勤務状況

	件数	割合
1. 正規雇用	184	29.7%
2. パート・アルバイト	64	10.3%
3. 派遣・嘱託・契約社員	40	6.5%
4. 自営業主(家族従業者)	38	6.1%
5. 家事(主婦・主夫)	97	15.7%
6. 無職(年金生活含む)	133	21.5%
7. 学生	49	7.9%
8. その他	14	2.3%
合計	619	100.0%

図 3-3 勤務状況

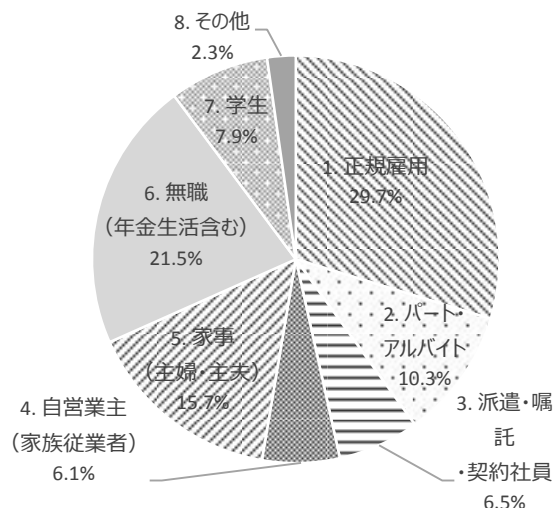
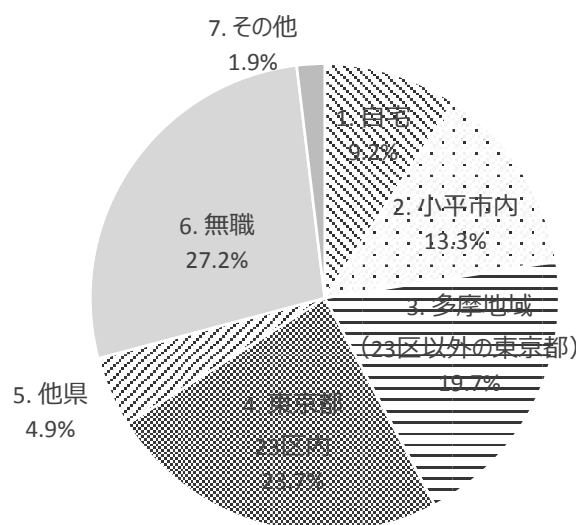


表 3-9 及び図 3-4 は回答者の勤務先を表している。「6.無職」を除くと「4.東京都 23 区内(136 件、23.7%)」が最も多く、次いで「3.多摩地域(23 区以外の東京都)(113 件、19.7%)」であった。また、小平市内に勤務先がある方は、「2.小平市内(76 件、13.3%)」と「1.自宅(53 件、9.2%)」を合わせて 22.5%であった。

表 3-9 勤務先

	件数	割合
1. 自宅	53	9.2%
2. 小平市内	76	13.3%
3. 多摩地域(23区以外の東京都)	113	19.7%
4. 東京都23区内	136	23.7%
5. 他県	28	4.9%
6. 無職	156	27.2%
7. その他	11	1.9%
合計	573	100.0%

図 3-4 勤務先



2) まちづくりについて

問 2. あなたは小平市のまちについて、現状どのように感じていますか。以下の(ア)～(ソ)の項目について、それぞれ当てはまる度合いとして最も適切なもの1つに○印をつけてください。

表 3-10 は、小平市のまちの現状を表している。「非常に当てはまる」と回答した割合が高かった項目は、「(ソ)自然や農との関わりが多い(112件、18.2%)」であり、次いで「(ウ)公共交通の利便性が高い(74件、12.1%)」、「(コ)街並み・景観が良い(59件、9.7%)」であった。

一方、「全く当てはまらない」と回答した割合が高かったのは、「(サ)観光拠点や宿泊施設が充実している(297件、48.5%)」、次いで、「(キ)商店街が魅力的である(222件、36.3%)」、「(カ)商業施設が充実している(163件、26.9%)」であった。

表 3-10 小平市のまちの現状

	非常に当てはまる		やや当てはまる		あまり当てはまらない		全く当てはまらない		合計		スコア
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
(ア) 市外から訪れる人が多い	9	1.5%	115	18.9%	394	64.7%	91	14.9%	609	100.0%	2.07
(イ) 市民同士のつながりが密である	10	1.6%	247	40.4%	314	51.4%	40	6.5%	611	100.0%	2.37
(ウ) 公共交通の利便性が高い	74	12.1%	277	45.1%	215	35.0%	48	7.8%	614	100.0%	2.61
(エ) 事業をしやすい・始めやすい環境である	5	0.9%	84	14.3%	400	68.1%	98	16.7%	587	100.0%	1.99
(オ) 市内に事業所・勤め先が多い	5	0.8%	138	23.1%	371	62.1%	83	13.9%	597	100.0%	2.11
(カ) 商業施設が充実している	10	1.7%	94	15.5%	339	55.9%	163	26.9%	606	100.0%	1.92
(キ) 商店街が魅力的である	11	1.8%	57	9.3%	321	52.5%	222	36.3%	611	100.0%	1.77
(ク) レジャー・スポーツ施設が充実している	6	1.0%	118	19.3%	343	56.1%	144	23.6%	611	100.0%	1.98
(ケ) 祭りやイベントが充実している	28	4.6%	241	39.7%	283	46.6%	55	9.1%	607	100.0%	2.40
(コ) 街並み・景観が良い	59	9.7%	296	48.5%	211	34.6%	44	7.2%	610	100.0%	2.61
(ク) 観光拠点や宿泊施設が充実している	1	0.2%	23	3.8%	291	47.5%	297	48.5%	612	100.0%	1.56
(シ) 子育て・教育環境が充実している	30	5.0%	290	47.9%	233	38.5%	52	8.6%	605	100.0%	2.49
(ス) 生涯学習環境が充実している	18	3.0%	218	36.0%	316	52.2%	53	8.8%	605	100.0%	2.33
(セ) 医療・介護環境が充実している	36	5.9%	298	48.7%	235	38.4%	43	7.0%	612	100.0%	2.53
(ソ) 自然や農との関わりが多い	112	18.2%	378	61.6%	105	17.1%	19	3.1%	614	100.0%	2.95

問 3. あなたは小平市のまちが今後どのように変化したら、市民の暮らしがより豊かになると感じますか。以下の(ア)～(ソ)の項目について、それぞれ当てはまる度合いとして最も適切なもの1つに○印をつけてください。

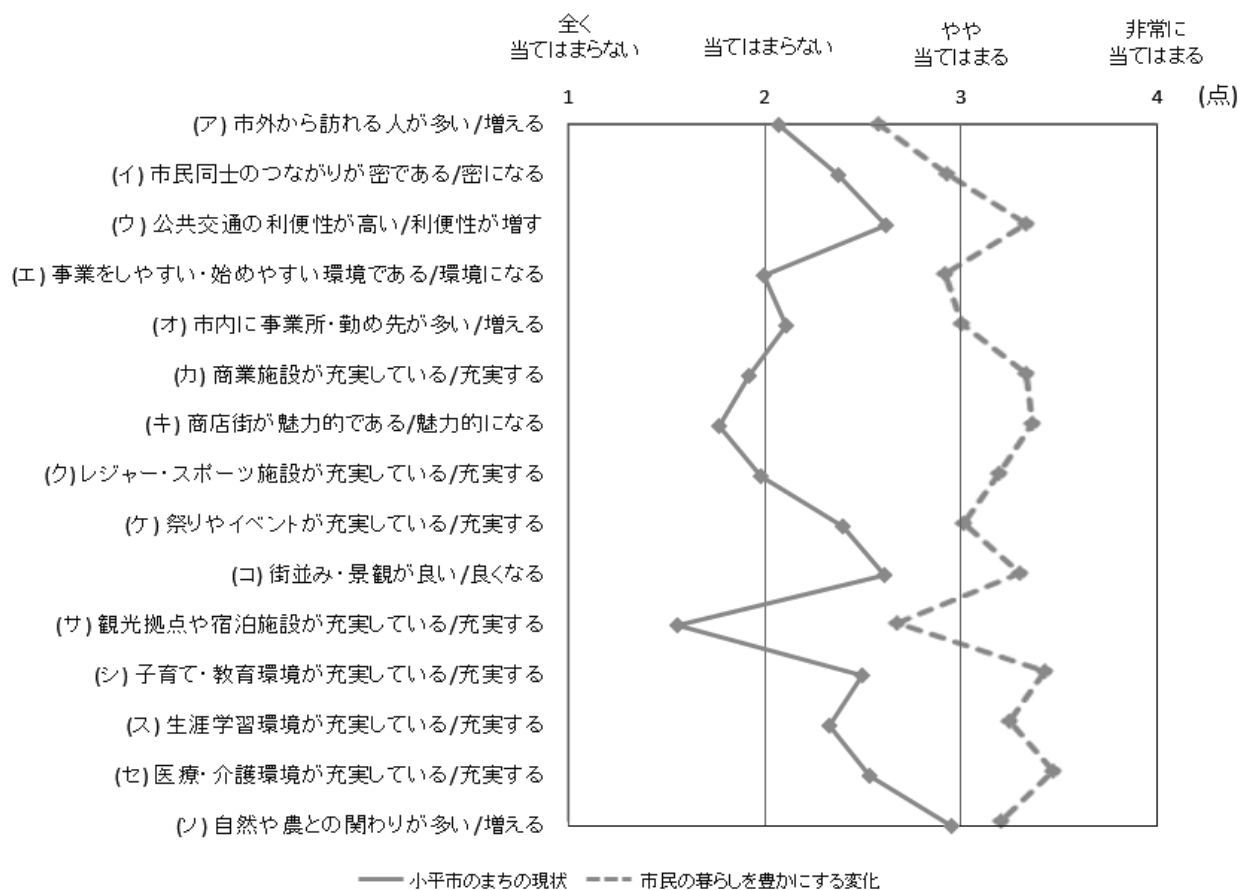
表 3-11 は、市民の暮らしを豊かにする変化を表している。「非常に当てはまる」と回答した割合が高かった項目は、「(セ)医療・介護環境が充実する(316件、51.7%)」であった。次いで、「(シ)子育て・教育環境が充実する(296件、49.3%)」、「(キ)商店街が魅力的になる(291件、47.5%)」であった。

表 3-11 市民の暮らしを豊かにする変化

	非常に当てはまる		やや当てはまる		当てはまらない		全く当てはまらない		合計		スコア
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
(ア) 市外から訪れる人が増える	55	9.1%	273	45.1%	240	39.7%	37	6.1%	605	100.0%	2.57
(イ) 市民同士のつながりが密になる	102	16.9%	369	61.2%	118	19.6%	14	2.3%	603	100.0%	2.93
(ウ) 公共交通の利便性が増す	268	43.9%	281	46.1%	54	8.9%	7	1.1%	610	100.0%	3.33
(エ) 事業をしやすい・始めやすい環境になる	120	20.0%	324	54.1%	141	23.5%	14	2.3%	599	100.0%	2.92
(オ) 市内に事業所・勤め先が増える	156	25.9%	305	50.6%	125	20.7%	17	2.8%	603	100.0%	3.00
(カ) 商業施設が充実する	271	44.9%	267	44.2%	57	9.4%	9	1.5%	604	100.0%	3.32
(キ) 商店街が魅力的になる	291	47.5%	256	41.8%	57	9.3%	8	1.3%	612	100.0%	3.36
(ク) レジャー・スポーツ施設が充実する	218	35.9%	301	49.5%	75	12.3%	14	2.3%	608	100.0%	3.19
(ケ) 祭りやイベントが充実する	158	26.0%	310	51.0%	129	21.2%	11	1.8%	608	100.0%	3.01
(コ) 街並み・景観が良くなる	258	42.5%	279	46.0%	64	10.5%	6	1.0%	607	100.0%	3.30
(ク) 観光拠点や宿泊施設が充実する	93	15.4%	261	43.3%	210	34.8%	39	6.5%	603	100.0%	2.68
(シ) 子育て・教育環境が充実する	296	49.3%	271	45.1%	29	4.8%	5	0.8%	601	100.0%	3.43
(ス) 生涯学習環境が充実する	226	37.4%	307	50.7%	65	10.7%	7	1.2%	605	100.0%	3.24
(セ) 医療・介護環境が充実する	316	51.7%	264	43.2%	28	4.6%	3	0.5%	611	100.0%	3.46
(ソ) 自然や農との関わりが増える	225	36.9%	295	48.4%	75	12.3%	14	2.3%	609	100.0%	3.20

図 3-5 は、小平市のまちの現状及び市民の暮らしを豊かにする変化をスコア化したものを表している。小平市のまちの現状と市民の暮らしを豊かにする変化において最も差が開いた項目は、「(キ)商店街が魅力的である/魅力的になる(1.59 点差)」であった。次いで、「(カ)商業施設が充実している/充実する(1.40 点差)」、「(ク)レジャー・スポーツ施設が充実している/充実する(1.21 点差)」であった。

図 3-5 小平市のまちの現状及び市民の暮らしを豊かにする変化



3) 商業について

問 4. あなたのご家庭では、下表の(ア)～(ケ)の商品を主にどのような店舗で購入しますか。また、下表の(ア)～(セ)の商品・サービスを主にどの地区で購入・利用しますか。最もよく購入・利用する店舗・地区にはそれぞれ1つだけ◎印を、時々利用する店舗・地区にはそれぞれ2つまで○印をつけてください。また、店舗を選ぶ時に重視することを下の表1のA～Oの中から2つまで選んで番号を記入してください。

表 3-12 及び表 3-13 は、商品・サービスを主にどの地区で購入・利用するかについて表している。また、代表的な生鮮食品、紳士服・婦人服、娯楽サービス、教育サービス、外食サービス、医療・介護サービスの6項目について、小平市東部、中部、西部のそれぞれの地域ごとに居住する住民の購買・利用先について示している。

表 3-12 各種日用品の購入場所と重視すること

生鮮食品

店舗	最も購入する(◎)		時々購入(○)		地区	件数	割合	重視すること		
	件数	割合	件数	割合				件数	割合	
1. 一般小売店・専門店	25	4.0%	136	21.9%	1. 東大和市駅周辺地区	65	10.5%	A 品揃えが豊富	264	42.6%
2. スーパーマーケット	433	69.8%	134	21.6%	2. 鷹の台駅周辺地区	46	7.4%	B 新製品や流行品がある	2	0.3%
3. コンビニエンスストア	2	0.3%	64	10.3%	3. 小川駅周辺地区	76	12.3%	C 好きなブランド・銘柄がある	3	0.5%
4. ホームセンター・家電量販店	0	0.0%	9	1.5%	4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	46	7.4%	D 商品・サービスの質が高い	121	19.5%
5. デパート・百貨店	7	1.1%	79	12.7%	5. 一橋学園駅周辺地区	136	21.9%	E 価格が安い	193	31.1%
6. ディスカウントストア・ドラッグストア	1	0.2%	37	6.0%	6. 小平駅周辺地区	113	18.2%	F 従業員の感じが良い	11	1.8%
7. 生協・共同購入	52	8.4%	113	18.2%	7. 花小金井駅周辺地区	151	24.4%	G 利用しやすい営業時間	31	5.0%
8. インターネット・カタログ販売	3	0.5%	18	2.9%	8. 立川駅周辺地区	34	5.5%	H 配達サービス・アフターサービスが充実している	14	2.3%
9. 地元生産者から購入	2	0.3%	113	18.2%	9. 国分寺駅周辺地区	128	20.6%	I 家から近い・アクセスが良い	251	40.5%
10. その他	0	0.0%	11	1.8%	10. 東久留米駅周辺地区	22	3.5%	J 駐車場・駐輪場が十分にある	70	11.3%
11. ほとんど買わない	6	1.0%	5	0.8%	11. 田無駅周辺地区	29	4.7%	K まとめ買いができる	19	3.1%
					12. 吉祥寺駅周辺地区	14	2.3%	L 顔なじみの店	7	1.1%
					13. 新宿駅周辺地区	8	1.3%	M 店の雰囲気が良い	8	1.3%
					14. その他周辺地区	121	19.5%	N 催し物の内容が良い	2	0.3%
								O その他	14	2.3%

(有効回答数: 620)

一般食品

店舗	最も購入する(◎)		時々購入(○)		地区	件数	割合	重視すること		
	件数	割合	件数	割合				件数	割合	
1. 一般小売店・専門店	8	1.3%	114	18.4%	1. 東大和市駅周辺地区	65	10.5%	A 品揃えが豊富	259	41.8%
2. スーパーマーケット	407	65.6%	155	25.0%	2. 鷹の台駅周辺地区	41	6.6%	B 新製品や流行品がある	6	1.0%
3. コンビニエンスストア	14	2.3%	134	21.6%	3. 小川駅周辺地区	78	12.6%	C 好きなブランド・銘柄がある	14	2.3%
4. ホームセンター・家電量販店	2	0.3%	17	2.7%	4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	40	6.5%	D 商品・サービスの質が高い	88	14.2%
5. デパート・百貨店	11	1.8%	69	11.1%	5. 一橋学園駅周辺地区	127	20.5%	E 価格が安い	219	35.3%
6. ディスカウントストア・ドラッグストア	16	2.6%	91	14.7%	6. 小平駅周辺地区	110	17.7%	F 従業員の感じが良い	9	1.5%
7. 生協・共同購入	50	8.1%	100	16.1%	7. 花小金井駅周辺地区	146	23.5%	G 利用しやすい営業時間	36	5.8%
8. インターネット・カタログ販売	4	0.6%	29	4.7%	8. 立川駅周辺地区	35	5.6%	H 配達サービス・アフターサービスが充実している	15	2.4%
9. 地元生産者から購入	0	0.0%	14	2.3%	9. 国分寺駅周辺地区	126	20.3%	I 家から近い・アクセスが良い	233	37.6%
10. その他	0	0.0%	6	1.0%	10. 東久留米駅周辺地区	24	3.9%	J 駐車場・駐輪場が十分にある	72	11.6%
11. ほとんど買わない	0	0.0%	5	0.8%	11. 田無駅周辺地区	21	3.4%	K まとめ買いができる	20	3.2%
					12. 吉祥寺駅周辺地区	15	2.4%	L 顔なじみの店	8	1.3%
					13. 新宿駅周辺地区	9	1.5%	M 店の雰囲気が良い	8	1.3%
					14. その他周辺地区	122	19.7%	N 催し物の内容が良い	1	0.2%
								O その他	8	1.3%

(有効回答数: 620)

日用品雑貨

店舗	最も購入する(◎)		時々購入(○)		地区	件数	割合	重視すること		
	件数	割合	件数	割合				件数	割合	
1. 一般小売店・専門店	20	3.2%	53	8.5%	1. 東大和市駅周辺地区	71	11.5%	A 品揃えが豊富	240	38.7%
2. スーパーマーケット	183	29.5%	188	30.3%	2. 鷹の台駅周辺地区	26	4.2%	B 新製品や流行品がある	8	1.3%
3. コンビニエンスストア	4	0.6%	30	4.8%	3. 小川駅周辺地区	65	10.5%	C 好きなブランド・銘柄がある	25	4.0%
4. ホームセンター・家電量販店	71	11.5%	161	26.0%	4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	41	6.6%	D 商品・サービスの質が高い	58	9.4%
5. デパート・百貨店	12	1.9%	36	5.8%	5. 一橋学園駅周辺地区	122	19.7%	E 価格が安い	255	41.1%
6. ディスカウントストア・ドラッグストア	168	27.1%	154	24.8%	6. 小平駅周辺地区	93	15.0%	F 従業員の感じが良い	7	1.1%
7. 生協・共同購入	22	3.5%	48	7.7%	7. 花小金井駅周辺地区	148	23.9%	G 利用しやすい営業時間	24	3.9%
8. インターネット・カタログ販売	6	1.0%	51	8.2%	8. 立川駅周辺地区	26	4.2%	H 配達サービス・アフターサービスが充実している	9	1.5%
9. 地元生産者から購入	0	0.0%	1	0.2%	9. 国分寺駅周辺地区	97	15.6%	I 家から近い・アクセスが良い	223	36.0%
10. その他	2	0.3%	20	3.2%	10. 東久留米駅周辺地区	19	3.1%	J 駐車場・駐輪場が十分にある	81	13.1%
11. ほとんど買わない	4	0.6%	3	0.5%	11. 田無駅周辺地区	19	3.1%	K まとめ買いができる	32	5.2%
					12. 吉祥寺駅周辺地区	16	2.6%	L 顔なじみの店	4	0.6%
					13. 新宿駅周辺地区	7	1.1%	M 店の雰囲気が良い	3	0.5%
					14. その他周辺地区	139	22.4%	N 催し物の内容が良い	2	0.3%
								O その他	11	1.8%

(有効回答数: 620)

日用衣料

(有効回答数: 620)

店舗	最も購入する(◎)		時々購入(○)	
	件数	割合	件数	割合
1一般小売店・専門店	158	25.5%	122	19.7%
2スーパーマーケット	122	19.7%	96	15.5%
3コンビニエンスストア	1	0.2%	5	0.8%
4ホームセンター・家電量販店	6	1.0%	24	3.9%
5デパート・百貨店	134	21.6%	130	21.0%
6ディスカウントストア・ドラッグストア	11	1.8%	39	6.3%
7生協・共同購入	5	0.8%	24	3.9%
8インターネット・カタログ販売	26	4.2%	87	14.0%
9地元の生産者から購入	1	0.2%	0	0.0%
10その他	9	1.5%	29	4.7%
11ほとんど買わない	7	1.1%	11	1.8%

地区	件数	割合
1. 東大和市駅周辺地区	66	10.6%
2. 鷹の台駅周辺地区	2	0.3%
3. 小川駅周辺地区	27	4.4%
4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	4	0.6%
5. 一橋学園駅周辺地区	35	5.6%
6. 小平駅周辺地区	61	9.8%
7. 花小金井駅周辺地区	96	15.5%
8. 立川駅周辺地区	91	14.7%
9. 国分寺駅周辺地区	157	25.3%
10. 東久留米駅周辺地区	29	4.7%
11. 田無駅周辺地区	32	5.2%
12. 吉祥寺駅周辺地区	52	8.4%
13. 新宿駅周辺地区	72	11.6%
14. その他周辺地区	199	32.1%

重視すること	件数	割合
A 品揃えが豊富	258	41.6%
B 新製品や流行品がある	39	6.3%
C 好きなブランド・銘柄がある	118	19.0%
D 商品・サービスの質が高い	87	14.0%
E 価格が安い	193	31.1%
F 従業員の感じがよい	13	2.1%
G 利用しやすい営業時間	17	2.7%
H 配達サービス・アフターサービスが充実している	9	1.5%
I 家から近い・アクセスが良い	100	16.1%
J 駐車場・駐輪場が十分にある	59	9.5%
K まとめ買いができる	20	3.2%
L 顔なじみの店	7	1.1%
M 店の雰囲気が良い	7	1.1%
N 催し物の内容が良い	1	0.2%
O その他	13	2.1%

紳士服・婦人服

(有効回答数: 620)

店舗	最も購入する(◎)		時々購入(○)	
	件数	割合	件数	割合
1一般小売店・専門店	162	26.1%	128	20.6%
2スーパーマーケット	37	6.0%	59	9.5%
3コンビニエンスストア	0	0.0%	0	0.0%
4ホームセンター・家電量販店	2	0.3%	10	1.6%
5デパート・百貨店	185	29.8%	161	26.0%
6ディスカウントストア・ドラッグストア	4	0.6%	15	2.4%
7生協・共同購入	2	0.3%	7	1.1%
8インターネット・カタログ販売	37	6.0%	97	15.6%
9地元の生産者から購入	1	0.2%	0	0.0%
10その他	12	1.9%	36	5.8%
11ほとんど買わない	23	3.7%	33	5.3%

地区	件数	割合
1. 東大和市駅周辺地区	32	5.2%
2. 鷹の台駅周辺地区	5	0.8%
3. 小川駅周辺地区	23	3.7%
4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	8	1.3%
5. 一橋学園駅周辺地区	14	2.3%
6. 小平駅周辺地区	31	5.0%
7. 花小金井駅周辺地区	63	10.2%
8. 立川駅周辺地区	147	23.7%
9. 国分寺駅周辺地区	163	26.3%
10. 東久留米駅周辺地区	20	3.2%
11. 田無駅周辺地区	27	4.4%
12. 吉祥寺駅周辺地区	71	11.5%
13. 新宿駅周辺地区	129	20.8%
14. その他周辺地区	220	35.5%

重視すること	件数	割合
A 品揃えが豊富	246	39.7%
B 新製品や流行品がある	80	12.9%
C 好きなブランド・銘柄がある	203	32.7%
D 商品・サービスの質が高い	114	18.4%
E 価格が安い	102	16.5%
F 従業員の感じがよい	16	2.6%
G 利用しやすい営業時間	9	1.5%
H 配達サービス・アフターサービスが充実している	7	1.1%
I 家から近い・アクセスが良い	64	10.3%
J 駐車場・駐輪場が十分にある	48	7.7%
K まとめ買いができる	8	1.3%
L 顔なじみの店	12	1.9%
M 店の雰囲気が良い	18	2.9%
N 催し物の内容が良い	3	0.5%
O その他	13	2.1%

身の回りの品

(有効回答数: 620)

店舗	最も購入する(◎)		時々購入(○)	
	件数	割合	件数	割合
1一般小売店・専門店	208	33.5%	141	22.7%
2スーパーマーケット	17	2.7%	50	8.1%
3コンビニエンスストア	0	0.0%	5	0.8%
4ホームセンター・家電量販店	7	1.1%	24	3.9%
5デパート・百貨店	159	25.6%	154	24.8%
6ディスカウントストア・ドラッグストア	11	1.8%	27	4.4%
7生協・共同購入	1	0.2%	4	0.6%
8インターネット・カタログ販売	27	4.4%	87	14.0%
9地元の生産者から購入	0	0.0%	3	0.5%
10その他	10	1.6%	35	5.6%
11ほとんど買わない	15	2.4%	24	3.9%

地区	件数	割合
1. 東大和市駅周辺地区	28	4.5%
2. 鷹の台駅周辺地区	2	0.3%
3. 小川駅周辺地区	31	5.0%
4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	14	2.3%
5. 一橋学園駅周辺地区	15	2.4%
6. 小平駅周辺地区	34	5.5%
7. 花小金井駅周辺地区	56	9.0%
8. 立川駅周辺地区	130	21.0%
9. 国分寺駅周辺地区	159	25.6%
10. 東久留米駅周辺地区	16	2.6%
11. 田無駅周辺地区	24	3.9%
12. 吉祥寺駅周辺地区	79	12.7%
13. 新宿駅周辺地区	117	18.9%
14. その他周辺地区	217	35.0%

重視すること	件数	割合
A 品揃えが豊富	263	42.4%
B 新製品や流行品がある	66	10.6%
C 好きなブランド・銘柄がある	168	27.1%
D 商品・サービスの質が高い	125	20.2%
E 価格が安い	108	17.4%
F 従業員の感じがよい	16	2.6%
G 利用しやすい営業時間	11	1.8%
H 配達サービス・アフターサービスが充実している	5	0.8%
I 家から近い・アクセスが良い	72	11.6%
J 駐車場・駐輪場が十分にある	45	7.3%
K まとめ買いができる	4	0.6%
L 顔なじみの店	8	1.3%
M 店の雰囲気が良い	13	2.1%
N 催し物の内容が良い	1	0.2%
O その他	19	3.1%

家電・家具・寝具

(有効回答数: 620)

店舗	最も購入する(◎)		時々購入(○)	
	件数	割合	件数	割合
1一般小売店・専門店	81	13.1%	115	18.5%
2スーパーマーケット	5	0.8%	43	6.9%
3コンビニエンスストア	4	0.6%	3	0.5%
4ホームセンター・家電量販店	295	47.6%	136	21.9%
5デパート・百貨店	15	2.4%	56	9.0%
6ディスカウントストア・ドラッグストア	12	1.9%	31	5.0%
7生協・共同購入	0	0.0%	6	1.0%
8インターネット・カタログ販売	35	5.6%	124	20.0%
9地元の生産者から購入	1	0.2%	0	0.0%
10その他	4	0.6%	16	2.6%
11ほとんど買わない	16	2.6%	26	4.2%

地区	件数	割合
1. 東大和市駅周辺地区	53	8.5%
2. 鷹の台駅周辺地区	5	0.8%
3. 小川駅周辺地区	69	11.1%
4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	31	5.0%
5. 一橋学園駅周辺地区	16	2.6%
6. 小平駅周辺地区	48	7.7%
7. 花小金井駅周辺地区	78	12.6%
8. 立川駅周辺地区	100	16.1%
9. 国分寺駅周辺地区	92	14.8%
10. 東久留米駅周辺地区	28	4.5%
11. 田無駅周辺地区	27	4.4%
12. 吉祥寺駅周辺地区	59	9.5%
13. 新宿駅周辺地区	66	10.6%
14. その他周辺地区	214	34.5%

重視すること	件数	割合
A 品揃えが豊富	315	50.8%
B 新製品や流行品がある	31	5.0%
C 好きなブランド・銘柄がある	25	4.0%
D 商品・サービスの質が高い	106	17.1%
E 価格が安い	203	32.7%
F 従業員の感じがよい	15	2.4%
G 利用しやすい営業時間	10	1.6%
H 配達サービス・アフターサービスが充実している	42	6.8%
I 家から近い・アクセスが良い	84	13.5%
J 駐車場・駐輪場が十分にある	84	13.5%
K まとめ買いができる	3	0.5%
L 顔なじみの店	8	1.3%
M 店の雰囲気が良い	3	0.5%
N 催し物の内容が良い	1	0.2%
O その他	19	3.1%

娯楽用品

(有効回答数:620)

店舗	最も購入する(◎)		時々購入(○)		地区	件数	割合	重視すること	件数	割合
	件数	割合	件数	割合						
1一般小売店・専門店	237	38.2%	129	20.8%	1. 東大和市駅周辺地区	36	5.8%	A 品揃えが豊富	346	55.8%
2スーパーマーケット	15	2.4%	29	4.7%	2. 鷹の台駅周辺地区	2	0.3%	B 新製品や流行品がある	46	7.4%
3コンビニエンスストア	1	0.2%	6	1.0%	3. 小川駅周辺地区	14	2.3%	C 好きなブランド・銘柄がある	63	10.2%
4ホームセンター・家電量販店	18	2.9%	46	7.4%	4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	6	1.0%	D 商品・サービスの質が高い	46	7.4%
5デパート・百貨店	57	9.2%	69	11.1%	5. 一橋学園駅周辺地区	14	2.3%	E 価格が安い	82	13.2%
6ディスカウントストア・ドラッグストア	8	1.3%	20	3.2%	6. 小平駅周辺地区	49	7.9%	F 従業員の感じが良い	9	1.5%
7生協・共同購入	0	0.0%	6	1.0%	7. 花小金井駅周辺地区	71	11.5%	G 利用しやすい営業時間	43	6.9%
8インターネット・カタログ販売	70	11.3%	114	18.4%	8. 立川駅周辺地区	108	17.4%	H 配達サービス・アフターサービスが充実している	22	3.5%
9地元の生産者から購入	0	0.0%	1	0.2%	9. 国分寺駅周辺地区	156	25.2%	I 家から近い・アクセスが良い	112	18.1%
10その他	9	1.5%	20	3.2%	10. 東久留米駅周辺地区	14	2.3%	J 駐車場・駐輪場が十分にある	57	9.2%
11ほとんど買わない	27	4.4%	49	7.9%	11. 田無駅周辺地区	22	3.5%	K まとめ買いができる	4	0.6%
					12. 吉祥寺駅周辺地区	48	7.7%	L 顔なじみの店	9	1.5%
					13. 新宿駅周辺地区	78	12.6%	M 店の雰囲気が良い	16	2.6%
					14. その他周辺地区	225	36.3%	N 催し物の内容が良い	2	0.3%
								O その他	25	4.0%

贈答品

(有効回答数:620)

店舗	最も購入する(◎)		時々購入(○)		地区	件数	割合	重視すること	件数	割合
	件数	割合	件数	割合						
1一般小売店・専門店	26	4.2%	71	11.5%	1. 東大和市駅周辺地区	20	3.2%	A 品揃えが豊富	282	45.5%
2スーパーマーケット	37	6.0%	59	9.5%	2. 鷹の台駅周辺地区	4	0.6%	B 新製品や流行品がある	22	3.5%
3コンビニエンスストア	1	0.2%	3	0.5%	3. 小川駅周辺地区	17	2.7%	C 好きなブランド・銘柄がある	78	12.6%
4ホームセンター・家電量販店	5	0.8%	7	1.1%	4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	9	1.5%	D 商品・サービスの質が高い	158	25.5%
5デパート・百貨店	260	41.9%	105	16.9%	5. 一橋学園駅周辺地区	16	2.6%	E 価格が安い	51	8.2%
6ディスカウントストア・ドラッグストア	4	0.6%	5	0.8%	6. 小平駅周辺地区	19	3.1%	F 従業員の感じが良い	23	3.7%
7生協・共同購入	7	1.1%	14	2.3%	7. 花小金井駅周辺地区	36	5.8%	G 利用しやすい営業時間	18	2.9%
8インターネット・カタログ販売	37	6.0%	87	14.0%	8. 立川駅周辺地区	133	21.5%	H 配達サービス・アフターサービスが充実している	39	6.3%
9地元の生産者から購入	0	0.0%	6	1.0%	9. 国分寺駅周辺地区	115	18.5%	I 家から近い・アクセスが良い	60	9.7%
10その他	3	0.5%	16	2.6%	10. 東久留米駅周辺地区	7	1.1%	J 駐車場・駐輪場が十分にある	40	6.5%
11ほとんど買わない	53	8.5%	66	10.6%	11. 田無駅周辺地区	11	1.8%	K まとめ買いができる	2	0.3%
					12. 吉祥寺駅周辺地区	42	6.8%	L 顔なじみの店	5	0.8%
					13. 新宿駅周辺地区	110	17.7%	M 店の雰囲気が良い	22	3.5%
					14. その他周辺地区	198	31.9%	N 催し物の内容が良い	6	1.0%
								O その他	37	6.0%

表 3-13 各種サービス利用場所と重視すること

娯楽サービス

(有効回答数:620)

地区	件数	割合	重視すること	件数	割合
1. 東大和市駅周辺地区	11	1.8%	A 品揃えが豊富	66	10.6%
2. 鷹の台駅周辺地区	1	0.2%	B 新製品や流行品がある	29	4.7%
3. 小川駅周辺地区	5	0.8%	C 好きなブランド・銘柄がある	14	2.3%
4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	2	0.3%	D 商品・サービスの質が高い	35	5.6%
5. 一橋学園駅周辺地区	2	0.3%	E 価格が安い	17	2.7%
6. 小平駅周辺地区	9	1.5%	F 従業員の感じが良い	13	2.1%
7. 花小金井駅周辺地区	9	1.5%	G 利用しやすい営業時間	82	13.2%
8. 立川駅周辺地区	200	32.3%	H 配達サービス・アフターサービスが充実している	2	0.3%
9. 国分寺駅周辺地区	16	2.6%	I 家から近い・アクセスが良い	167	26.9%
10. 東久留米駅周辺地区	2	0.3%	J 駐車場・駐輪場が十分にある	109	17.6%
11. 田無駅周辺地区	3	0.5%	K まとめ買いができる	1	0.2%
12. 吉祥寺駅周辺地区	70	11.3%	L 顔なじみの店	7	1.1%
13. 新宿駅周辺地区	159	25.6%	M 店の雰囲気が良い	40	6.5%
14. その他周辺地区	241	38.9%	N 催し物の内容が良い	54	8.7%
			O その他	80	12.9%

生活サービス

(有効回答数:620)

地区	件数	割合	重視すること	件数	割合
1. 東大和市駅周辺地区	30	4.8%	A 品揃えが豊富	14	2.3%
2. 鷹の台駅周辺地区	37	6.0%	B 新製品や流行品がある	2	0.3%
3. 小川駅周辺地区	48	7.7%	C 好きなブランド・銘柄がある	3	0.5%
4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	23	3.7%	D 商品・サービスの質が高い	78	12.6%
5. 一橋学園駅周辺地区	94	15.2%	E 価格が安い	108	17.4%
6. 小平駅周辺地区	79	12.7%	F 従業員の感じが良い	99	16.0%
7. 花小金井駅周辺地区	119	19.2%	G 利用しやすい営業時間	41	6.6%
8. 立川駅周辺地区	27	4.4%	H 配達サービス・アフターサービスが充実している	3	0.5%
9. 国分寺駅周辺地区	64	10.3%	I 家から近い・アクセスが良い	226	36.5%
10. 東久留米駅周辺地区	8	1.3%	J 駐車場・駐輪場が十分にある	27	4.4%
11. 田無駅周辺地区	7	1.1%	K まとめ買いができる	1	0.2%
12. 吉祥寺駅周辺地区	32	5.2%	L 顔なじみの店	133	21.5%
13. 新宿駅周辺地区	17	2.7%	M 店の雰囲気が良い	53	8.5%
14. その他周辺地区	121	19.5%	N 催し物の内容が良い	2	0.3%
			O その他	18	2.9%

教育サービス

(有効回答数:620)

地区	件数	割合	重視すること	件数	割合
1. 東大和市駅周辺地区	13	2.1%	A 品揃えが豊富	16	2.6%
2. 鷹の台駅周辺地区	11	1.8%	B 新製品や流行品がある	0	0.0%
3. 小川駅周辺地区	24	3.9%	C 好きなブランド・銘柄がある	3	0.5%
4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	8	1.3%	D 商品・サービスの質が高い	67	10.8%
5. 一橋学園駅周辺地区	40	6.5%	E 価格が安い	33	5.3%
6. 小平駅周辺地区	37	6.0%	F 従業員の感じが良い	49	7.9%
7. 花小金井駅周辺地区	51	8.2%	G 利用しやすい営業時間	46	7.4%
8. 立川駅周辺地区	31	5.0%	H 配達サービス・アフターサービスが充実している	1	0.2%
9. 国分寺駅周辺地区	54	8.7%	I 家から近い・アクセスが良い	168	27.1%
10. 東久留米駅周辺地区	6	1.0%	J 駐車場・駐輪場が十分にある	27	4.4%
11. 田無駅周辺地区	5	0.8%	K まとめ買いができる	0	0.0%
12. 吉祥寺駅周辺地区	16	2.6%	L 顔なじみの店	7	1.1%
13. 新宿駅周辺地区	25	4.0%	M 店の雰囲気が良い	16	2.6%
14. その他周辺地区	173	27.9%	N 催し物の内容が良い	13	2.1%
			O その他	115	18.5%

外食サービス

(有効回答数:620)

地区	件数	割合	重視すること	件数	割合
1. 東大和市駅周辺地区	44	7.1%	A 品揃えが豊富	65	10.5%
2. 鷹の台駅周辺地区	15	2.4%	B 新製品や流行品がある	4	0.6%
3. 小川駅周辺地区	26	4.2%	C 好きなブランド・銘柄がある	17	2.7%
4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	34	5.5%	D 商品・サービスの質が高い	113	18.2%
5. 一橋学園駅周辺地区	64	10.3%	E 価格が安い	85	13.7%
6. 小平駅周辺地区	64	10.3%	F 従業員の感じが良い	42	6.8%
7. 花小金井駅周辺地区	105	16.9%	G 利用しやすい営業時間	39	6.3%
8. 立川駅周辺地区	94	15.2%	H 配達サービス・アフターサービスが充実している	1	0.2%
9. 国分寺駅周辺地区	147	23.7%	I 家から近い・アクセスが良い	170	27.4%
10. 東久留米駅周辺地区	14	2.3%	J 駐車場・駐輪場が十分にある	96	15.5%
11. 田無駅周辺地区	16	2.6%	K まとめ買いができる	0	0.0%
12. 吉祥寺駅周辺地区	63	10.2%	L 顔なじみの店	27	4.4%
13. 新宿駅周辺地区	78	12.6%	M 店の雰囲気が良い	116	18.7%
14. その他周辺地区	188	30.3%	N 催し物の内容が良い	3	0.5%
			O その他	32	5.2%

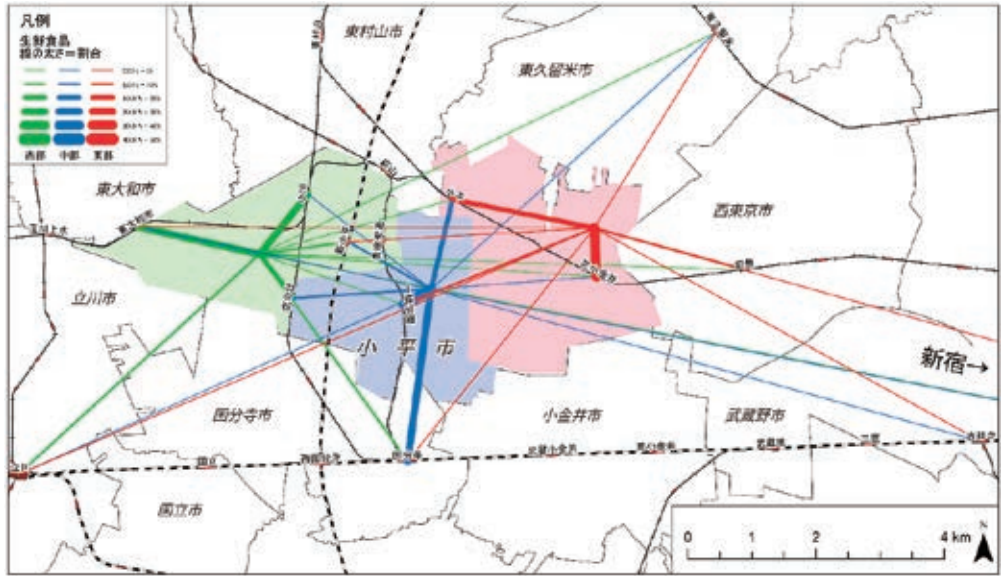
医療・介護サービス

(有効回答数:620)

地区	件数	割合	重視すること	件数	割合
1. 東大和市駅周辺地区	38	6.1%	A 品揃えが豊富	13	2.1%
2. 鷹の台駅周辺地区	32	5.2%	B 新製品や流行品がある	0	0.0%
3. 小川駅周辺地区	47	7.6%	C 好きなブランド・銘柄がある	1	0.2%
4. 新小平駅・青梅街道駅周辺地区	28	4.5%	D 商品・サービスの質が高い	63	10.2%
5. 一橋学園駅周辺地区	104	16.8%	E 価格が安い	11	1.8%
6. 小平駅周辺地区	100	16.1%	F 従業員の感じが良い	77	12.4%
7. 花小金井駅周辺地区	140	22.6%	G 利用しやすい営業時間	49	7.9%
8. 立川駅周辺地区	29	4.7%	H 配達サービス・アフターサービスが充実している	0	0.0%
9. 国分寺駅周辺地区	56	9.0%	I 家から近い・アクセスが良い	286	46.1%
10. 東久留米駅周辺地区	3	0.5%	J 駐車場・駐輪場が十分にある	61	9.8%
11. 田無駅周辺地区	10	1.6%	K まとめ買いができる	0	0.0%
12. 吉祥寺駅周辺地区	2	0.3%	L 顔なじみの店	29	4.7%
13. 新宿駅周辺地区	17	2.7%	M 店の雰囲気が良い	15	2.4%
14. その他周辺地区	151	24.4%	N 催し物の内容が良い	0	0.0%
			O その他	108	17.4%

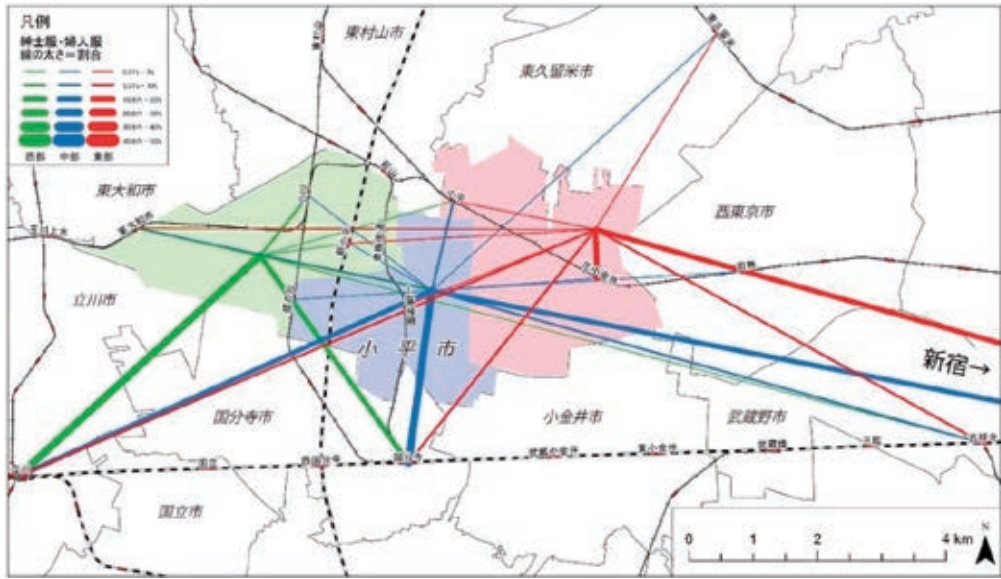
以下の図 3-6 から図 3-11 では、それぞれの地域における商品・サービスの主要な購入・利用先の割合の大小を線の太さで表したものである¹³。生鮮食品については、東部地域の回答者は「花小金井駅周辺地区」で購入する割合が最も高く、中部地域の回答者は「一橋学園駅周辺地区」、「国分寺駅周辺地区」、西部地域は「小川駅周辺地区」などのそれぞれの地域から近い場所で購入する割合が高い。また、一部の回答者は、「新宿駅周辺地区」や「吉祥寺駅周辺地区」などの都心部でも生鮮食品を購入している。

図 3-6 地域別の購入先(生鮮食品)



紳士服・婦人服については、東部地域の回答者は「新宿駅周辺地区」で購入する割合が最も高い。中部地域の回答者は「国分寺駅周辺地区」での購入割合が最も高く、西部地域の回答者は「立川駅周辺地区」での購入割合が最も高くなっており、地域ごとに購入先に差異がみられた。

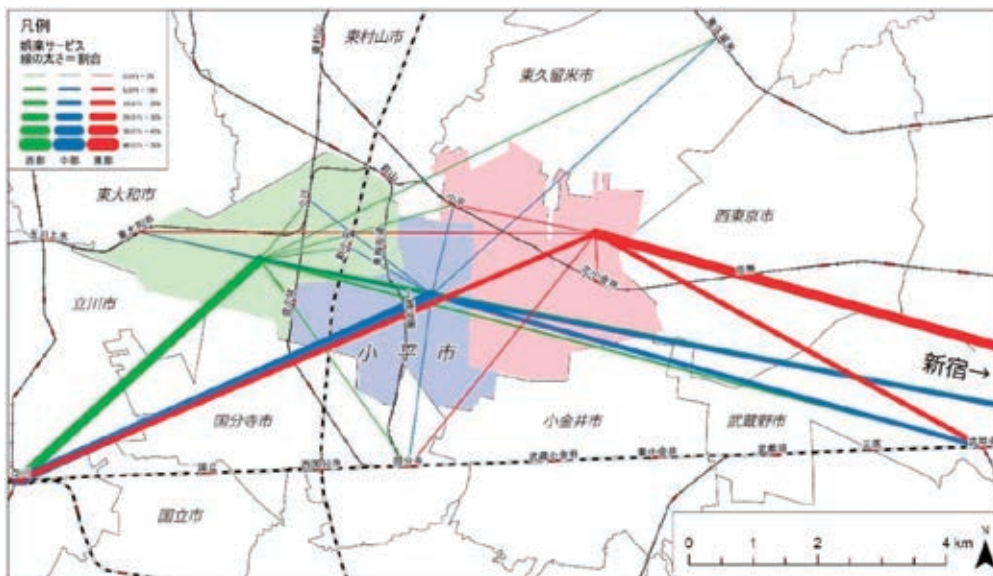
図 3-7 地域別の購入先(紳士服・婦人服)



¹³ 図 3-6 から図 3-11 では、割合を地区ごとに◎と○の回答を合算した値を合計回答数で除して算出している。そのため、表 3-12、表 3-13 中で用いている割合とは意味が異なることに注意を要する。

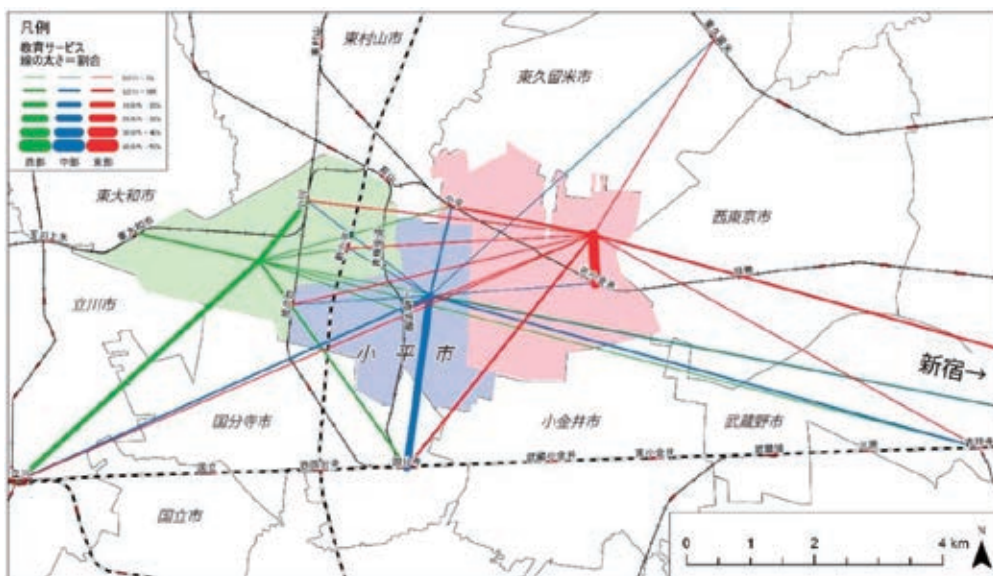
娯楽サービスについては、小平市の東部地域は「新宿駅周辺地区」、中部地域と西部地域は「立川駅周辺地区」を利用する割合が最も高い。その一方で、これらの地域と比べて小平市内での娯楽サービスの利用割合は相対的に低い傾向であった。

図 3-8 地域別の利用先(娯楽サービス)



教育サービスについては、東部地域は「花小金井駅周辺地区」、中部地域は「国分寺駅周辺地区」、西部地域は「小川駅周辺地区」や「立川駅周辺地区」を利用する割合が高くなっている。

図 3-9 地域別の利用先(教育サービス)



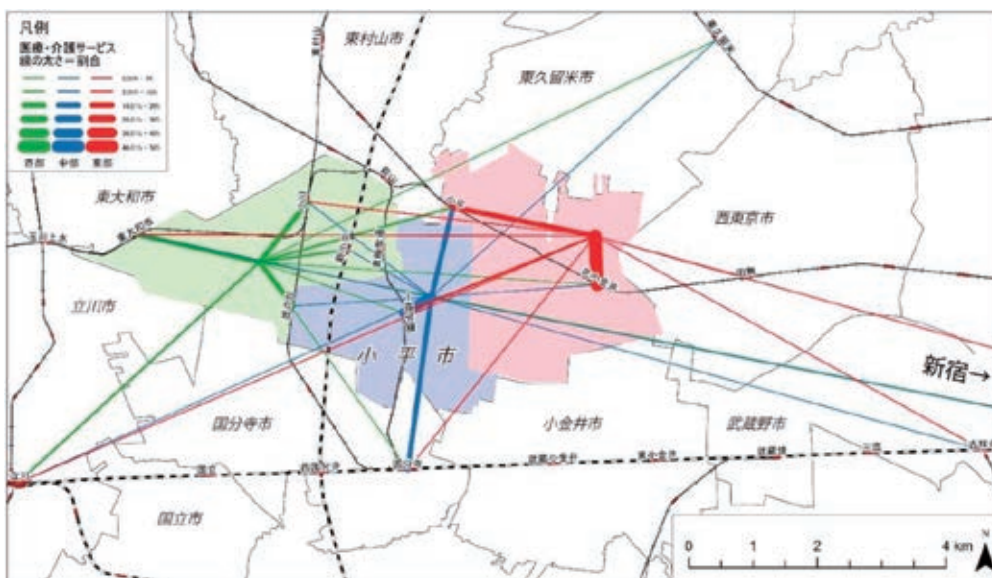
外食サービスについては、東部地域は「花小金井駅周辺地区」、中部地域は「国分寺駅周辺地区」を利用する割合が最も高い。西部地域は「東大和駅周辺地区」、「立川駅周辺地区」、「国分寺駅周辺地区」を利用する割合がそれぞれ拮抗している。

図 3-10 地域別の利用先(外食サービス)



医療・介護サービスについては、東部地域は「花小金井駅周辺地区」、中部地域は「一橋学園駅周辺地区」、西部地域は「小川駅周辺地区」などの小平市内のサービスを利用する割合が高くなっている。これらの傾向は、生鮮食品の購入先と類似する傾向であった。

図 3-11 地域別の利用先(医療・介護サービス)



以上、回答者の購入・利用行動について、代表的な生鮮食品、紳士服・婦人服、娯楽サービス、教育サービス、外食サービス、医療・介護サービスの6項目について小平市の東部、中部、西部の地域別に検討した。その結果、生鮮食品、教育サービス、医療・介護サービスなどの市民が日常的に利用するものに関しては小平市内やその近隣で購入・利用されていることが示された。

一方、紳士服・婦人服、娯楽サービス、外食サービスについては、「新宿駅周辺」や「吉祥寺駅周辺」などの都心方面に加えて、「国分寺駅周辺」や「立川駅周辺」などの中央線沿線がよく利用されている。全体的にみれば、小平市東部地域の住民は「新宿駅周辺」や「吉祥寺駅周辺」などの都心方面において商品・サービスを購入・利用する傾向があるのに対して、西部地域の住民は「立川駅周辺」を利用する傾向があった。中部地域の住民は「国分寺駅周辺」の利用がやや多いが、おおむね東部地域と西部地域の購入・利用傾向の中間的なものとなっており、小平市内において購入・利用先にある程度の地域差がみられた。以上のような小平市内で購入・利用先が異なる傾向は、娯楽サービスでより顕著にみられた。

問 5. あなたは小平市内の以下の商店街について、どの程度の頻度で利用しますか。以下の項目について、それぞれ最も当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。

図 3-12 は、商店街の利用頻度について、回答者の居住地別にクロス集計を行った。各回答の平均スコアを示しており、数値が 5 に近いほど利用頻度が高く、1 に近いほど利用頻度が低いことを示している。集計の結果、商店街の利用頻度は居住地に近接する商店街で高くなる傾向がみられた。

図 3-12 商店街の利用頻度(居住地別)

	(ア) 東大和市駅周辺地区商店街	(イ) 鷹の台駅周辺地区商店街	(ウ) 小川駅周辺地区商店街	(エ) 新小平駅・青梅街道駅周辺地区商店街	(オ) 一橋学園駅周辺地区商店街	(カ) 小平駅周辺地区商店街	(キ) 花小金井駅周辺地区商店街
中島町	3.25	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
上水新町	2.00	3.61	2.06	1.25	2.06	1.44	1.13
たかの台	1.86	4.13	2.00	1.00	1.17	1.17	1.17
小川町	2.27	1.98	2.06	1.79	1.58	1.43	1.16
栄町	3.44	1.22	3.00	1.67	1.44	1.11	1.00
小川西町	1.96	1.04	3.40	1.29	1.13	1.21	1.20
小川東町	1.63	1.38	2.97	2.38	1.66	1.97	1.44
上水本町	1.10	2.03	1.24	1.21	2.07	1.24	1.03
上水南町	1.00	1.00	1.00	1.22	1.71	1.30	1.26
喜平町	1.00	1.00	1.00	1.38	3.25	1.82	1.56
津田町	1.27	2.82	1.91	2.36	2.82	2.27	1.36
学園西町	1.25	1.55	1.27	1.65	4.17	1.85	1.45
学園東町	1.23	1.06	1.18	1.57	3.85	2.09	1.46
仲町	1.31	1.22	1.49	2.17	2.39	3.78	1.86
美園町	1.10	1.10	1.10	1.40	1.40	4.08	2.50
回田町	1.14	1.14	1.14	1.21	2.21	1.93	2.00
御幸町	1.00	1.00	1.00	1.50	1.17	1.33	2.83
鈴木町	1.05	1.11	1.13	1.37	2.05	1.95	3.11
天神町	1.07	1.14	1.31	1.71	2.07	3.21	3.33
大沼町	1.06	1.03	1.15	1.24	1.28	3.16	2.47
花小金井南町	1.05	1.00	1.11	1.25	1.25	1.63	4.17
花小金井	1.21	1.03	1.06	1.05	1.12	1.61	3.97

図 3-13 は、回答者の商店街の利用頻度についてスコア化したものを年代別に表している。スコアは数値が 5 に近いほど利用頻度が高く、1 に近いほど利用頻度が低いことを示している。どの商店も共通して、年代が高くなるほど利用頻度は増える傾向にある。また特徴的な傾向として、「(オ)一橋学園駅周辺地区商店街」や「(カ)小平駅周辺地区商店街」では、10 歳代の利用が多くなっている。

図 3-13 商店街の利用頻度(年代別)

	(ア) 東大和市駅周辺地区商店街	(イ) 鷹の台駅周辺地区商店街	(ウ) 小川駅周辺地区商店街	(エ) 新小平駅・青梅街道駅周辺地区商店街	(オ) 一橋学園駅周辺地区商店街	(カ) 小平駅周辺地区商店街	(キ) 花小金井駅周辺地区商店街
10歳代(18歳以上)	1.18	1.00	1.10	1.36	2.55	2.17	1.82
20歳代	1.21	1.35	1.43	1.45	1.73	1.76	1.89
30歳代	1.47	1.23	1.46	1.47	1.89	1.59	1.91
40歳代	1.29	1.42	1.44	1.55	2.08	1.86	1.89
50歳代	1.47	1.45	1.57	1.50	1.99	2.11	2.33
60歳代	1.55	1.58	1.72	1.44	2.11	1.92	2.16
70歳以上	1.52	1.54	1.80	1.60	2.13	2.42	2.35

問 6. あなたは小平市内の商店街がより魅力的になるために必要と思うことについて、最も当てはまるもの1つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-14 は、商店街の魅力向上に必要なことを表している。「最も当てはまる」ものとして、「3. 歩いて買い物を楽しめるような商店街・店舗づくりを行う(162 件、26.1%)」が最も多く、次いで「1.各店舗の商品・サービスを充実させる(106 件、17.1%)」、「2.カフェやレストランなど、滞在できる場所を充実させる(101 件、16.3%)」となった。

「当てはまる」ものとして、「3. 歩いて買い物を楽しめるような商店街・店舗づくりを行う(381 件、61.5%)」が最も多く、次いで「2. カフェやレストランなど、滞在できる場所を充実させる(358 件、57.7%)」、「1.各店舗の商品・サービスを充実させる(332 件、53.5%)」であった。

表 3-14 商店街の魅力向上に必要なこと

(有効回答数: 620)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1. 各店舗の商品・サービスを充実させる	106	17.1%	332	53.5%
2. カフェやレストランなど、滞在できる場所を充実させる	101	16.3%	358	57.7%
3. 歩いて買い物を楽しめるような商店街・店舗づくりを行う	162	26.1%	381	61.5%
4. 商店街全体の街路や景観整備を行う	43	6.9%	255	41.1%
5. チラシやポスター、ホームページなどで、様々な情報を発信する	12	1.9%	127	20.5%
6. 商店街の各店舗共同での配達サービスを実施する	1	0.2%	78	12.6%
7. 医院や保育施設など、公共性の高い施設を充実させる	24	3.9%	178	28.7%
8. 防犯・防災、環境保護活動などを積極的に行う	2	0.3%	99	16.0%
9. イベントなどを充実させる	8	1.3%	125	20.2%
10. 商店街の各店舗共同でのブランド商品の開発やキャラクターづくりを行う	4	0.6%	65	10.5%
11. その他	19	3.1%	81	13.1%
12. 特に必要と思うことはない	11	1.8%	32	5.2%
合計	493	79.5%	2,111	340.5%

4) 農業について

問 7. あなたが小平市の農業・農地について期待していることはありますか。最も当てはまるもの1つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-15 は、小平市の農業・農地に期待することを表している。「最も当てはまる」ものとして、「1. 地産地消による新鮮な農産物の供給（295 件、48.1%）」が最も多く、次いで「2. 農薬や化学肥料の使用を減らした安全な農産物の供給（110 件、17.9%）」となった。「当てはまる」ものにおいても同様の結果となっている。

表 3-15 小平市の農業・農地に期待すること

(有効回答数:613)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1. 地産地消による新鮮な農産物の供給	295	48.1%	490	79.9%
2. 農薬や化学肥料の使用を減らした安全な農産物の供給	110	17.9%	366	59.7%
3. 自然環境の保全やまちの景観の維持	30	4.9%	259	42.3%
4. 子どもの教育や農業体験	17	2.8%	225	36.7%
5. 農作業を通じた交流・リフレッシュの場としての機能	10	1.6%	150	24.5%
6. 災害時の避難場所などの防災機能	14	2.3%	146	23.8%
7. ヒートアイランド現象の緩和機能	6	1.0%	117	19.1%
8. 有機資源の堆肥化によるリサイクル機能	1	0.2%	119	19.4%
9. 特に期待していない	16	2.6%	44	7.2%
10. その他	1	0.2%	13	2.1%
合計	500	81.6%	1,929	314.7%

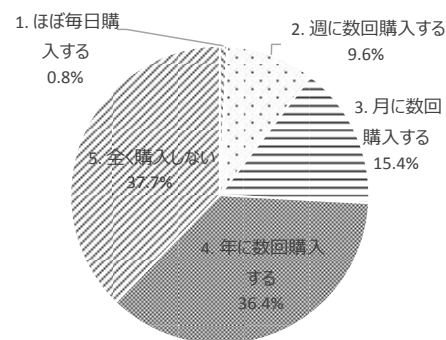
問 8. あなたは小平市内の J A ファーマーズ・マーケット及び個人直売所で小平産の農産物を買う機会がありますか。最も当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。

表 3-16 及び図 3-14 は、市内の J A ファーマーズ・マーケット、個人直売所での小平産農産物の購入頻度を表している。小平産農産物を月に数回以上購入する方の割合は、「1. ほぼ毎日購入する(5件、0.8%)」、「2. 週に数回購入する(59件、9.6%)」、「3. 月に数回購入する(95件、15.4%)」を合わせて 25.8%となっている。4人に1人の方が市内の J A ファーマーズ・マーケット、個人直売所において、定期的に小平産農産物を購入している結果となった。

表 3-16 JA ファーマーズ・マーケット、個人直売所での小平産農産物の購入頻度

	件数	割合
1. ほぼ毎日購入する	5	0.8%
2. 週に数回購入する	59	9.6%
3. 月に数回購入する	95	15.4%
4. 年に数回購入する	224	36.4%
5. 全く購入しない	232	37.7%
合計	615	100.0%

図 3-14 JA ファーマーズ・マーケット、個人直売所での小平産農産物の購入頻度



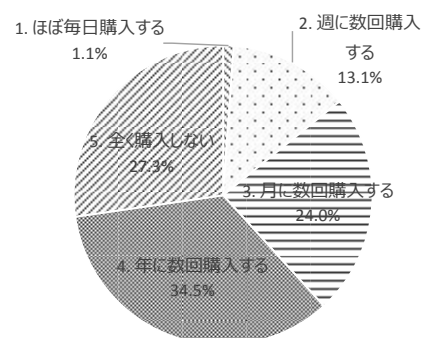
問 9. あなたは小平市内のスーパーなどで小平産の農産物を買う機会がありますか。最も当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。

表 3-17 及び図 3-15 は、市内のスーパーなどでの小平産農産物の購入頻度を表している。小平産の農産物を月に数回以上購入している方の割合は、「1. ほぼ毎日購入する(7件、1.1%)」、「2. 週に数回購入する(80件、13.1%)」、「3. 月に数回購入する(147件、24.0%)」を合わせて 38.2%となっている。3人に1人の方がスーパーなどにおいて、定期的に小平産農産物を購入している結果となった。

表 3-17 スーパーなどでの小平産農産物の購入頻度

	件数	割合
1. ほぼ毎日購入する	7	1.1%
2. 週に数回購入する	80	13.1%
3. 月に数回購入する	147	24.0%
4. 年に数回購入する	211	34.5%
5. 全く購入しない	167	27.3%
合計	612	100.0%

図 3-15 スーパーなどでの小平産農産物の購入頻度



問 10. あなたが小平産の農産物でよく買うもの(又は買いたいと思うもの)は何ですか。当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-18 は、小平産の野菜でよく買うもの(又は買いたいと思うもの)を表している。最も購入する割合が高いものは、「10. ほうれんそう(253 件、45.3%)」であり、次いで「6. だいこん(251 件、45.0%)」、「1. えだまめ(241 件、43.2%)」となった。

表 3-19 は、小平産の果物でよく買うもの(又は買いたいと思うもの)を表している。最も購入する割合が高いものは、「5. なし(299 件、52.3%)」であり、次いで「7. ブルーベリー(282 件、49.3%)」、「6. ぶどう(168 件、29.4%)」となった。

表 3-18 小平産の野菜でよく買うもの(又は買いたいと思うもの)

(有効回答数:558)

	件数	割合
1. えだまめ	241	43.2%
2. キャベツ	212	38.0%
3. こまつな	229	41.0%
4. さといも	149	26.7%
5. じゃがいも	167	29.9%
6. だいこん	251	45.0%
7. とうもろこし	216	38.7%
8. ねぎ	201	36.0%
9. ブロッコリー	220	39.4%
10. ほうれんそう	253	45.3%
11. その他	83	14.9%
12. 特になし	70	12.5%
合計	2,292	410.8%

表 3-19 小平産の果物でよく買うもの(又は買いたいと思うもの)

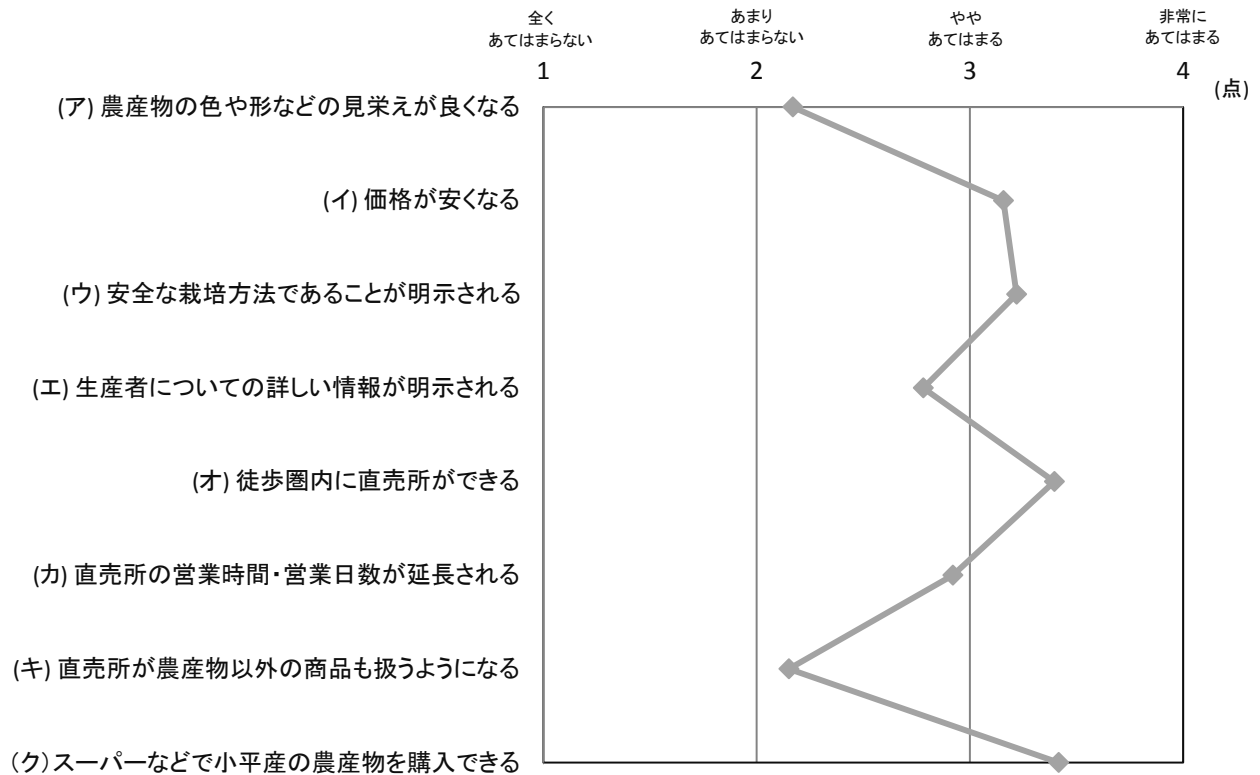
(有効回答数:572)

	件数	割合
1.うめ	36	6.3%
2.かき	92	16.1%
3.キウイフルーツ	97	17.0%
4.くり	76	13.3%
5.なし	299	52.3%
6.ぶどう	168	29.4%
7.ブルーベリー	282	49.3%
8.その他	21	3.7%
9.特になし	119	20.8%
合計	1,190	208.0%

問 11. あなたはどのような条件が整えば、小平産の農産物を現在よりも購入するようになると思いますか。以下の項目について、それぞれ最も当てはまるもの1つに○印をつけてください。

図 3-16 は小平産農産物を現在よりも購入するための条件をスコア化したものを表している。「(ク)スーパーなどで小平産の農産物を購入できる(3.42点)」が最もスコアが高く、次いで「(オ) 徒歩圏内に直売所ができる(3.40点)」、「(ウ) 安全な栽培方法であることが明示される(3.22点)」となった。

図 3-16 小平産農産物の購入条件



問 12. あなたは、これまでにどのような農作業や農業体験をしたことがありますか。また今後してみたい(継続したい)と思いますか。以下の(ア)～(オ)の項目について、当てはまる空欄全てに○印をつけてください。

表 3-20 は、これまでの農作業や農業体験の経験と、今後してみたい(継続したい)ことについて表している。「これまでにしたことがある」ものとして、「(ア) 1日～数日間以内での農産物の収穫を行う農業体験(175件、41.0%)」が最も多く、次いで「(ウ) 小面積の農園を借りて、自家用の野菜・花などを栽培する農業体験(70件、16.4%)」、「(イ) 農家の指導の下で、作付けから収穫までを継続して行う農業体験(54件、12.6%)」となった。

「今後してみたい」ものとして、「(ウ) 小面積の農園を借りて、自家用の野菜・花などを栽培する農業体験(191件、44.7%)」が最も多く、次いで「(ア) 1日～数日間以内での農産物の収穫を行う農業体験(169件、39.6%)」、「(イ) 農家の指導の下で、作付けから収穫までを継続して行う農業体験(145件、34.0%)」となった。

表 3-20 農作業や農業体験の経験の有無と今後の意向

(有効回答数:427)

	これまでに したことがある (複数可)		今後してみたい (複数可)	
	件数	割合	件数	割合
(ア) 1日～数日間以内での農産物の収穫を行う農業体験	175	41.0%	169	39.6%
(イ) 農家の指導の下で、作付けから収穫までを継続して行う農業体験	54	12.6%	145	34.0%
(ウ) 小面積の農園を借りて、自家用の野菜・花などを栽培する農業体験	70	16.4%	191	44.7%
(エ) 農業によって所得を得る農業者としての就農	3	0.7%	61	14.3%
(オ) その他	17	4.0%	8	1.9%
合計	319	74.7%	574	134.4%

問 13. あなたが農業体験をする場合、どのようなことを重視しますか。最も当てはまるもの 1 つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-21 は、農業体験をする場合に重視することを表している。「最も当てはまる」ものとして、「1. 徒歩圏内に農園がある(105 件、18.7%)」が最も多く、次いで「5. 指導者がいて、栽培指導が受けられる(79 件、14.1%)」、「2. 自転車圏内に農園がある(65 件、11.6%)」となった。

「当てはまる」ものとして、「5. 指導者がいて、栽培指導が受けられる(314 件、56.0%)」が最も多く、次いで「13. 利用料が安い(294 件、52.4%)」、「2. 自転車圏内に農園がある(265 件、47.2%)」となった。

表 3-21 農業体験で重視すること

(有効回答数:561)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1. 徒歩圏内に農園がある	105	18.7%	257	45.8%
2. 自転車圏内に農園がある	65	11.6%	265	47.2%
3. 駐車場がある	16	2.9%	136	24.2%
4. 鉄道駅やバス停の近くにある	3	0.5%	37	6.6%
5. 指導者がいて、栽培指導が受けられる	79	14.1%	314	56.0%
6. 自由に作物栽培ができる	13	2.3%	149	26.6%
7. トイレの設備がある	13	2.3%	221	39.4%
8. 共同で利用できる農機具と小屋がある	12	2.1%	232	41.4%
9. 利用者が会合できる施設や機会がある	0	0.0%	66	11.8%
10. 1年間だけ利用できる	0	0.0%	29	5.2%
11. 2年以上継続して利用できる	4	0.7%	82	14.6%
12. 利用したいときにすぐ利用できる	14	2.5%	141	25.1%
13. 利用料が安い	31	5.5%	294	52.4%
14. その他	3	0.5%	24	4.3%
15. 特に重視することはない	6	1.1%	56	10.0%
合計	364	64.9%	2,303	410.5%

5) 観光について

問 14. あなたが小平市の観光で力を入れるべき取り組みは何と思いますか。最も当てはまるもの 1 つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-22 及び図 3-17 は、観光で力を入れるべき取り組みを表している。「最も当てはまる」ものとして、「2. 魅力ある観光ルートの開発(108 件、17.8%)」が最も多く、次いで「7. 商店街の活性化(84 件、13.8%)」、「3. 「ブルーベリー」等特産品のPR(70 件、11.5%)」となった。

「当てはまる」ものとして、「7. 商店街の活性化(324 件、53.4%)」が最も多く、次いで「2. 魅力ある観光ルートの開発(274 件、45.1%)」、「3. 「ブルーベリー」等特産品のPR(236 件、38.9%)」となった。

また「10. その他」では、交通の便の改善や宿泊施設の建設などの意見があった。

表 3-22 観光で力を入れるべき取り組み

(有効回答数:607)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1. 観光PRの強化	54	8.9%	182	30.0%
2. 魅力ある観光ルートの開発	108	17.8%	274	45.1%
3. 「ブルーベリー」等特産品のPR	70	11.5%	236	38.9%
4. 市民「おもてなし」の向上	7	1.2%	58	9.6%
5. 専門的なガイドの養成	5	0.8%	53	8.7%
6. 新たな観光資源の掘り起こし	44	7.2%	200	32.9%
7. 商店街の活性化	84	13.8%	324	53.4%
8. スポーツなどの誘致	15	2.5%	114	18.8%
9. 外国人観光客の誘致	2	0.3%	31	5.1%
10. その他	11	1.8%	45	7.4%
11. 特に必要ない	13	2.1%	64	10.5%
合計	413	68.0%	1,581	260.5%

図 3-17 観光で力をいれるべき取り組み

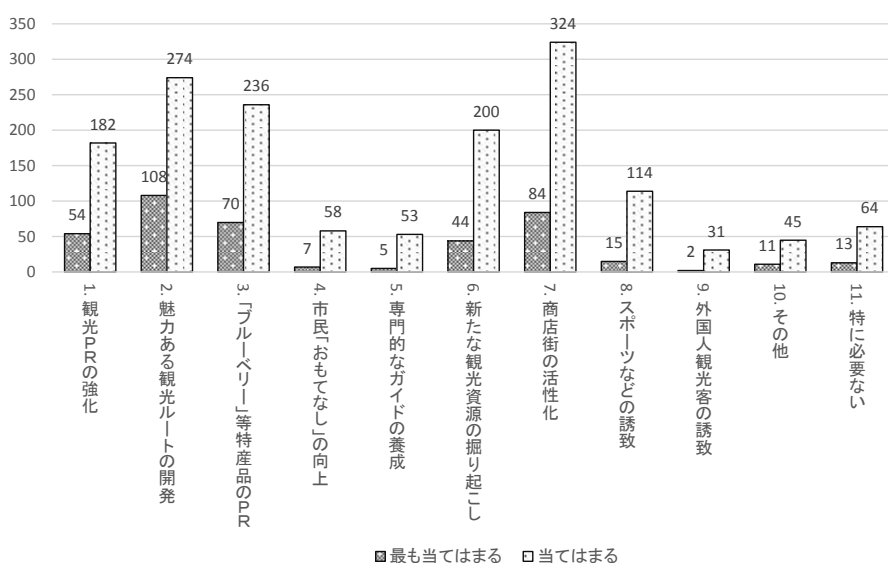


図 3-18 は、自由記述に基づいて、小平市の観光についての課題を抽出し、作成したワードクラウド（文章中で出現頻度が高い単語を複数選び出し、単語を頻度に応じた大きさと向きで図示したもの）である¹⁴。

表 3-23 は、44 件の自由記述回答における頻出語句を表している。「小平(4 回)」、「PR(4 回)」が最も多く、次いで、「交通(3 回)」、「玉川上水(3 回)」、「力(3 回)」となった。

図 3-18 自由記述から抽出した小平市の観光の課題(44 件の自由記述から抽出)



表 3-23 44 件の自由記述回答における頻出語句

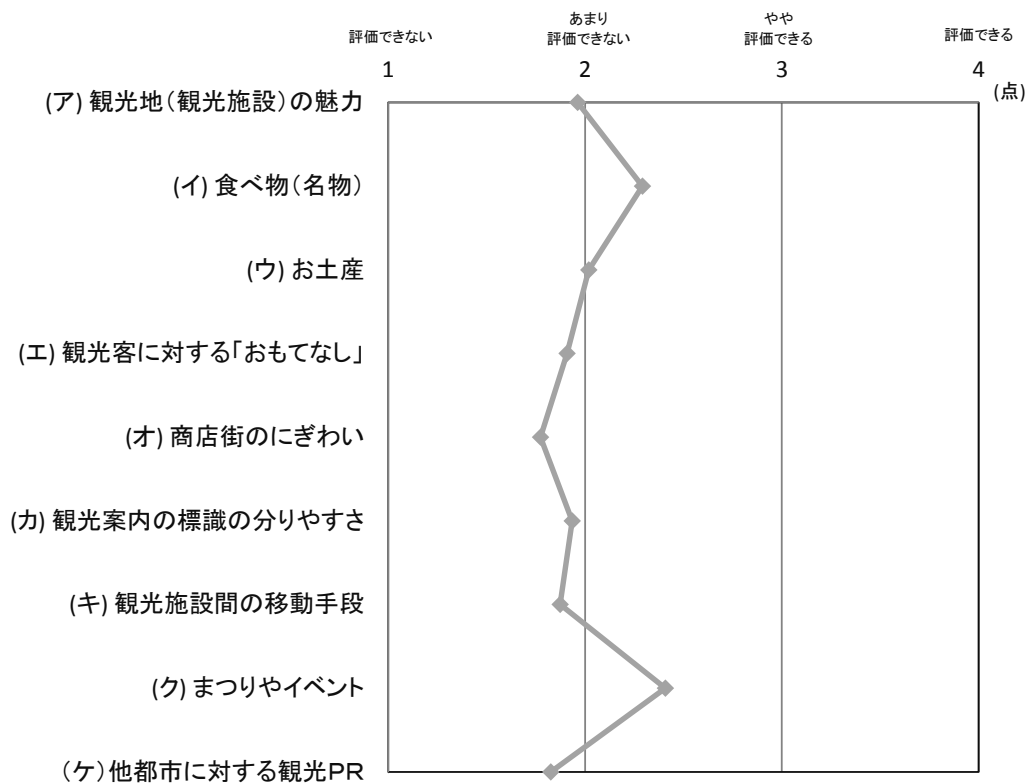
キーワード	出現回数
小平	4
PR	4
交通	3
玉川上水	3
力	3
英語	2
市内	2
ショッピング	2
店	2
人	2
市民	2
もう少し	2
魅力	2
レストラン	2
農業	2
交通機関	2
遊歩道	2
利便	2
コラボ	2

¹⁴ ワードクラウド作成については、WEB 上のサービス (<http://www.fanbright.jp/>) を利用している。

問 15. あなたは小平市の観光(宿泊を伴うものだけではなく、ちょっとした遠出や外出なども含む)について、隣接 7 市の観光と比較してどのように評価しますか。以下の(ア)～(ケ)の項目について、それぞれ最も当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。

図 3-19 は、隣接 7 市との観光についての評価の比較について表している。「(ク) まつりやイベント」が最も高い評価を得ていたものの、平均スコアは「あまり評価できない」に近い 2.41 点であり、全体から見れば評価されていない傾向にある。同様に、「(イ) 食べ物(名物)」の平均スコアも 2.29 点であり、隣接 7 市と比較して、観光における市民の評価は低い。

図 3-19 観光についての評価



問 16. あなたが PR したい小平市の観光施設又は観光資源は次のうちどれですか(あいうえお順)。最も当てはまるもの 1 つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-24 は、PR したい市内の観光施設・観光資源について表している。「最も当てはまる」ものとして、「5. 小平グリーンロード(124 件、20.3%)」が最も多く、次いで「18. ブルーベリー(44 件、7.2%)」、「1. FC 東京小平グランド(38 件、6.2%)」となった。

「当てはまる」ものとして、「5. 小平グリーンロード(308 件、50.4%)」が最も多く、次いで「18. ブルーベリー(274 件、44.8%)」、「8. 小平ふるさと村(230 件、37.6%)」となった。

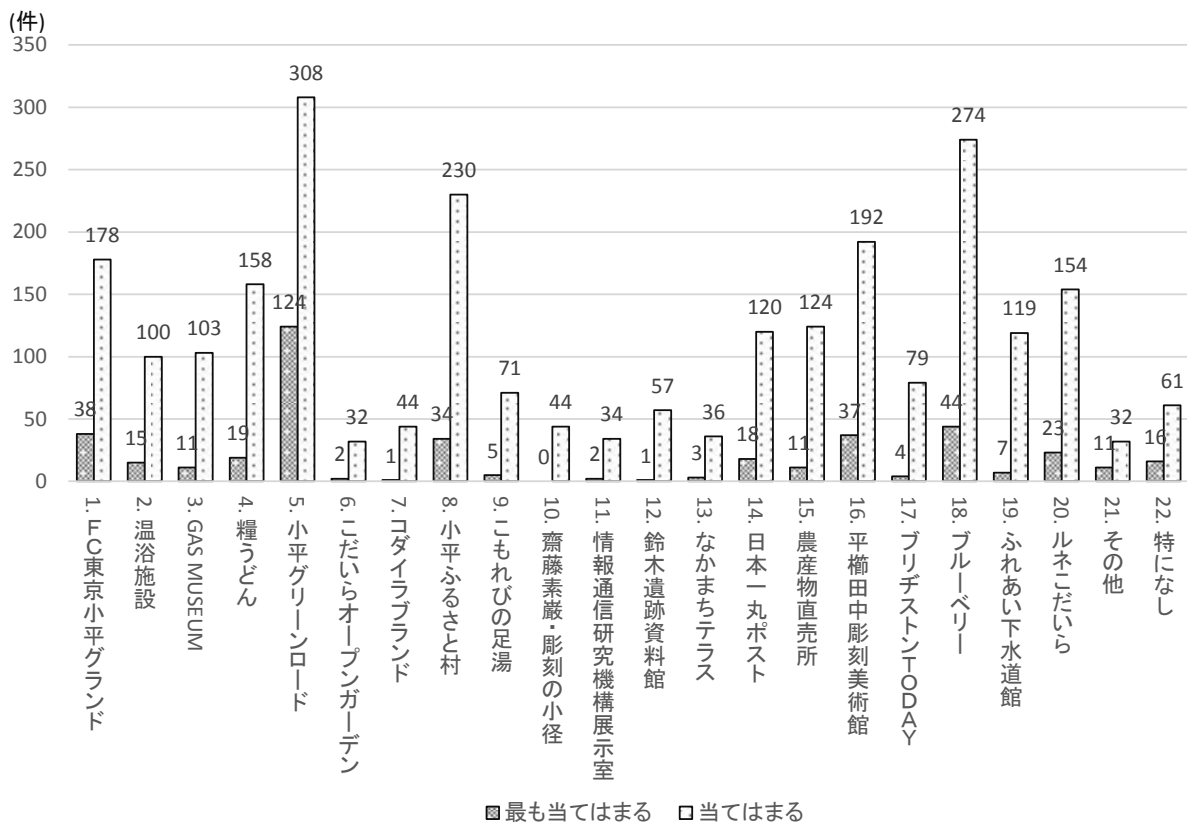
また「21. その他」では、玉川上水という意見が多くあった。

表 3-24 PR したい市内の観光施設・観光資源

(有効回答数:611)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1. FC東京小平グランド	38	6.2%	178	29.1%
2. 温浴施設	15	2.5%	100	16.4%
3. GAS MUSEUM	11	1.8%	103	16.9%
4. 糧うどん	19	3.1%	158	25.9%
5. 小平グリーンロード	124	20.3%	308	50.4%
6. こだいらオープンガーデン	2	0.3%	32	5.2%
7. コダイブランド	1	0.2%	44	7.2%
8. 小平ふるさと村	34	5.6%	230	37.6%
9. こもれびの足湯	5	0.8%	71	11.6%
10. 齋藤素巖・彫刻の小径	0	0.0%	44	7.2%
11. 情報通信研究機構展示室	2	0.3%	34	5.6%
12. 鈴木遺跡資料館	1	0.2%	57	9.3%
13. なかまちテラス	3	0.5%	36	5.9%
14. 日本一丸ポスト	18	2.9%	120	19.6%
15. 農産物直売所	11	1.8%	124	20.3%
16. 平櫛田中彫刻美術館	37	6.1%	192	31.4%
17. プリヂストンTODAY	4	0.7%	79	12.9%
18. ブルーベリー	44	7.2%	274	44.8%
19. ふれあい下水道館	7	1.1%	119	19.5%
20. ルネこだいら	23	3.8%	154	25.2%
21. その他	11	1.8%	32	5.2%
22. 特になし	16	2.6%	61	10.0%
合計	426	69.7%	2,550	417.3%

図 3-20 PR したい市内の観光施設・観光資源



6) 働き方について

問 17. 現在、働いている方(問 1.「お勤めの状況」で設問 1.から 4.を選んだ方)にお伺いします。現在の雇用環境においてどのような課題がありますか。次のうち最も当てはまるもの 1 つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-25 は、正規雇用または派遣・嘱託・契約社員として就業している方の雇用環境の課題を表している。「最も当てはまる」ものとして、「8. 通勤時間が長い(47 件、15.5%)」が最も多く、次いで「12. 特に課題はない(29 件、9.5%)」、「4. 収入が少ない(28 件、9.2%)」、「10. 精神的な負担が大きい(27 件、8.9%)」となった。

「当てはまる」ものとして、「10. 精神的な負担が大きい(98 件、32.2%)」が最も多く、次いで「8. 通勤時間が長い(93 件、30.6%)」、「4. 収入が少ない(91 件、29.9%)」となった。

表 3-25 雇用環境の課題

(有効回答数:304)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1. やりがいを感じられない	9	3.0%	27	8.9%
2. 専門的な資格・技能を活かせない	0	0.0%	11	3.6%
3. 安定した収入を得られない	5	1.6%	29	9.5%
4. 収入が少ない	28	9.2%	91	29.9%
5. 自分の都合のよい時間に働けない	3	1.0%	16	5.3%
6. 勤務時間や労働日数が多すぎる	8	2.6%	44	14.5%
7. 残業が多すぎる	15	4.9%	53	17.4%
8. 通勤時間が長い	47	15.5%	93	30.6%
9. 体力的な負担が大きい	12	3.9%	71	23.4%
10. 精神的な負担が大きい	27	8.9%	98	32.2%
11. その他	2	0.7%	15	4.9%
12. 特に課題はない	29	9.5%	80	26.3%
合計	185	60.9%	628	206.6%

表 3-26 及び図 3-21 は、雇用環境の課題について、男女別にクロス集計を行った結果を表している。男性で最も多かった回答は、「8.通勤時間が長い(54 件、32.7%)」となった。次いで「10.精神的な負担が大きい(50 件、30.3%)」、「12.特に課題はない(48 件、29.1%)」、「4.収入が少ない(47 件、28.5%)」となった。

女性で最も多かった回答は、「10.精神的な負担が大きい(46 件、34.6%)」であった。次いで、「4.収入が少ない(43 件、32.3%)」、「9.体力的な負担が大きい(42 件、31.6%)」、「8.通勤時間が長い(37 件、27.8%)」となった。

男女で最も大きく差が開いた回答は、「9.体力的な負担が大きい」であり、15.2 ポイント差となった。

表 3-26 雇用環境の課題(男女別)

	1.やりがいを感じられない	2.専門的な資格・技能を活かせない	3.安定した収入を得られない	4.収入が少ない	5.自分の都合のよい時間に働けない	6.勤務時間や労働日数が多すぎる	7.残業が多すぎる	8.通勤時間が長い	9.体力的な負担が大きい	10.精神的な負担が大きい	11.その他	12.特に課題はない	有効回答数
男性	15	5	13	47	6	27	32	54	27	50	8	48	165
女性	12	6	16	43	10	17	21	37	42	46	7	30	133

図 3-21 雇用環境の課題(男女別)

	1.やりがいを感じられない	2.専門的な資格・技能を活かせない	3.安定した収入を得られない	4.収入が少ない	5.自分の都合のよい時間に働けない	6.勤務時間や労働日数が多すぎる	7.残業が多すぎる	8.通勤時間が長い	9.体力的な負担が大きい	10.精神的な負担が大きい	11.その他	12.特に課題はない
男性	9.1%	3.0%	7.9%	28.5%	3.6%	16.4%	19.4%	32.7%	16.4%	30.3%	4.8%	29.1%
女性	9.0%	4.5%	12.0%	32.3%	7.5%	12.8%	15.8%	27.8%	31.6%	34.6%	5.3%	22.6%

問 18. 現在、働いていない方(問 1.「お勤めの状況」で設問 5.から 7.を選んだ方)にお伺いします。あなたは可能であれば働きたいと思いませんか。最も当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。

表 3-27 は、現在、働いていない方の就労意欲について表している。「1. 働きたい(正社員)(33 件、14.9%)」と、「2. 働きたい(パート・アルバイト)(85 件、38.5%)」を合わせると全体の半数以上の方が「働きたい」と回答している。また、就労形態としては、パートやアルバイトでの就労を希望する方が多い。

なお、個別の選択肢としては「3. 働きたくない(103 件、46.6%)」が最も多いが、この理由として回答者にリタイア層が多く含まれているためと推察される。

表 3-27 未就労者の就労意欲

	件数	割合
1. 働きたい(正社員)	33	14.9%
2. 働きたい(パート・アルバイト)	85	38.5%
3. 働きたくない	103	46.6%
合計	221	100.0%

表 3-28 は、男性未就労者における就労意欲を年齢別に表している。10 歳代から 50 歳代男性においては、「1.働きたい(正社員)(17 件、63.0%)」が最も多く、次いで「2.働きたい(パート・アルバイト)(7 件、25.9%)」であった。また、60 歳代以上の男性においては、「3.働きたくない(33 件、63.5%)」が最も多く、次いで「2.働きたい(パート・アルバイト)(17 件、32.7%)」であった。

表 3-28 未就労者の就労意欲(男性年代別)

	1. 働きたい (正社員)		2. 働きたい (パート・アルバイト)		3. 働きたくない		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
10歳代男性	3	50.0%	2	33.3%	1	16.7%	6	100.0%
20歳代男性	12	70.6%	3	17.6%	2	11.8%	17	100.0%
30歳代男性	0		0		0		0	
40歳代男性	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	3	100.0%
50歳代男性	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
10-50歳代男性合計	17	63.0%	7	25.9%	3	11.1%	27	100.0%
60歳代男性	1	9.1%	3	27.3%	7	63.6%	11	100.0%
70歳代以上男性	1	2.4%	14	34.1%	26	63.4%	41	100.0%
60歳代以上男性合計	2	3.8%	17	32.7%	33	63.5%	52	100.0%

表 3-29 は、女性未就労者における就労意欲を年齢別に表している。10 歳代から 50 歳代女性においては、「2.働きたい(パート・アルバイト)(40 件、58.0%)」が最も多く、次いで「3.働きたくない(15 件、21.7%)」「1.働きたい(正社員)(14 件、20.3%)」でほぼ同率であった。また、60 歳代以上の女性においては、「3.働きたくない(43 件、72.9%)」であり、次いで「2.働きたい(パート・アルバイト)(16 件、27.1%)」であった。

表 3-29 未就労者の就労意欲(女性年代別)

	1. 働きたい (正社員)		2. 働きたい (パート・アルバイト)		3. 働きたくない		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
10歳代女性	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	2	100.0%
20歳代女性	10	55.6%	6	33.3%	2	11.1%	18	100.0%
30歳代女性	1	6.7%	12	80.0%	2	13.3%	15	100.0%
40歳代女性	1	6.3%	12	75.0%	3	18.8%	16	100.0%
50歳代女性	2	11.1%	9	50.0%	7	38.9%	18	100.0%
10-50歳代女性合計	14	20.3%	40	58.0%	15	21.7%	69	100.0%
60歳代女性	0	0.0%	8	28.6%	20	71.4%	28	100.0%
70歳代以上女性	0	0.0%	8	25.8%	23	74.2%	31	100.0%
60歳代以上女性合計	0	0.0%	16	27.1%	43	72.9%	59	100.0%

問 19. 前問で「1. 働きたい(正社員)」および「2. 働きたい(パート・アルバイト)」と回答した方にお伺いします。あなたが働きたいのに現在働けていない理由は何ですか。次のうち最も当てはまるもの1つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-30 は、就労を希望しているにも関わらず、働いていない方の未就労の理由を表している。「最も当てはまる」ものとして、「2. 希望する勤務時間・労働日数の仕事がない(12件、10.3%)」と「8. 体力面・健康面での不安がある(12件、10.3%)」が同率で最も多く、次いで、「1. 希望する業務内容の仕事がない(11件、9.4%)」「6. 子育ての負担が大きい(9件、7.7%)」となった。

「当てはまる」ものとして、「2. 希望する勤務時間・労働日数の仕事がない(44件、37.6%)」が最も多く、次いで「8. 体力面・健康面での不安がある(35件、29.9%)」、「1. 希望する業務内容の仕事がない(32件、27.4%)」「10. その他(32件、27.4%)」となった。

「10. その他」では、学生であるためといった回答が多かった。

表 3-30 未就労者における未就労の理由

(有効回答数:117)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1. 希望する業務内容の仕事がない	11	9.4%	32	27.4%
2. 希望する勤務時間・労働日数の仕事がない	12	10.3%	44	37.6%
3. 希望する給与水準の仕事がない	2	1.7%	10	8.5%
4. 子どもを保育園・学童等に預けられない	4	3.4%	8	6.8%
5. 家族・親戚等の介護をする必要がある	5	4.3%	15	12.8%
6. 子育ての負担が大きい	9	7.7%	18	15.4%
7. 家事の負担が大きい	3	2.6%	15	12.8%
8. 体力面・健康面での不安がある	12	10.3%	35	29.9%
9. 家族の同意が得られない	0	0.0%	4	3.4%
10.その他	6	5.1%	32	27.4%
合計	64	54.7%	213	182.1%

7) 産業全般について

問 20. あなたが小平市内の企業に求めるのはどのようなことですか。最も当てはまるもの 1 つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-31 は、市内の企業に求めることを表している。「最も当てはまる」ものとして、「1. 地域活動への貢献(地域の組織との連携、ボランティア活動、防犯活動、災害時の地域支援など)(116 件、20.0%)」、が最も多く、次いで「5. 正規社員の雇用拡大(92 件、15.9%)」、「2. 地域行事への参加・協力(お祭り・イベントなど)(40 件、6.9%)」となった。

「当てはまる」ものとして、「1. 地域活動への貢献(地域の組織との連携、ボランティア活動、防犯活動、災害時の地域支援など)(298 件、51.4%)」が最も多く、次いで「5. 正規社員の雇用拡大(254 件、43.8%)」、「3. 環境問題への取り組み(206 件、35.5%)」となった。

表 3-31 市内の企業に求めること

(有効回答数:580)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1. 地域活動への貢献(地域の組織との連携、ボランティア活動、防犯活動、災害時の地域支援など)	116	20.0%	298	51.4%
2. 地域行事への参加・協力(お祭り・イベントなど)	40	6.9%	192	33.1%
3. 環境問題への取り組み	36	6.2%	206	35.5%
4. 企業の法的遵守(コンプライアンス)・社会貢献活動(CSR)意識の向上	33	5.7%	168	29.0%
5. 正規社員の雇用拡大	92	15.9%	254	43.8%
6. パート・アルバイトの雇用拡大	16	2.8%	172	29.7%
7. 小中学生への職業体験や見学の機会の提供	16	2.8%	165	28.4%
8. 就労支援や人材育成支援(求職者や学生への就職情報の提供・職場公開・職業体験など)	26	4.5%	168	29.0%
9. その他	4	0.7%	14	2.4%
10. 特にない	6	1.0%	64	11.0%
合計	385	66.4%	1,701	293.3%

表 3-32 及び図 3-22 は、小平市内の企業に求めることを年代別にクロス集計を行った結果を表している。「1. 地域活動への貢献(地域の組織との連携、ボランティア活動、防犯活動、災害時の地域支援など)」の回答は 20~40 歳代よりも 50 歳代以上での回答割合が高かったほか、「3. 環境問題への取り組み」についても同様であった。「5. 正規社員の雇用拡大」については、50 歳代以下の回答割合が高かった。

表 3-32 小平市内の企業に求めること(年代別)

	1.地域活動への貢献(地域の組織との連携、ボランティア活動、防犯活動、災害時の地域支援など)	2.地域行事への参加・協力(お祭り・イベントなど)	3.環境問題への取り組み	4.企業の法的遵守(コンプライアンス)・社会貢献活動(CSR)意識の向上	5.正規社員の雇用拡大	6.パート・アルバイトの雇用拡大	7.小中学生への職業体験や見学の機会の提供	8.就労支援や人材育成支援(求職者や学生への就職情報の提供・職場公開・職業体験など)	9.その他	10.特になし	有効回答数
10歳代(18歳以上)	6	5	5	2	6	3	2	3	0	2	11
20歳代	36	29	18	22	40	23	31	28	3	11	82
30歳代	29	30	19	17	42	33	30	21	1	5	80
40歳代	38	25	25	21	33	34	24	21	4	10	86
50歳代	55	37	39	38	48	30	28	36	2	1	89
60歳代	62	30	43	37	38	25	24	36	3	13	111
70歳代以上	72	36	57	31	47	24	26	23	1	22	121

図 3-22 小平市内の企業に求めること(年代別)

	1.地域活動への貢献(地域の組織との連携、ボランティア活動、防犯活動、災害時の地域支援など)	2.地域行事への参加・協力(お祭り・イベントなど)	3.環境問題への取り組み	4.企業の法的遵守(コンプライアンス)・社会貢献活動(CSR)意識の向上	5.正規社員の雇用拡大	6.パート・アルバイトの雇用拡大	7.小中学生への職業体験や見学の機会の提供	8.就労支援や人材育成支援(求職者や学生への就職情報の提供・職場公開・職業体験など)	9.その他	10.特になし
10歳代(18歳以上)	54.5%	45.5%	45.5%	18.2%	54.5%	27.3%	18.2%	27.3%	0.0%	18.2%
20歳代	43.9%	35.4%	22.0%	26.8%	48.8%	28.0%	37.8%	34.1%	3.7%	13.4%
30歳代	36.3%	37.5%	23.8%	21.3%	52.5%	41.3%	37.5%	26.3%	1.3%	6.3%
40歳代	44.2%	29.1%	29.1%	24.4%	38.4%	39.5%	27.9%	24.4%	4.7%	11.6%
50歳代	61.8%	41.6%	43.8%	42.7%	53.9%	33.7%	31.5%	40.4%	2.2%	1.1%
60歳代	55.9%	27.0%	38.7%	33.3%	34.2%	22.5%	21.6%	32.4%	2.7%	11.7%
70歳代以上	59.5%	29.8%	47.1%	25.6%	38.8%	19.8%	21.5%	19.0%	0.8%	18.2%

8) 小括

まちづくり、商業、農業、観光及び働き方についての市民意識調査の結果とその分析から以下の点が明らかになった。

- 市民は小平市の自然や農との関わりについて評価しているほか、公共交通の利便性や景観についても評価が高く、緑や農地と共存する小平市の住環境を評価している。一方で観光拠点や商店街、商業施設に関する評価は低いものの、商店街や商業施設が今後より魅力的になることへの期待は大きい。
- 購買行動では市内東部、中部、西部で地域差がみられた。東部では、市内は花小金井駅周辺で、市外は新宿駅周辺で購買する割合が高い。中部では、市内は一橋学園駅や小平駅周辺で、市外は国分寺駅周辺で購買する割合が高い。西部では、市内は小川駅や鷹の台駅周辺、市外は立川駅や東大和市駅周辺で購買する割合が高い。また、全体として買回りの品や娯楽サービスは市外で消費される傾向が強い。
- 市民のうち3人に1人は、小平産農産物をスーパーなどで月に数回以上購入しており、日ごろから農産物の販売を通じて市内農業との関わりを持っている人が多い。また、農作業や農業体験を今後してみたいと考える人も多いことから、市内農業との関わりを望んでいる市民は多いと考えられる。
- 観光については、市民からの評価は全体としてあまり高くないものの、まつりやイベント、食べ物などはやや評価されている。PRしたい観光施設・資源については、小平グリーンロードやブルーベリーなどが多く挙げられた。
- 雇用環境については年代別、性別による意識差がある。就労者については、通勤時間の長さや精神的負担の大きさ、収入の少なさを課題として挙げる人が多い。未就労者については、勤務日数・勤務時間や職種内容のミスマッチ、体力・健康面での不安から、働きたくても働けないという意見が多く挙げられた。また、30歳代、40歳代の女性の就労意欲が高く、パートやアルバイトなどの時間を限定した労働の希望が強い。
- 市民が企業に求めることとしては、地域活動への期待が大きい。その他、正規社員の雇用拡大を求める意見も多く見られた。

3. 事業所動向調査結果

1) 事業所動向調査

問 1. 以下の項目についてお答えください。(平成 28 年 3 月末時点)

表 3-33 及び図 3-23 は、回答企業の経営形態を表している。経営形態については、「法人(347 件、96.4%)」が大半を占めており、「個人経営(13 件、3.6%)」は一部にとどまる。これは、アンケートの郵送のために用いた企業リスト「(株)帝国データバンク「COSMOS2」」に掲載されている企業が主に法人である、という性質によるものである。

表 3-33 経営形態

	件数	割合
法人	347	96.4%
個人経営	13	3.6%
合計	360	100.0%

図 3-23 経営形態

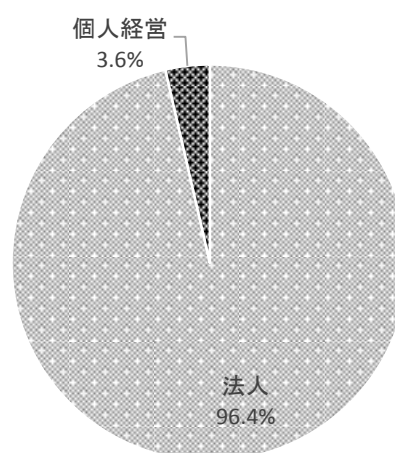


表 3-34 及び図 3-24 は、回答企業における市内に勤務する従業員数を表している。市内に勤務する従業員数として最も多かった回答が「1～5人(156件、45.3%)」であり、次いで「6～10人(69件、20.1%)」、「21～50人(43件、12.5%)」であった。20人以下の事業所が回答企業の約8割を占めている。

表 3-34 市内従業員数

	件数	割合
0人	9	2.6%
1～5人	156	45.3%
6～10人	69	20.1%
11～20人	39	11.3%
21～50人	43	12.5%
51～100人	7	2.0%
101～300人	17	4.9%
301人以上	4	1.2%
合計	344	100.0%

図 3-24 市内従業員数

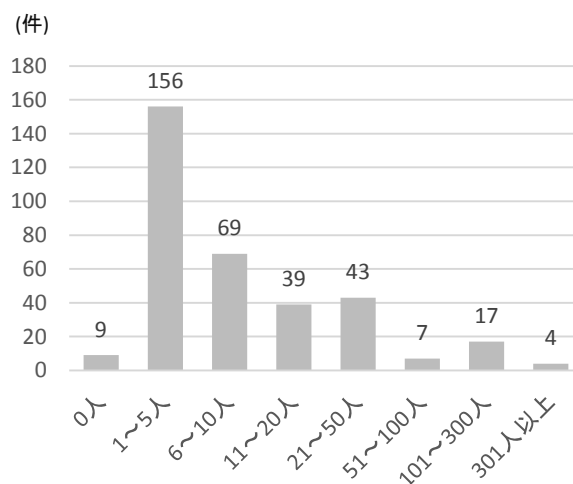


表 3-35 及び図 3-25 は、回答企業における小平市内に勤務する正社員数を表している。小平市内に勤務する正社員数として最も多かったのが「1～5人(204件、58.0%)」であり、次いで「6～10人(61件、17.3%)」、「11～20人(42件、11.9%)」であった。10人以下の事業所が回答企業の約8割を占めている。

表 3-35 市内正社員数

	件数	割合
0人	6	1.7%
1～5人	204	58.0%
6～10人	61	17.3%
11～20人	42	11.9%
21～50人	21	6.0%
51～100人	10	2.8%
101～300人	6	1.7%
301人以上	2	0.6%
合計	352	100.0%

図 3-25 市内正社員数

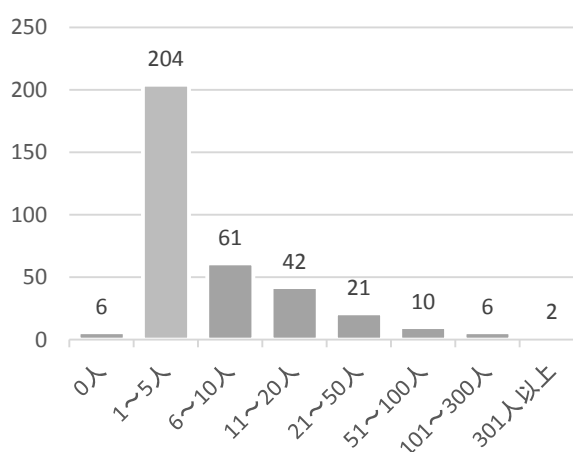


表 3-36 及び図 3-26 は、回答企業における小平市内に勤務する従業員のうち、パート・アルバイト数を表している。小平市内に勤務するパート・アルバイト数として最も多かったのが「1～5人(119件、46.7%)」であり、次いで「0人(68件、26.7%)」、「6～10人(23件、9.0%)」であった。

表 3-36 市内パート・アルバイト数

	件数	割合
0人	68	26.7%
1～5人	119	46.7%
6～10人	23	9.0%
11～20人	14	5.5%
21～50人	17	6.7%
51～100人	5	2.0%
101～300人	8	3.1%
301人以上	1	0.4%
合計	255	100.0%

図 3-26 市内パート・アルバイト数

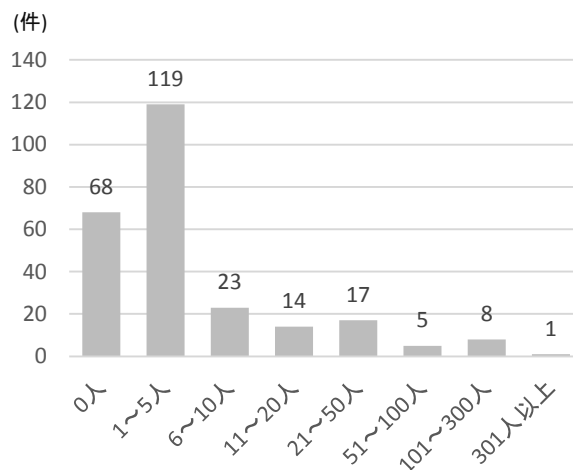


表 3-37 及び図 3-27 は、回答企業における資本金を表している(法人のみ)。回答企業の資本金として最も多かったのが「10百万円以上30百万円未満(144件、44.0%)」であり、次いで「3百万円以上5百万円未満(88件、26.9%)」、「5百万円以上10百万円未満(28件、8.6%)」であった。

表 3-37 資本金

	件数	割合
1百万円未満	19	5.8%
1百万円以上3百万円未満	8	2.4%
3百万円以上5百万円未満	88	26.9%
5百万円以上10百万円未満	28	8.6%
10百万円以上30百万円未満	144	44.0%
30百万円以上50百万円未満	15	4.6%
50百万円以上100百万円未満	17	5.2%
100百万円以上	8	2.4%
合計	327	100.0%

図 3-27 資本金

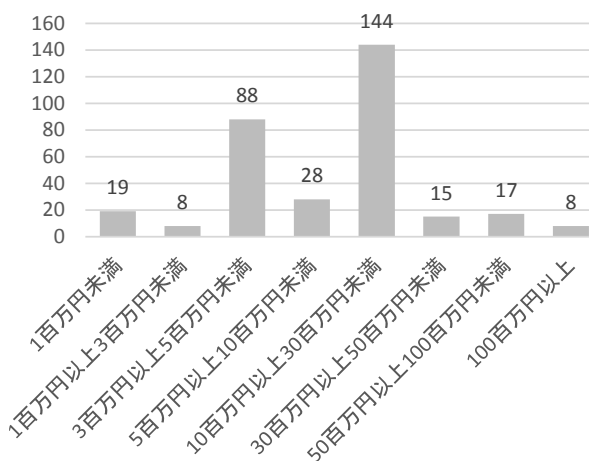


表 3-38 及び図 3-28 は、回答企業における前年度売上高を表している。回答企業の前年度売上高として最も多かったのが「100 百万円以上 500 百万円未満(105 件、32.8%)」であり、次いで「10 百万円以上 50 百万円未満(81 件、25.3%)」、「50 百万円以上 100 百万円未満(62 件、19.4%)」であった。

表 3-38 前年度売上高

	件数	割合
10百万円未満	27	8.4%
10百万円以上50百万円未満	81	25.3%
50百万円以上100百万円未満	62	19.4%
100百万円以上500百万円未満	105	32.8%
500百万円以上1000百万円未満	23	7.2%
1000百万円以上5000百万円未満	15	4.7%
5000百万円以上	7	2.2%
合計	320	100.0%

図 3-28 前年度売上高

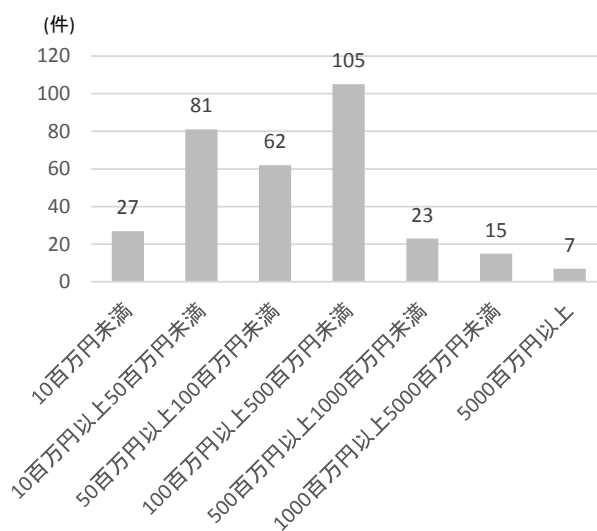
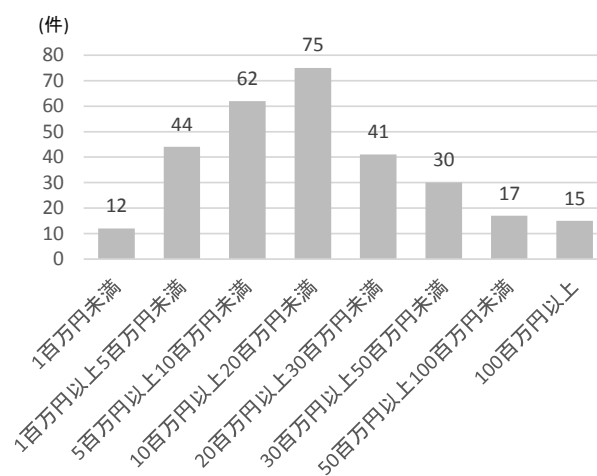


表 3-39 及び図 3-29 は、回答企業における従業員 1 人あたりの前年度売上高を表している。回答企業の従業員 1 人あたりの前年度売上高として最も多かったのが「10 百万円以上 20 百万円未満(75 件、25.3%)」であり、次いで「5 百万円以上 10 百万円未満(62 件、20.9%)」、「1 百万円以上 5 百万円未満(44 件、14.9%)」であった。

表 3-39 従業員 1 人あたりの前年度売上高

	件数	割合
1百万円未満	12	4.1%
1百万円以上5百万円未満	44	14.9%
5百万円以上10百万円未満	62	20.9%
10百万円以上20百万円未満	75	25.3%
20百万円以上30百万円未満	41	13.9%
30百万円以上50百万円未満	30	10.1%
50百万円以上100百万円未満	17	5.7%
100百万円以上	15	5.1%
合計	296	100.0%

図 3-29 従業員 1 人あたりの前年度売上高



問 2. 貴社の業種は次のどれですか。以下のうち最も売上額の大きいもの 1 つに○印をつけてください。

表 3-40 及び図 3-30 は、回答企業における業種を表している。回答企業の業種として最も多かったのが「2.建設業(125 件、34.9%)」であり、次いで「6.卸売業、小売業(64 件、17.9%)」であった。建設業が最も多かった要因としては、アンケートの郵送のために用いた企業リスト「(株)帝国データバンク「COSMOS2」」に掲載されている企業のうち、建設業の割合が高いことによるものである。

表 3-40 業種

	件数	割合
1.農林水産業	0	0.0%
2.建設業	125	34.9%
3.製造業	38	10.6%
4.情報通信業	5	1.4%
5.運輸業、郵便業	4	1.1%
6.卸売業、小売業	64	17.9%
7.金融業、保険業	2	0.6%
8.不動産業、物品賃貸業	17	4.7%
9.学術研究、専門・技術サービス業	15	4.2%
10.宿泊業、飲食サービス業	6	1.7%
11.生活関連サービス業、娯楽業	3	0.8%
12.教育、学習支援業	10	2.8%
13.医療、福祉	38	10.6%
14.その他のサービス業	31	8.7%
合計	358	100.0%

図 3-30 業種

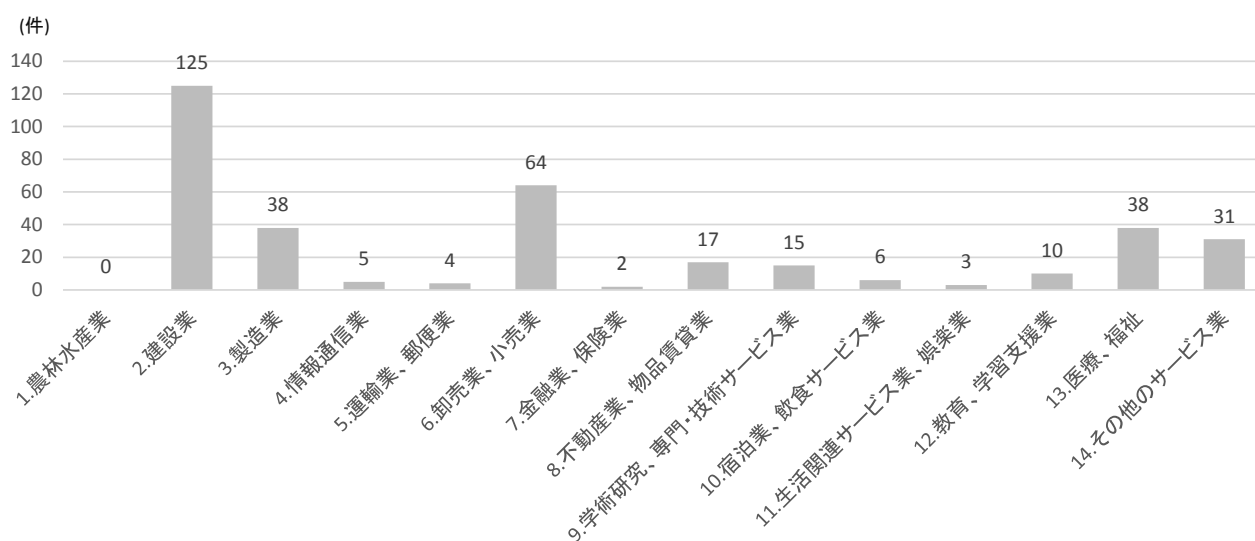
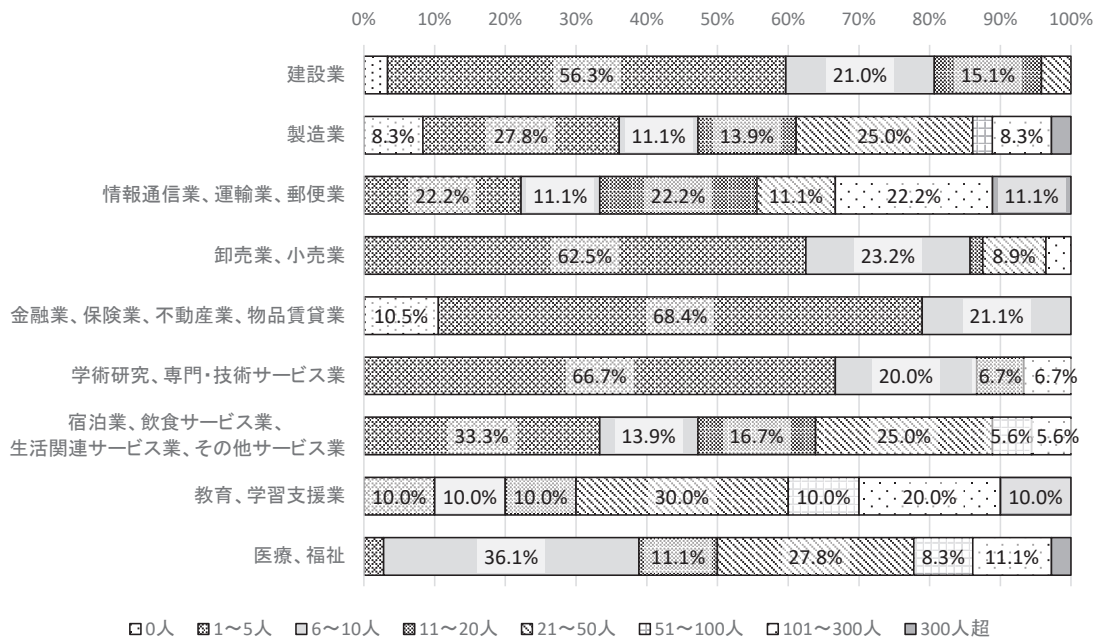


表 3-41 及び図 3-31 は、回答企業における業種別従業員数を表している。「建設業」、「卸売業、小売業」、「金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」においては、比較的小規模な事業所が多い一方で、「情報通信業、運輸業、郵便業」、「教育、学習支援業」では、比較的規模の大きい事業所が多くなっている。

表 3-41 業種別従業員数

	0人		1~5人		6~10人		11~20人		21~50人		51~100人		101~300人		301人以上		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
建設業	4	3.4%	67	56.3%	25	21.0%	18	15.1%	5	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	119	35.4%
製造業	3	8.3%	10	27.8%	4	11.1%	5	13.9%	9	25.0%	1	2.8%	3	8.3%	1	2.8%	36	10.7%
情報通信業、運輸業、郵便業	0	0.0%	2	22.2%	1	11.1%	2	22.2%	1	11.1%	0	0.0%	2	22.2%	1	11.1%	9	2.7%
卸売業、小売業	0	0.0%	35	62.5%	13	23.2%	1	1.8%	5	8.9%	0	0.0%	2	3.6%	0	0.0%	56	16.7%
金融業、保険業、 不動産業、物品賃貸業	2	10.5%	13	68.4%	4	21.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	19	5.7%
学術研究、 専門・技術サービス業	0	0.0%	10	66.7%	3	20.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	15	4.5%
宿泊業、飲食サービス業、 生活関連サービス業、娯楽業、 その他のサービス業	0	0.0%	12	33.3%	5	13.9%	6	16.7%	9	25.0%	2	5.6%	2	5.6%	0	0.0%	36	10.7%
教育、学習支援業	0	0.0%	1	10.0%	1	10.0%	1	10.0%	3	30.0%	1	10.0%	2	20.0%	1	10.0%	10	3.0%
医療、福祉	0	0.0%	1	2.8%	13	36.1%	4	11.1%	10	27.8%	3	8.3%	4	11.1%	1	2.8%	36	10.7%
合計	9	2.7%	151	44.9%	69	20.5%	38	11.3%	42	12.5%	7	2.1%	16	4.8%	4	1.2%	336	100.0%

図 3-31 業種別従業員数



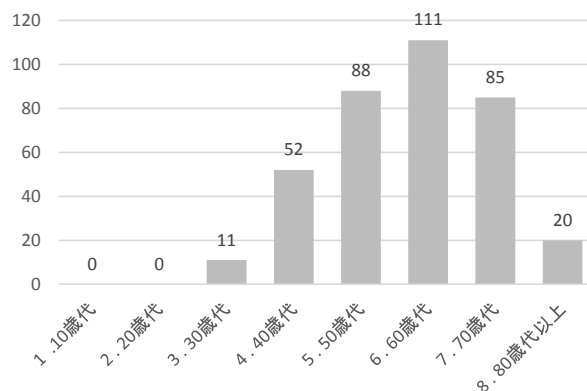
問 4. 代表者の年齢は次のどれですか。以下のうち当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。

表 3-42 及び図 3-32 は、回答企業における代表者の年代を表している。回答企業の代表者の年代として最も多かったのが「6.60 歳代(111 件、30.2%)」であり、次いで「5.50 歳代(88 件、24.0%)」、「7.70 歳代(85 件、23.2%)」であった。多摩地域の代表者の平均年齢は 60.2 歳¹⁵となっており、小平市でも同様に代表者の高齢化が進んでいることがわかる。

表 3-42 代表者の年代

	件数	割合
1.10 歳代	0	0.0%
2.20 歳代	0	0.0%
3.30 歳代	11	3.0%
4.40 歳代	52	14.2%
5.50 歳代	88	24.0%
6.60 歳代	111	30.2%
7.70 歳代	85	23.2%
8.80 歳代以上	20	5.4%
合計	367	100.0%

図 3-32 代表者の年代



¹⁵ 株式会社帝国データバンク(平成 28 年)「特別企画：2016 年多摩地区社長分析」より

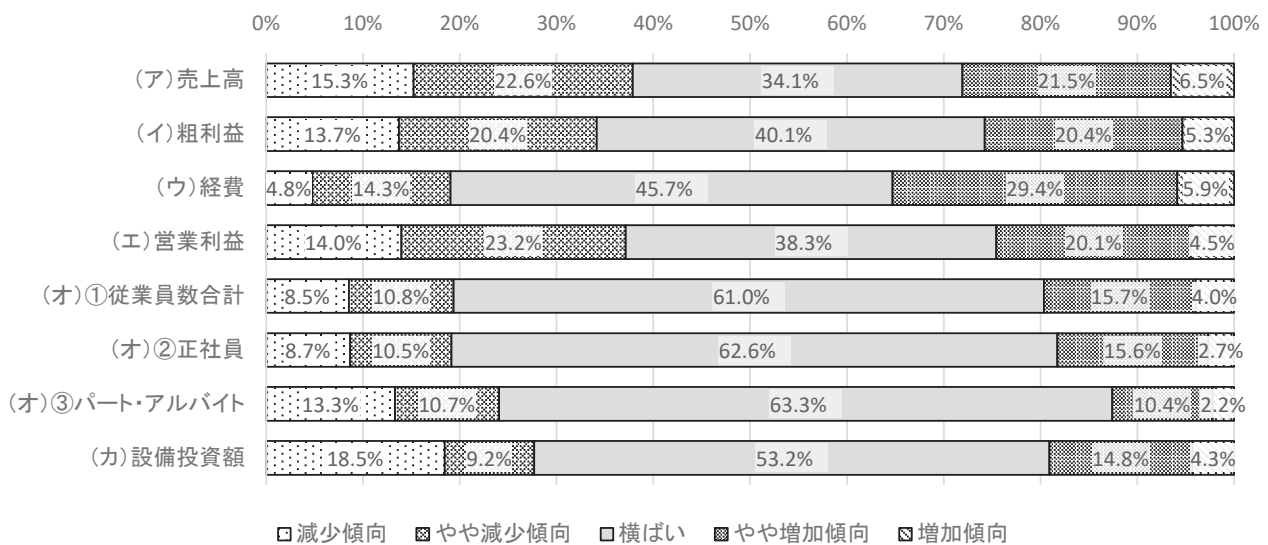
問 5. 直近 3 年間の貴社の動向についてお伺いします。次の(ア)～(カ)の項目について、それぞれ最も当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。

表 3-43 及び図 3-33 は、回答企業における直近 3 年間の経営状況を表している。「(ア)売上高」に関しては、「減少傾向」、「やや減少傾向」と回答した企業が 37.9%となり、「増加傾向」、「やや増加傾向」と回答した割合を 9.9 ポイント上回った。「(イ)粗利益」、「(エ)営業利益」に関しても同様の傾向である。「(ウ)経費」に関しては、「増加傾向」、「やや増加傾向」と回答した企業が 35.3%となり、「減少傾向」、「やや減少傾向」と回答した企業を 16.2 ポイント上回った。「(オ)①従業員数合計」については、「増加傾向」、「やや増加傾向」と回答した割合と「減少傾向」、「やや減少傾向」と回答した割合がほぼ同じであった。一方、「(オ)③パート・アルバイト」の項目をみると、「減少傾向」、「やや減少傾向」と回答した企業が 24.0%となり、「増加傾向」、「やや増加傾向」と回答した企業を 11.4 ポイント上回った。「(カ)設備投資額」については、「(ア)売上高」、「(イ)粗利益」、「(エ)営業利益」ほどではないものの、「減少傾向」、「やや減少傾向」と回答した割合が上回った。

表 3-43 直近 3 年間の経営状況

	減少傾向		やや減少傾向		横ばい		やや増加傾向		増加傾向		スコア	合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		件数	割合
(ア)売上高	56	15.3%	83	22.6%	125	34.1%	79	21.5%	24	6.5%	2.81	367	100.0%
(イ)粗利益	49	13.7%	73	20.4%	143	40.1%	73	20.4%	19	5.3%	2.83	357	100.0%
(ウ)経費	17	4.8%	51	14.3%	163	45.7%	105	29.4%	21	5.9%	3.17	357	100.0%
(エ)営業利益	50	14.0%	83	23.2%	137	38.3%	72	20.1%	16	4.5%	2.78	358	100.0%
(オ)①従業員数合計	30	8.5%	38	10.8%	214	61.0%	55	15.7%	14	4.0%	2.96	351	100.0%
(オ)②正社員	29	8.7%	35	10.5%	209	62.6%	52	15.6%	9	2.7%	2.93	334	100.0%
(オ)③パート・アルバイト	36	13.3%	29	10.7%	171	63.3%	28	10.4%	6	2.2%	2.77	270	100.0%
(カ)設備投資額	60	18.5%	30	9.2%	173	53.2%	48	14.8%	14	4.3%	2.77	325	100.0%

図 3-33 直近 3 年間の経営状況



問 6. 貴社では、事業経営上どのような課題を抱えていますか。次のうち、最も当てはまるもの1つに◎印、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-44 及び図 3-34 は、回答企業における事業経営上の課題を表している。「最も当てはまる」ものとして、「1.売上の停滞・減少(92件、24.6%)」が最も多く、次いで「10.人手不足、人材の確保難(59件、15.8%)」、「4.他社との競争の激化(23件、6.1%)」であった。「最も当てはまる」と「当てはまる」を合計した結果も同様であった。

表 3-44 事業経営上の課題

(有効回答数:374)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1.売上の停滞・減少	92	24.6%	190	50.8%
2.販売先の減少	13	3.5%	82	21.9%
3.商圏人口の減少	3	0.8%	16	4.3%
4.他社との競争の激化	23	6.1%	125	33.4%
5.仕入れ価格の上昇	9	2.4%	77	20.6%
6.人件費の増加	12	3.2%	113	30.2%
7.人件費以外の経費増加	3	0.8%	53	14.2%
8.店舗・工場・事務所の狭小化・老朽化	5	1.3%	59	15.8%
9.設備・機械の老朽化	8	2.1%	72	19.3%
10.人手不足、人材の確保難	59	15.8%	160	42.8%
11.従業員の高齢化	19	5.1%	119	31.8%
12.製品・サービス・技術の陳腐化	3	0.8%	11	2.9%
13.業務のIT化・合理化の遅れ	2	0.5%	19	5.1%
14.資金繰りの悪化	2	0.5%	43	11.5%
15.為替レートの変動	1	0.3%	14	3.7%
16.その他	11	2.9%	13	3.5%
合計	265	70.9%	1,166	311.8%

図 3-34 事業経営上の課題

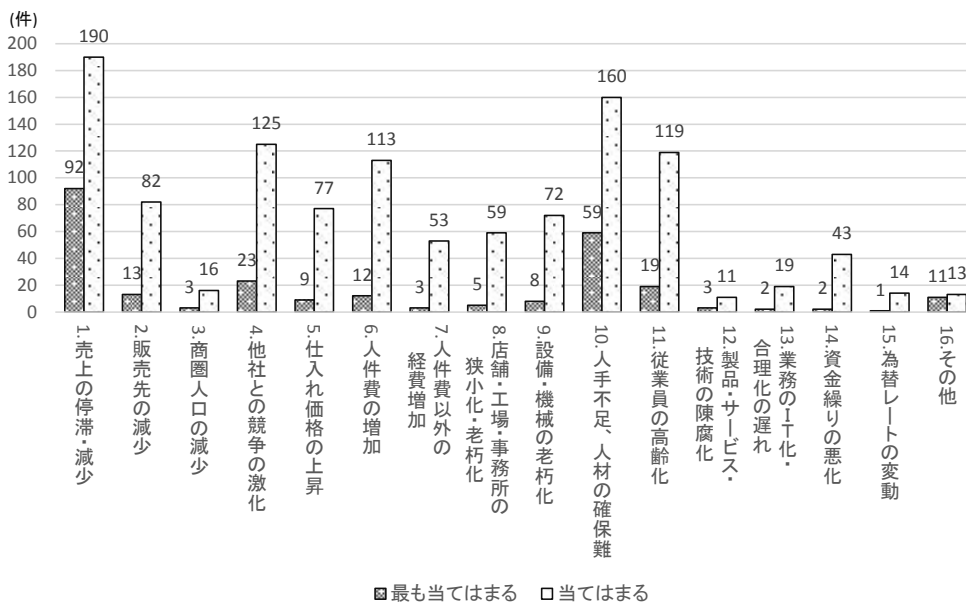


表 3-45 及び図 3-35 は、回答企業における事業経営上の課題を業種別に表したものである。以下では、それぞれの業種において他の業種と比較したときに特徴的であった項目について述べる。

「建設業」においては、「10.人手不足、人材の確保難(67 件、54.0%)」を課題として挙げる割合が高かった。

「製造業」においては、「1.売上の停滞・減少(22 件、57.9%)」、「8.店舗・工場・事務所の狭小化・老朽化(10 件、26.3%)」、「9.設備・機械の老朽化(16 件、42.1%)」を課題として挙げる割合が高かった。

「情報通信業、運輸業、郵便業」においては、「1.売上の停滞・減少(7 件、77.8%)」、「10.人手不足、人材の確保難(7 件、77.8%)」、「11.従業員の高齢化(4 件、44.4%)」を課題として挙げる割合が高かった。

「卸売業、小売業」においては、「1.売上の停滞・減少(43 件、67.2%)」、「2.販売先の減少(32 件、50.0%)」、「4.他社との競争の激化(31 件、48.4%)」、「5.仕入れ価格の上昇(19 件、29.7%)」を課題として挙げる割合が高かった。

「金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業」においては、「1.売上の停滞・減少(11 件、57.9%)」、「4.他社との競争の激化(10 件、52.6%)」、「11.従業員の高齢化(5 件、26.3%)」を課題として挙げる割合が高かった。

「学術研究、専門・技術サービス業」においては、「9.設備・機械の老朽化(5 件、33.3%)」、「11.従業員の高齢化(9 件、60.0%)」を課題として挙げる割合が高かった。

「宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業」においては、「6.人件費の増加(19 件、47.5%)」、「7.人件費以外の経費増加(9 件、22.5%)」、「10.人手不足、人材の確保難(20 件、50.0%)」を課題として挙げる割合が高かった。

「教育、学習支援業」においては、「3.商圏人口の減少(2 件、20.0%)」、「6.人件費の増加(5 件、50.0%)」、「7.人件費以外の経費増加(4 件、40.0%)」、「9.設備・機械の老朽化(3 件、30.0%)」、「13.業務の IT 化・合理化の遅れ(2 件、20.0%)」を課題として挙げる割合が高かった。

「医療、福祉」においては、「6.人件費の増加(22 件、61.1%)」、「9.設備・機械の老朽化(10 件、27.8%)」、「10.人手不足、人材の確保難(21 件、58.3%)」を課題として挙げる割合が高かった。

表 3-45 事業経営上の課題(業種別)

	1 売上の停滞・減少		2 販売先の減少		3 商圏人口の減少		4 他社との競争の激化		5 仕入れ価格の上昇		6 人件費の増加		7 人件費以外の経費増加		8 店舗・工場・事務所の狭小化・老朽化		9 設備・機械の老朽化	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
建設業	55	44.4%	22	17.7%	0	0.0%	39	31.5%	29	23.4%	33	26.6%	15	12.1%	15	12.1%	12	9.7%
製造業	22	57.9%	8	21.1%	1	2.6%	16	42.1%	8	21.1%	13	34.2%	5	13.2%	10	26.3%	16	42.1%
情報通信業、運輸業、郵便業	7	77.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%
卸売業、小売業	43	67.2%	32	50.0%	6	9.4%	31	48.4%	19	29.7%	12	18.8%	8	12.5%	14	21.9%	11	17.2%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	11	57.9%	3	15.8%	2	10.5%	10	52.6%	4	21.1%	0	0.0%	2	10.5%	1	5.3%	4	21.1%
学術研究、専門・技術サービス業	7	46.7%	3	20.0%	0	0.0%	2	13.3%	2	13.3%	2	13.3%	1	6.7%	3	20.0%	5	33.3%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	22	55.0%	7	17.5%	3	7.5%	12	30.0%	9	22.5%	19	47.5%	9	22.5%	6	15.0%	9	22.5%
教育、学習支援業	5	50.0%	0	0.0%	2	20.0%	2	20.0%	1	10.0%	5	50.0%	4	40.0%	1	10.0%	3	30.0%
医療、福祉	11	30.6%	1	2.8%	1	2.8%	4	11.1%	2	5.6%	22	61.1%	4	11.1%	7	19.4%	10	27.8%

	10 人手不足・人材の確保難		11 従業員の高齢化		12 製品・サービス・技術の陳腐化		13 業務のIT化・合理化の遅れ		14 資金繰りの悪化		15 為替レートの変動		16 その他		有効回答数	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
建設業	67	54.0%	45	36.3%	2	1.6%	5	4.0%	12	9.7%	0	0.0%	0	0.0%	124	100.0%
製造業	12	31.6%	10	26.3%	2	5.3%	2	5.3%	3	7.9%	4	10.5%	3	7.9%	38	100.0%
情報通信業、運輸業、郵便業	7	77.8%	4	44.4%	1	11.1%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
卸売業、小売業	14	21.9%	11	17.2%	1	1.6%	5	7.8%	10	15.6%	7	10.9%	2	3.1%	64	100.0%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	2	10.5%	5	26.3%	0	0.0%	3	15.8%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	19	100.0%
学術研究、専門・技術サービス業	6	40.0%	9	60.0%	1	6.7%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	15	100.0%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	20	50.0%	13	32.5%	3	7.5%	0	0.0%	8	20.0%	2	5.0%	4	10.0%	40	100.0%
教育、学習支援業	4	40.0%	2	20.0%	0	0.0%	2	20.0%	1	10.0%	0	0.0%	1	10.0%	10	100.0%
医療、福祉	21	58.3%	12	33.3%	0	0.0%	1	2.8%	4	11.1%	0	0.0%	3	8.3%	36	100.0%

図 3-35 事業経営上の課題(業種別)

	1 売上の停滞・減少	2 販売先の減少	3 商圏人口の減少	4 他社との競争の激化	5 仕入れ価格の上昇	6 人件費の増加	7 人件費以外の経費増加	8 店舗・工場・事務所の狭小化・老朽化	9 設備・機械の老朽化	10 人手不足・人材の確保難	11 従業員の高齢化	12 製品・サービス・技術の陳腐化	13 業務のIT化・合理化の遅れ	14 資金繰りの悪化	15 為替レートの変動	16 その他
建設業	44.4%	17.7%	0.0%	31.5%	23.4%	26.6%	12.1%	12.1%	9.7%	54.0%	36.3%	1.6%	4.0%	9.7%	0.0%	0.0%
製造業	57.9%	21.1%	2.6%	42.1%	21.1%	34.2%	13.2%	26.3%	42.1%	31.6%	26.3%	5.3%	5.3%	7.9%	10.5%	7.9%
情報通信業、運輸業、郵便業	77.8%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	77.8%	44.4%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%
卸売業、小売業	67.2%	50.0%	9.4%	48.4%	29.7%	18.8%	12.5%	21.9%	17.2%	21.9%	17.2%	1.6%	7.8%	15.6%	10.9%	3.1%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	57.9%	15.8%	10.5%	52.6%	21.1%	0.0%	10.5%	5.3%	21.1%	10.5%	26.3%	0.0%	15.8%	10.5%	0.0%	0.0%
学術研究、専門・技術サービス業	46.7%	20.0%	0.0%	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%	20.0%	33.3%	40.0%	60.0%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	55.0%	17.5%	7.5%	30.0%	22.5%	47.5%	22.5%	15.0%	22.5%	50.0%	32.5%	7.5%	0.0%	20.0%	5.0%	10.0%
教育、学習支援業	50.0%	0.0%	20.0%	20.0%	10.0%	50.0%	40.0%	10.0%	30.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%
医療、福祉	30.6%	2.8%	2.8%	11.1%	5.6%	61.1%	11.1%	19.4%	27.8%	58.3%	33.3%	0.0%	2.8%	11.1%	0.0%	8.3%

表 3-46 及び図 3-36 は、事業所の規模別に事業経営上の課題を表している。「1.売上の停滞・減少」と回答した割合が高かった事業所は、従業員数 50 人以下であった。「6.人件費の増加」と回答した割合は、事業所規模が大きくなるにつれ、増加がみられた。また、「10.人手不足、人材の確保難」と回答した企業も、規模が大きい事業所ほど割合が高かった。

表 3-46 事業経営上の課題(規模別)

	1.売上の停滞・減少		2.販売先の減少		3.商圏人口の減少		4.他社との競争の激化		5.仕入れ価格の上昇		6.人件費の増加		7.人件費以外の経費増加		8.店舗・工場・事務所の狭小化・老朽化		9.設備・機械の老朽化	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
0人	4	44.4%	0	0.0%	1	11.1%	3	33.3%	3	33.3%	1	11.1%	0	0.0%	1	11.1%	2	22.2%
1～5人	90	57.7%	51	32.7%	10	6.4%	51	32.7%	40	25.6%	25	16.0%	23	14.7%	25	16.0%	27	17.3%
6～10人	32	48.5%	9	13.6%	2	3.0%	19	28.8%	14	21.2%	23	34.8%	8	12.1%	9	13.6%	19	28.8%
11～20人	13	33.3%	5	12.8%	0	0.0%	8	20.5%	5	12.8%	18	46.2%	7	17.9%	6	15.4%	4	10.3%
21～50人	25	58.1%	6	14.0%	1	2.3%	20	46.5%	8	18.6%	23	53.5%	9	20.9%	9	20.9%	8	18.6%
51～100人	2	28.6%	1	14.3%	1	14.3%	3	42.9%	0	0.0%	4	57.1%	1	14.3%	0	0.0%	1	14.3%
101～300人	5	29.4%	0	0.0%	0	0.0%	4	23.5%	0	0.0%	9	52.9%	1	5.9%	4	23.5%	5	29.4%
301人以上	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	3	75.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%

	10.人手不足、人材の確保難		11.従業員の高齢化		12.製品・サービス・技術の陳腐化		13.業務のIT化・合理化の遅れ		14.資金繰りの悪化		15.為替レートの変動		16.その他		有効回答数	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
0人	2	22.2%	3	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%
1～5人	43	27.6%	47	30.1%	5	3.2%	11	7.1%	19	12.2%	4	2.6%	6	3.8%	156	100.0%
6～10人	32	48.5%	24	36.4%	0	0.0%	3	4.5%	7	10.6%	1	1.5%	1	1.5%	66	100.0%
11～20人	26	66.7%	13	33.3%	2	5.1%	0	0.0%	7	17.9%	1	2.6%	1	2.6%	39	100.0%
21～50人	23	53.5%	15	34.9%	3	7.0%	3	7.0%	5	11.6%	4	9.3%	1	2.3%	43	100.0%
51～100人	4	57.1%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	7	100.0%
101～300人	13	76.5%	5	29.4%	1	5.9%	1	5.9%	1	5.9%	1	5.9%	2	11.8%	17	100.0%
301人以上	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	4	100.0%

図 3-36 事業経営上の課題(規模別)

	1.売上の停滞・減少	2.販売先の減少	3.商圏人口の減少	4.他社との競争の激化	5.仕入れ価格の上昇	6.人件費の増加	7.人件費以外の経費増加	8.店舗・工場・事務所の狭小化・老朽化	9.設備・機械の老朽化	10.人手不足、人材の確保難	11.従業員の高齢化	12.製品・サービス・技術の陳腐化	13.業務のIT化・合理化の遅れ	14.資金繰りの悪化	15.為替レートの変動	16.その他
0人	44.4%	0.0%	11.1%	33.3%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1～5人	57.7%	32.7%	6.4%	32.7%	25.6%	16.0%	14.7%	16.0%	17.3%	27.6%	30.1%	3.2%	7.1%	12.2%	2.6%	3.8%
6～10人	48.5%	13.6%	3.0%	28.8%	21.2%	34.8%	12.1%	13.6%	28.8%	48.5%	36.4%	0.0%	4.5%	10.6%	1.5%	1.5%
11～20人	33.3%	12.8%	0.0%	20.5%	12.8%	46.2%	17.9%	15.4%	10.3%	66.7%	33.3%	5.1%	0.0%	17.9%	2.6%	2.6%
21～50人	58.1%	14.0%	2.3%	46.5%	18.6%	53.5%	20.9%	20.9%	18.6%	53.5%	34.9%	7.0%	7.0%	11.6%	9.3%	2.3%
51～100人	28.6%	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
101～300人	29.4%	0.0%	0.0%	23.5%	0.0%	52.9%	5.9%	23.5%	29.4%	76.5%	29.4%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	11.8%
301人以上	100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%

問 7. 貴社において現在重視している経営上の取組みについてお伺いします。次の(ア)～(タ)の項目について、それぞれ最も当てはまるもの1つに○印をつけてください。

表 3-47 及び図 3-37 は、回答企業における重視している経営上の取組みを表している。「非常に重視している」と回答した割合が最も高かったのは、「(ア)既存の顧客との関係強化(193件、54.2%)」であり、次いで「(サ)人材の採用・育成(79件、24.2%)」、「(イ)小平市における新規顧客の開拓(69件、19.8%)」であった。一方で、「まったく重視していない」と回答した割合が最も高かったのは、「(オ)海外の新規顧客の開拓(230件、70.6%)」であり、次いで「(ソ)M&Aによる企業買収(195件、60.7%)」であった。

表 3-47 重視している経営上の取組み

	非常に重視している		やや重視している		どちらとも言えない		あまり重視していない		まったく重視していない		スコア	合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		件数	割合
(ア)既存の顧客との関係強化	193	54.2%	113	31.7%	45	12.6%	4	1.1%	1	0.3%	4.38	356	100.0%
(イ)小平市における新規顧客の開拓	69	19.8%	88	25.2%	94	26.9%	61	17.5%	37	10.6%	3.26	349	100.0%
(ウ)隣接自治体における新規顧客開拓	40	11.7%	93	27.2%	102	29.8%	65	19.0%	42	12.3%	3.07	342	100.0%
(エ)隣接自治体以外の国内における新規顧客開拓	59	18.1%	69	21.2%	72	22.1%	58	17.8%	68	20.9%	2.98	326	100.0%
(オ)海外の新規顧客の開拓	10	3.1%	16	4.9%	37	11.3%	33	10.1%	230	70.6%	1.60	326	100.0%
(カ)仕入価格の引き下げ	39	11.7%	106	31.8%	112	33.6%	31	9.3%	45	13.5%	3.19	333	100.0%
(キ)人件費の引き下げ	12	3.6%	42	12.4%	165	48.8%	69	20.4%	50	14.8%	2.70	338	100.0%
(ク)諸経費の引き下げ	46	13.8%	161	48.2%	100	29.9%	23	6.9%	4	1.2%	3.66	334	100.0%
(ケ)新製品・サービスの研究・開発	55	16.9%	92	28.2%	89	27.3%	50	15.3%	40	12.3%	3.22	326	100.0%
(コ)業務のIT化・合理化	26	8.0%	127	39.1%	96	29.5%	49	15.1%	27	8.3%	3.23	325	100.0%
(サ)人材の採用・育成	79	24.2%	106	32.5%	76	23.3%	41	12.6%	24	7.4%	3.54	326	100.0%
(シ)新店舗・新工場・研究開発拠点	16	4.9%	37	11.4%	91	28.1%	67	20.7%	113	34.9%	2.31	324	100.0%
(ス)既存設備、建物・工場の更新	16	4.9%	57	17.6%	115	35.5%	66	20.4%	70	21.6%	2.64	324	100.0%
(セ)産学連携による研究開発の実施	4	1.2%	20	6.2%	85	26.5%	65	20.2%	147	45.8%	1.97	321	100.0%
(ソ)M&Aによる企業買収	7	2.2%	13	4.0%	54	16.8%	52	16.2%	195	60.7%	1.71	321	100.0%
(タ)新規事業の開発	34	10.5%	59	18.2%	86	26.5%	42	12.9%	104	32.0%	2.62	325	100.0%

図 3-37 重視している経営上の取組み

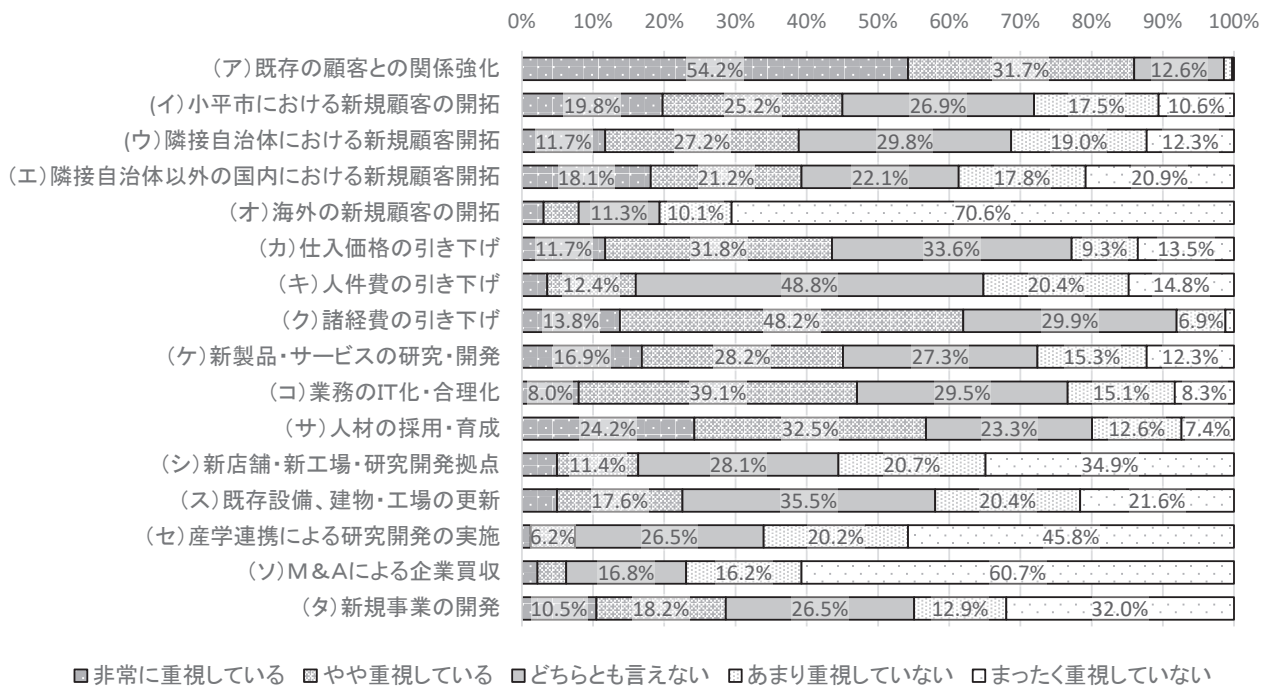


図 3-38 は、重視している経営上の取り組みについてスコア化したものを業種別に表している。特徴的だったものをいくつか挙げると、「(イ)小平市における新規顧客の開拓」では、「宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業(3.70点)」、「教育、学習支援業(4.22点)」、「医療、福祉(3.91点)」などの業種でスコアが高かった。「(ケ)新製品・サービスの研究・開発」では、「製造業(3.56点)」、「卸売業、小売業(3.54点)」、「学術研究、専門・技術サービス業(3.75点)」、「教育、学習支援業(4.50点)」などの業種でスコアが高かった。「(サ)人材の採用・育成」では、「情報通信業、運輸業、郵便業(4.00点)」、「教育、学習支援業(4.44点)」、「医療、福祉(4.24点)」などの業種でスコアが高かった。

図 3-38 経営上の取組み(業種別)

	(ア)既存の顧客との関係強化	(イ)小平市における新規顧客の開拓	(ウ)隣接自治体における新規顧客開拓	(エ)隣接自治体以外の国内における新規顧客開拓	(オ)海外の新規顧客の開拓	(カ)仕入価格の引き下げ	(キ)人件費の引き下げ	(ク)諸経費の引き下げ	(ケ)新製品・サービスの研究・開発	(コ)業務のIT化・合理化	(サ)人材の採用・育成	(シ)新店舗・新工場・研究開発拠点	(ス)既存設備、建物・工場の更新	(セ)産学連携による研究開発の実施	(ソ)M&Aによる企業買収	(タ)新規事業の開発
建設業	4.40	3.16	3.05	2.92	1.31	3.37	2.69	3.62	2.86	2.97	3.46	2.21	2.55	1.73	1.54	2.27
製造業	4.29	2.46	2.54	3.32	2.06	3.06	2.88	3.71	3.56	3.41	3.45	2.28	3.24	2.18	1.67	2.69
情報通信業、運輸業、郵便業	4.44	2.78	2.78	3.44	1.67	2.89	2.56	3.33	3.44	3.22	4.00	2.44	2.22	2.11	2.56	3.22
卸売業、小売業	4.39	3.20	3.02	3.07	1.60	3.58	2.76	3.77	3.54	3.16	3.05	2.14	2.26	1.79	1.84	2.68
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	3.89	3.12	2.89	2.76	1.44	2.76	2.44	3.65	2.56	3.18	2.50	2.13	2.69	1.73	1.81	2.47
学術研究、専門・技術サービス業	4.54	3.50	3.15	3.36	2.00	3.09	2.73	3.50	3.75	3.36	3.75	2.55	2.91	2.70	2.00	3.00
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	4.53	3.70	3.57	3.11	1.85	2.81	2.59	3.71	3.19	3.19	3.84	2.26	2.46	1.84	1.84	2.89
教育、学習支援業	4.11	4.22	4.22	3.56	2.56	3.00	3.40	3.90	4.50	4.50	4.44	2.75	3.22	3.44	1.00	3.00
医療、福祉	4.30	3.91	3.19	2.44	1.29	2.67	2.34	3.66	3.32	3.63	4.24	2.94	3.10	2.33	1.67	3.00

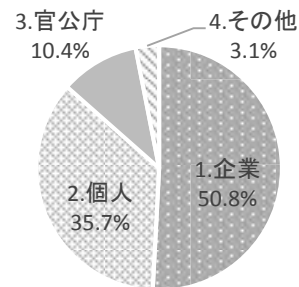
問 8. 貴社における主な販売先は次のうちどれですか。次のうち最も売上額の多いもの 1 つに○印をつけてください。

表 3-48 及び図 3-39 は、回答企業における主な販売先を表している。回答企業の主な販売先として最も多かった項目は「1.企業(181 件、50.8%)」であり、過半数を占めている。次いで「2.個人(127 件、35.7%)」、「3.官公庁(37 件、10.4%)」であった。

表 3-48 主な販売先

	件数	割合
1.企業	181	50.8%
2.個人	127	35.7%
3.官公庁	37	10.4%
4.その他	11	3.1%
合計	356	100.0%

図 3-39 主な販売先



問 9. 貴社ではインターネット上での製品・サービスの販売を行っていますか。次のうち当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。また行っている場合、インターネット上での販売額が売上全体に占める割合はおおよそ何%程度ですか。以下にご記入ください。

表 3-49 及び図 3-40 は、回答企業におけるインターネット上での製品・サービス販売の有無を表している。最も多かった項目は「3.行っておらず、今後とも取り組む予定はない(251 件、69.9%)」であり、7 割近くの企業が答えている。次いで「2.行っていないが、今後取り組む予定である(58 件、16.2%)」、「1.行っている(50 件、13.9%)」であった。

表 3-49 インターネット上での製品・サービス販売の有無

	件数	割合
1.行っている	50	13.9%
2.行っていないが、今後取り組む予定である	58	16.2%
3.行っておらず、今後とも取り組む予定はない	251	69.9%
合計	359	100.0%

図 3-40 インターネット上での製品・サービス販売の有無

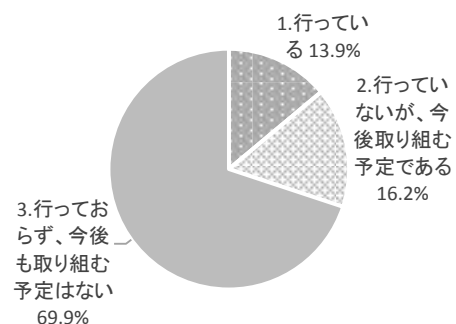
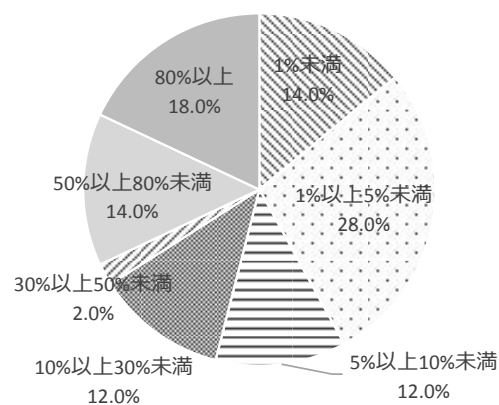


表 3-50 及び図 3-41 は、インターネット上での販売額が売上全体に占める割合を表している。最も多かった回答が、「1%以上 5%未満(14 件、28.0%)」、次いで「80%以上(9 件、18.0%)」であった。

表 3-50 売上全体に占めるインターネット上での販売額の割合

	件数	割合
1%未満	7	14.0%
1%以上5%未満	14	28.0%
5%以上10%未満	6	12.0%
10%以上30%未満	6	12.0%
30%以上50%未満	1	2.0%
50%以上80%未満	7	14.0%
80%以上	9	18.0%
合計	50	100.0%

図 3-41 売上全体に占めるインターネット上での販売額の割合



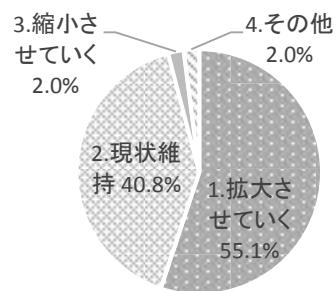
問 10. 前問で「行っている」と答えた方にお聞きします。今後インターネット上での製品・サービスの販売についてどのような方針をお持ちですか。次のうち当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。

表 3-51 及び図 3-42 は、回答企業におけるインターネット上での製品・サービス販売についての今後の方針を表している。最も多かった回答は「1.拡大させていく(27件、55.1%)」であり、次いで「2.現状維持(20件、40.8%)」であった。

表 3-51 インターネット上での製品・サービス販売についての今後の方針

	件数	割合
1.拡大させていく	27	55.1%
2.現状維持	20	40.8%
3.縮小させていく	1	2.0%
4.その他	1	2.0%
合計	49	100.0%

図 3-42 インターネット上での製品・サービス販売についての今後の方針



問 11. 貴社では製品やサービス等の海外への輸出(販売)を行っていますか。次のうち当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。また行っている場合、輸出額が売上全体に占める割合はおおよそ何%程度ですか。以下にご記入ください。

表 3-52 及び図 3-43 は、回答企業における製品・サービス等の海外への輸出・販売の有無を表している。最も多かった回答は「3.行っておらず、今後も取り組む予定はない(318件、91.1%)」であり、9割以上の企業が取り組む予定はないと答えている。次いで「2.行っていないが、今後取り組む予定である(16件、4.6%)」、「1.行っている(15件、4.3%)」であった。

表 3-52 製品・サービス等の海外への輸出・販売の有無

	件数	割合
1.行っている	15	4.3%
2.行っていないが、今後取り組む予定である	16	4.6%
3.行っておらず、今後も取り組む予定はない	318	91.1%
合計	349	100.0%

図 3-43 製品・サービス等の海外への輸出・販売の有無

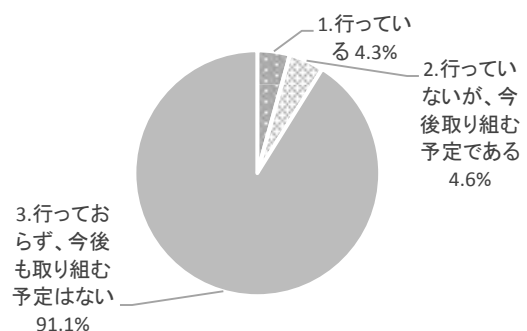
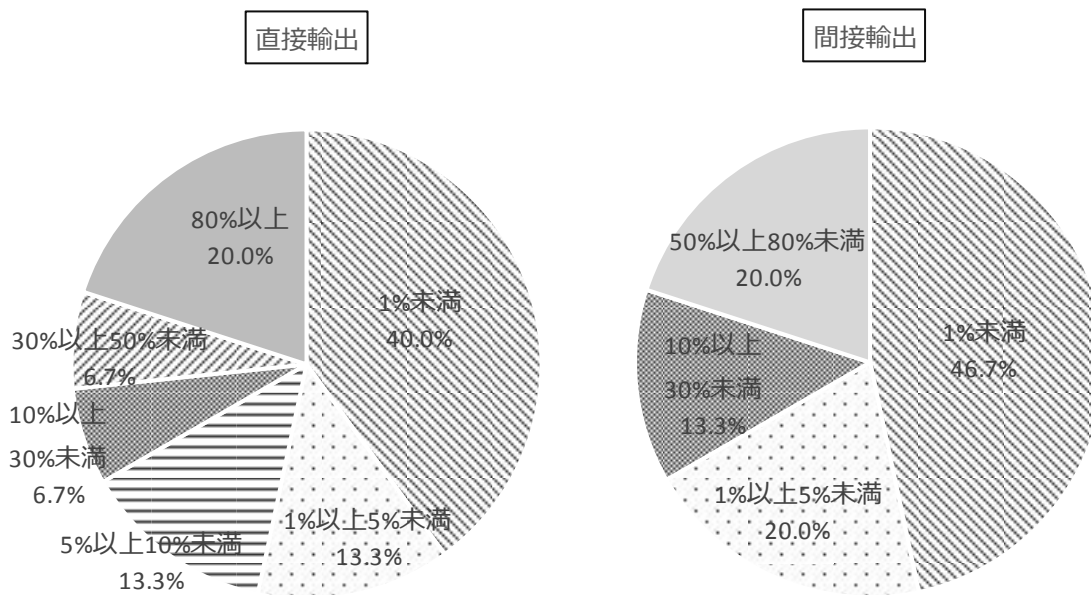


表 3-53 と図 3-44 は輸出額が売上全体に占める割合を表している。直接輸出で最も多かった回答は「1%未満(6件、40.0%)」であり、次いで「80%以上(3件、20.0%)」となった。また、間接輸出で最も多かった回答も「1%未満(7件、46.7%)」であったが、二番目に多かった回答は「1%以上5%未満(3件、20.0%)」と「50%以上80%未満(3件、20.0%)」であった。

表 3-53 売上全体に占める輸出額の割合（輸出方法別）

	直接輸出		間接輸出	
	件数	割合	件数	割合
1%未満	6	40.0%	7	46.7%
1%以上5%未満	2	13.3%	3	20.0%
5%以上10%未満	2	13.3%	0	0.0%
10%以上30%未満	1	6.7%	2	13.3%
30%以上50%未満	1	6.7%	0	0.0%
50%以上80%未満	0	0.0%	3	20.0%
80%以上	3	20.0%	0	0.0%
合計	15	100.0%	15	100.0%

図 3-44 売上全体に占める輸出額の割合（輸出方法別）



問 12. 貴社における直近 3 年間の人材採用人数(新卒、中途、パート・非正規)について、以下の表にご記入ください。

表 3-54 は、回答企業における直近 3 年間の人材採用人数を表している。ほとんどの企業が直近 3 年間で採用を行っていない。また、「新卒」、「中途」ともに、50 人を超えて採用していると回答した企業はなかった。

表 3-54 直近 3 年間の採用人数

	新卒			中途			パート		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
0人	303	303	296	249	233	211	250	235	227
1～5人	20	19	26	71	83	104	63	76	87
6～10人	6	6	5	7	7	11	5	10	4
11～20人	0	0	1	2	5	3	6	1	3
21～30人	0	1	1	1	2	2	2	2	3
31～50人	2	2	2	1	1	0	3	5	4
50人超	0	0	0	0	0	0	2	2	3
合計	331	331	331	331	331	331	331	331	331

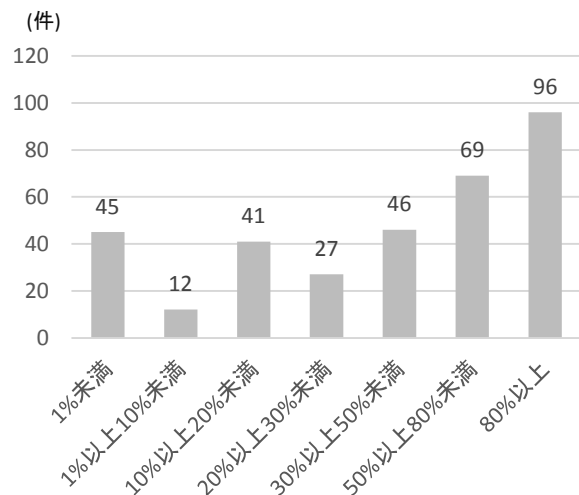
問 13. 貴社の従業員(パート等を含む)全体のうち、小平市内に居住している人の割合はおおよそ何%程度ですか。以下にご記入ください。

表 3-55 及び図 3-45 は、回答企業における従業員の小平市在住割合を表している。最も多かったのは「80%以上(96 件、28.6%)」であり、次いで「50%以上 80%未満(69 件、20.5%)」、「30%以上 50%未満(46 件、13.7%)」であった。全体の平均では 47.8%と、ほぼ半数の従業員が市内から通っており、比較的職住近接が実現されている。

表 3-55 従業員の小平市在住割合

	件数	割合
1%未満	45	13.4%
1%以上10%未満	12	3.6%
10%以上20%未満	41	12.2%
20%以上30%未満	27	8.0%
30%以上50%未満	46	13.7%
50%以上80%未満	69	20.5%
80%以上	96	28.6%
合計	336	100.0%

図 3-45 従業員の小平市在住割合



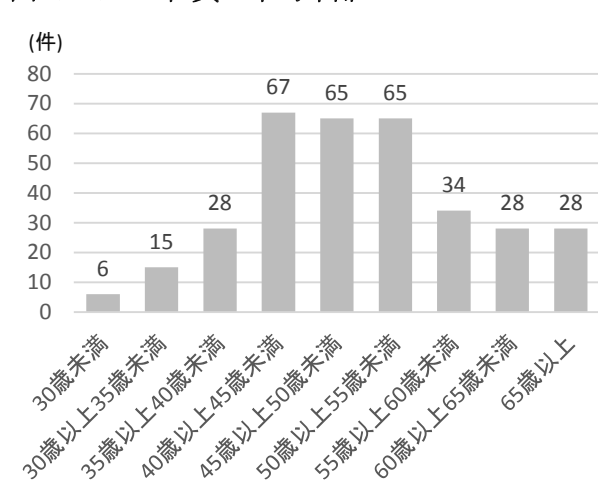
問 14. 貴社の従業員(正社員のみ)の平均年齢はおおよそ何歳ですか。以下にご記入ください。

表 3-56 及び図 3-46 は、回答企業における正社員の平均年齢を表している。最も多かった回答は「40歳以上45歳未満(67件、19.9%)」であり、次いで「45歳以上50歳未満(65件、19.3%)」、「50歳以上55歳未満(65件、19.3%)」であった。全体の平均では48.6歳であった。

表 3-56 正社員の平均年齢

	件数	割合
30歳未満	6	1.8%
30歳以上35歳未満	15	4.5%
35歳以上40歳未満	28	8.3%
40歳以上45歳未満	67	19.9%
45歳以上50歳未満	65	19.3%
50歳以上55歳未満	65	19.3%
55歳以上60歳未満	34	10.1%
60歳以上65歳未満	28	8.3%
65歳以上	28	8.3%
合計	336	100.0%

図 3-46 正社員の平均年齢



問 15. 貴社では求人を行う際にどのような活動を実施していますか。次のうち最も当てはまるもの1つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-57 及び図 3-47 は、回答企業において実施している求人活動を表している。「最も当てはまる」ものとして「8.従業員の人脈を通じた募集(76件、22.6%)」が最も多く、次いで「2.ハローワークでの募集(70件、20.8%)」、「3.民間求人広告媒体への掲載(56件、16.7%)」であった。

「当てはまる」においても同様の結果であった。一方、「6.小平市及び隣接自治体の学校等の就職課への求人」を行っている企業はあまりみられなかった。

表 3-57 実施している求人活動

(有効回答数:336)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1.自社HPでの募集	11	3.3%	60	17.9%
2.ハローワークでの募集	70	20.8%	147	43.8%
3.民間求人広告媒体への掲載	56	16.7%	123	36.6%
4.就職説明会の開催・参加	3	0.9%	21	6.3%
5.人材紹介会社又は人材採用サイトの利用	11	3.3%	50	14.9%
6.小平市及び隣接自治体の学校等の就職課への求人	0	0.0%	12	3.6%
7.小平市及び隣接自治体以外の地域の学校等の就職課への求人	5	1.5%	26	7.7%
8.従業員の人脈を通じた募集	76	22.6%	150	44.6%
9.その他	47	14.0%	58	17.3%
合計	279	83.0%	647	192.6%

図 3-47 実施している求人活動

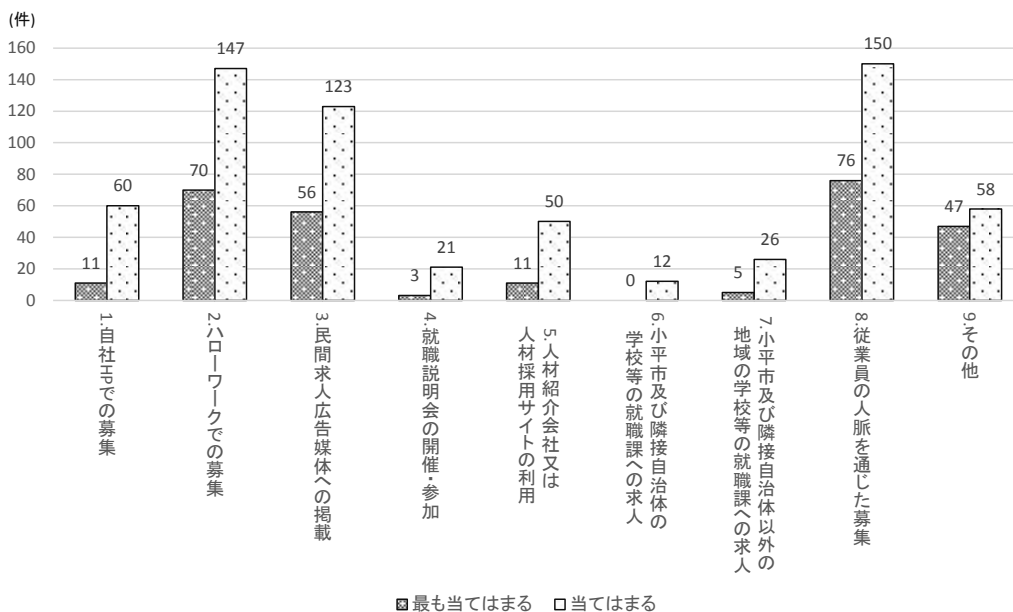


表 3-58 及び図 3-48 は、回答企業における実施している求人活動について業種別に表している。全体で回答割合が高かった上位 3 項目について業種別にみると、「8.従業員の人脈を通じた募集」では、「医療、福祉(19 件、52.8%)」、「建設業(59 件、50.9%)」、「学術研究、専門・技術サービス業(7 件、50.0%)」などの業種で回答割合が高かった。「2.ハローワークでの募集」では、「情報通信業、運輸業、郵便業(7 件、77.8%)」、「製造業(20 件、60.6%)」、「教育、学習支援業(6 件、60.0%)」などの業種で回答割合が高かった。「3.民間求人広告媒体への掲載」では、「医療、福祉(23 件、63.9%)」、「情報通信業、運輸業、郵便業(5 件、55.6%)」、「宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業(20 件、54.1%)」などの業種で回答割合が高かった。

表 3-58 実施している求人活動(業種別)

	1.自社HPでの募集		2.ハローワークでの募集		3.民間求人広告媒体への掲載		4.就職説明会の開催・参加		5.人材紹介会社又は人材採用サイトの利用		6.小平市及び隣接自治体の学校等の就職課への求人		7.小平市及び隣接自治体以外の地域の学校等の就職課への求人		8.従業員の人脈を通じた募集		9.その他		有効回答数	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
建設業	11	9.5%	42	36.2%	30	25.9%	2	1.7%	9	7.8%	0	0.0%	4	3.4%	59	50.9%	18	15.5%	116	100.0%
製造業	4	12.1%	20	60.6%	12	36.4%	3	9.1%	6	18.2%	3	9.1%	4	12.1%	12	36.4%	3	9.1%	33	100.0%
情報通信業、運輸業、郵便業	3	33.3%	7	77.8%	5	55.6%	1	11.1%	2	22.2%	0	0.0%	1	11.1%	3	33.3%	1	11.1%	9	100.0%
卸売業、小売業	6	11.5%	21	40.4%	16	30.8%	3	5.8%	4	7.7%	2	3.8%	5	9.6%	15	28.8%	16	30.8%	52	100.0%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	1	7.1%	3	21.4%	4	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	28.6%	5	35.7%	14	100.0%
学術研究、専門・技術サービス業	2	14.3%	6	42.9%	4	28.6%	1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	7	50.0%	3	21.4%	14	100.0%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	9	24.3%	15	40.5%	20	54.1%	2	5.4%	9	24.3%	0	0.0%	2	5.4%	17	45.9%	7	18.9%	37	100.0%
教育、学習支援業	7	70.0%	6	60.0%	3	30.0%	4	40.0%	3	30.0%	1	10.0%	3	30.0%	4	40.0%	2	20.0%	10	100.0%
医療、福祉	15	41.7%	21	58.3%	23	63.9%	3	8.3%	13	36.1%	6	16.7%	6	16.7%	19	52.8%	2	5.6%	36	100.0%

図 3-48 実施している求人活動(業種別)

	1.自社HPでの募集	2.ハローワークでの募集	3.民間求人広告媒体への掲載	4.就職説明会の開催・参加	5.人材紹介会社又は人材採用サイトの利用	6.小平市及び隣接自治体の学校等の就職課への求人	7.小平市及び隣接自治体以外の地域の学校等の就職課への求人	8.従業員の人脈を通じた募集	9.その他
建設業	9.5%	36.2%	25.9%	1.7%	7.8%	0.0%	3.4%	50.9%	15.5%
製造業	12.1%	60.6%	36.4%	9.1%	18.2%	9.1%	12.1%	36.4%	9.1%
情報通信業、運輸業、郵便業	33.3%	77.8%	55.6%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%
卸売業、小売業	11.5%	40.4%	30.8%	5.8%	7.7%	3.8%	9.6%	28.8%	30.8%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	7.1%	21.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	35.7%
学術研究、専門・技術サービス業	14.3%	42.9%	28.6%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	50.0%	21.4%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	24.3%	40.5%	54.1%	5.4%	24.3%	0.0%	5.4%	45.9%	18.9%
教育、学習支援業	70.0%	60.0%	30.0%	40.0%	30.0%	10.0%	30.0%	40.0%	20.0%
医療、福祉	41.7%	58.3%	63.9%	8.3%	36.1%	16.7%	16.7%	52.8%	5.6%

問 16. 貴社では事業承継を行う予定がありますか。次のうち最も当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。

表 3-59 及び図 3-49 は、回答企業における事業承継の予定を表している。最も多かったのは「2.事業承継予定であり、後継者候補はあるが、決まっていない(92 件、25.5%)」であり、次いで「1.事業承継予定であり、既に後継者が決まっている(88 件、24.4%)」であった。

表 3-59 事業承継の予定

	件数	割合
1.事業承継予定であり、既に後継者が決まっている	88	24.4%
2.事業承継予定であり、後継者候補はあるが、決まっていない	92	25.5%
3.事業承継したいが、後継者候補がない	43	11.9%
4.事業を売却又は廃業する予定である	27	7.5%
5.事業をどうするかは、関連会社の意向による	9	2.5%
6.事業承継について考えていない	86	23.8%
7.その他	16	4.4%
合計	361	100.0%

図 3-49 事業承継の予定

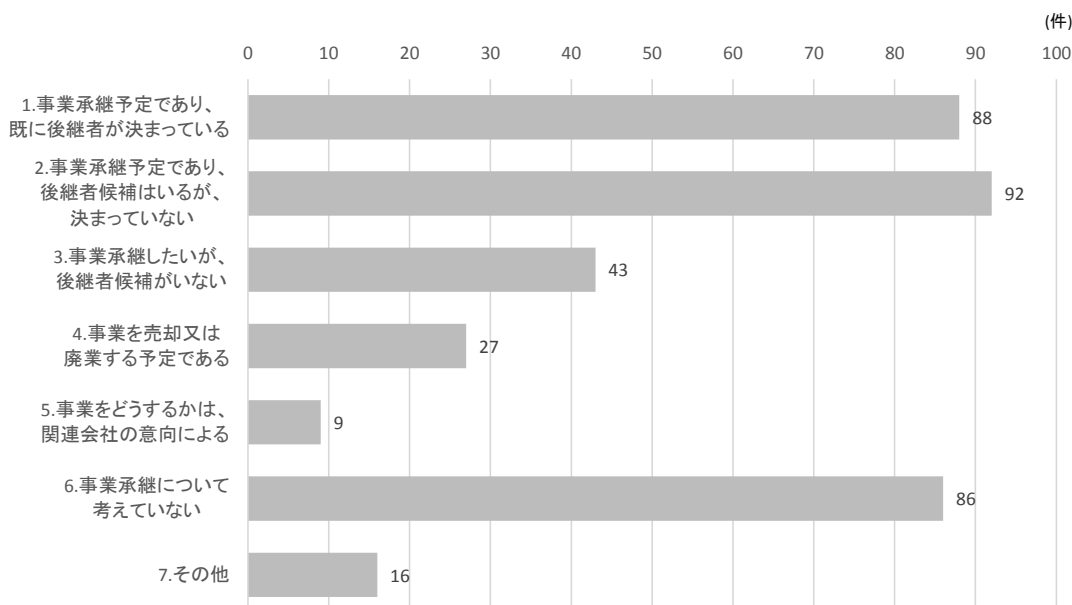
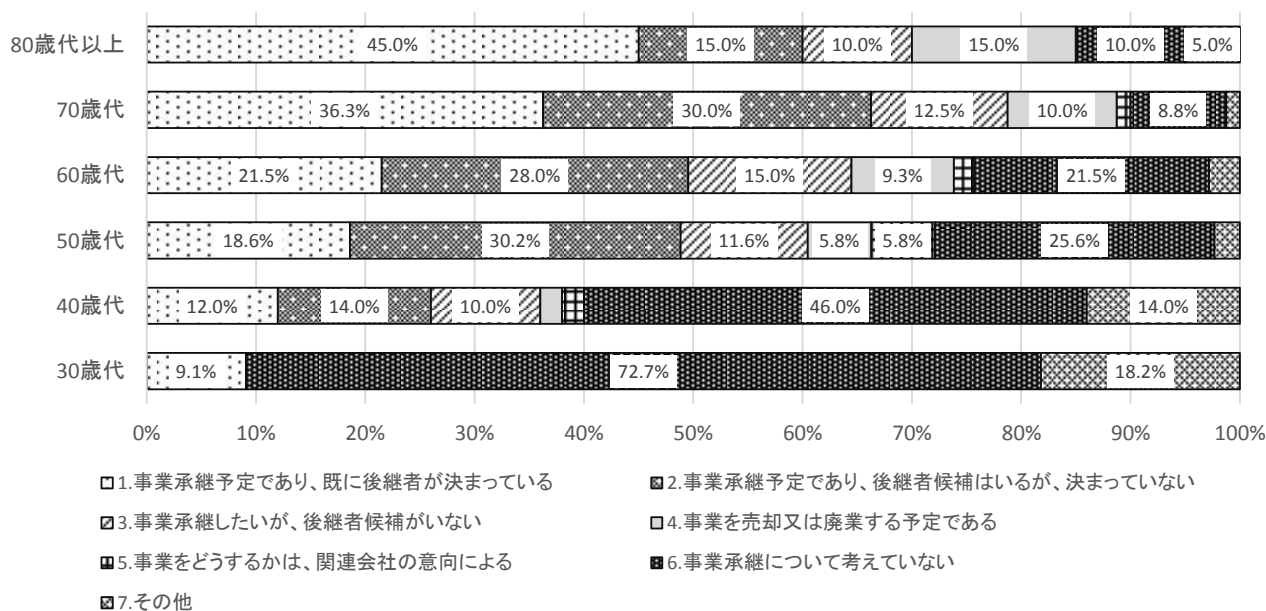


表 3-60 及び図 3-50 は、回答企業における事業承継の予定を代表者の年代別に表したものである。「1. 事業承継予定であり、既に後継者が決まっている」と回答した割合は、年代が上がっていくにつれ増加し、80 歳代以上では、約半数の企業において上記の回答が得られた。また、「6. 事業承継について考えていない」と回答した割合は、年代が下がるほど増加し、40 歳代では、約半数の企業において上記の回答が得られた。

表 3-60 事業承継の予定(年代別)

	30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳代以上		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1.事業承継予定であり、既に後継者が決まっている	1	9.1%	6	12.0%	16	18.6%	23	21.5%	29	36.3%	9	45.0%	84	23.7%
2.事業承継予定であり、後継者候補はあるが、決まっていない	0	0.0%	7	14.0%	26	30.2%	30	28.0%	24	30.0%	3	15.0%	90	25.4%
3.事業承継したいが、後継者候補がいない	0	0.0%	5	10.0%	10	11.6%	16	15.0%	10	12.5%	2	10.0%	43	12.1%
4.事業を売却又は廃業する予定である	0	0.0%	1	2.0%	5	5.8%	10	9.3%	8	10.0%	3	15.0%	27	7.6%
5.事業をどうするかは、関連会社の意向による	0	0.0%	1	2.0%	5	5.8%	2	1.9%	1	1.3%	0	0.0%	9	2.5%
6.事業承継について考えていない	8	72.7%	23	46.0%	22	25.6%	23	21.5%	7	8.8%	2	10.0%	85	24.0%
7.その他	2	18.2%	7	14.0%	2	2.3%	3	2.8%	1	1.3%	1	5.0%	16	4.5%
合計	11	100.0%	50	100.0%	86	100.0%	107	100.0%	80	100.0%	20	100.0%	354	100.0%

図 3-50 事業承継の予定(年代別)



問 17. 前問で「1. 事業承継予定であり、既に後継者が決まっている」、「2. 事業承継予定であり後継者候補はあるが、決まっていない」、「4. 事業を売却又は廃業する予定である」と答えた方にお聞きします。事業承継又は売却・廃業時期について、いつ頃をお考えですか。次のうち当てはまるもの1つに○印をつけてください。

表 3-61 及び図 3-51 は、回答企業における事業承継又は売却・廃業の時期を表している。「1.事業承継予定であり、既に後継者が決まっている」と回答した企業においては、「1.0～2年以内(27件、31.4%)」と回答した割合が最も高く、次いで「2.3～5年以内(23件、26.7%)」であることから、過半数が5年以内に事業承継予定であることが示された。

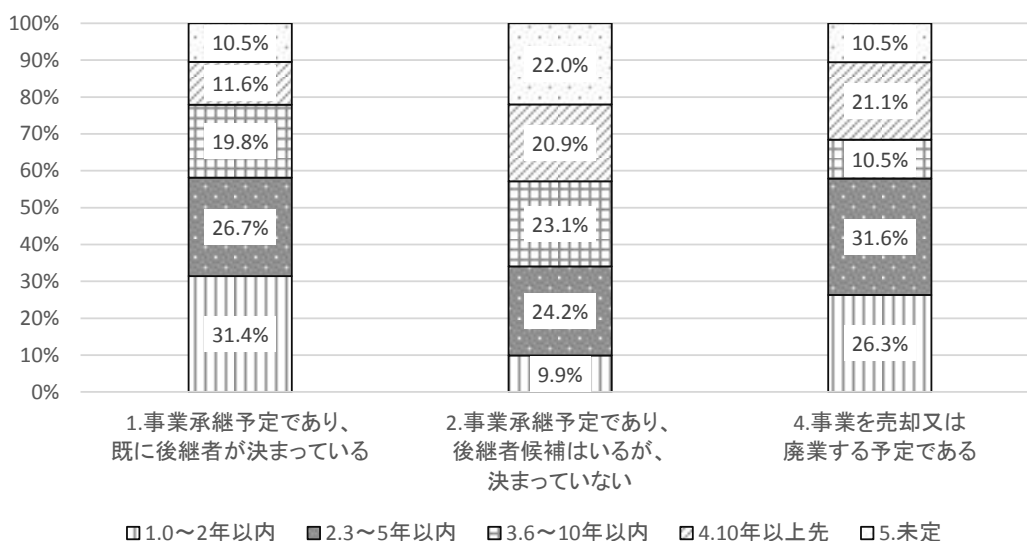
「2.事業承継予定であり、後継者候補はあるが、決まっていない」と回答した企業においては、「2.3～5年以内(22件、24.2%)」と回答した割合が最も高く、次いで「3.6～10年以内(21件、23.1%)」であった。

「4.事業を売却又は廃業する予定である」と回答した企業のうち、最も多かったのは「2.3～5年以内(6件、31.6%)」、次いで「1.0～2年以内(5件、26.3%)」であった。

表 3-61 事業承継又は売却・廃業の時期

	1.事業承継予定であり、既に後継者が決まっている		2.事業承継予定であり、後継者候補はあるが、決まっていない		4.事業を売却又は廃業する予定である	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1.0～2年以内	27	31.4%	9	9.9%	5	26.3%
2.3～5年以内	23	26.7%	22	24.2%	6	31.6%
3.6～10年以内	17	19.8%	21	23.1%	2	10.5%
4.10年以上先	10	11.6%	19	20.9%	4	21.1%
5.未定	9	10.5%	20	22.0%	2	10.5%
合計	86	100.0%	91	100.0%	19	100.0%

図 3-51 事業承継又は売却・廃業の時期



問 18. 貴社では事業承継においてどのような課題をお持ちですか。最も当てはまるもの 1 つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-62 及び図 3-52 は、回答企業における事業承継に関する課題を表している。「最も当てはまる」ものとして、「9.特になし(71 件、21.0%)」が最も多く、次いで「7.事業の将来性(61 件、18.0%)」、「5.後継者の育成(47 件、13.9%)」であった。

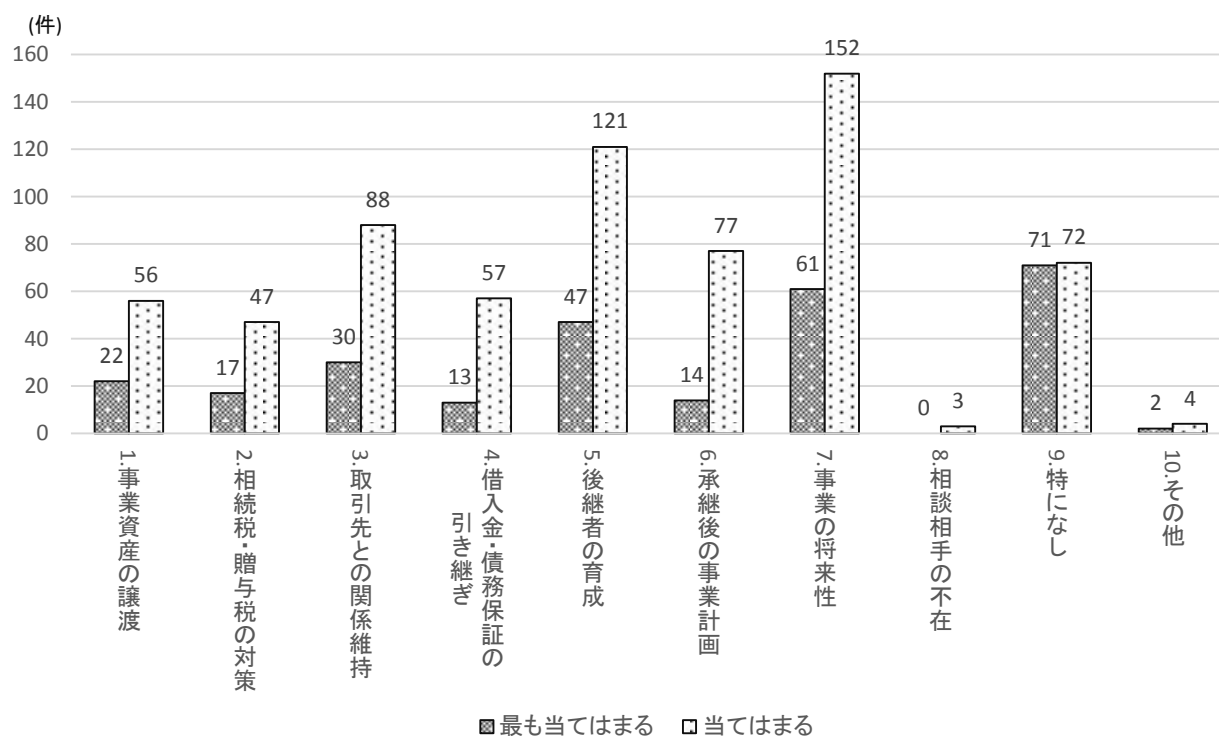
「当てはまる」ものとして、「7.事業の将来性(152 件、45.0%)」が最も多かった。

表 3-62 事業承継に関する課題

(有効回答数:338)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1.事業資産の譲渡	22	6.5%	56	16.6%
2.相続税・贈与税の対策	17	5.0%	47	13.9%
3.取引先との関係維持	30	8.9%	88	26.0%
4.借入金・債務保証の引き継ぎ	13	3.8%	57	16.9%
5.後継者の育成	47	13.9%	121	35.8%
6.承継後の事業計画	14	4.1%	77	22.8%
7.事業の将来性	61	18.0%	152	45.0%
8.相談相手の不在	0	0.0%	3	0.9%
9.特になし	71	21.0%	72	21.3%
10.その他	2	0.6%	4	1.2%
合計	277	82.0%	677	200.3%

図 3-52 事業承継に関する課題



問 19. 貴社が事業を行う上で、小平市にはどのような立地上の強みがあると思いますか。最も当てはまるもの1つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-63 及び図 3-53 は、回答企業における小平市の立地上の強みを表している。「最も当てはまる」ものとして、「19.その他」を除くと「3.近隣に主要な販売先が立地している(36 件、11.0%)」が最も多く、次いで「6.都心からの交通アクセスが良い(25 件、7.7%)」「8.道路交通の便が良い(25 件、7.7%)」であった。

「当てはまる」ものとして、「18.自然環境が良い(88 件、27.0%)」が最も多く、次いで「8.道路交通の便が良い(85 件、26.1%)」であった。

「19.その他」の欄では、「特になし」という記載が多くみられた。

表 3-63 小平市の立地上の強み

(有効回答数:326)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1.商圏人口が多い	21	6.4%	32	9.8%
2.住民の所得が高い	4	1.2%	13	4.0%
3.近隣に主要な販売先が立地している	36	11.0%	54	16.6%
4.近隣に主要な仕入先が立地している	15	4.6%	41	12.6%
5.近隣に大学や研究機関が立地している	7	2.1%	24	7.4%
6.都心からの交通アクセスが良い	25	7.7%	73	22.4%
7.鉄道交通の便が良い	12	3.7%	75	23.0%
8.道路交通の便が良い	25	7.7%	85	26.1%
9.輸送コストが低い	1	0.3%	3	0.9%
10.地価・不動産賃貸料が安い	20	6.1%	47	14.4%
11.求人が容易である	2	0.6%	7	2.1%
12.優秀な人材が多い	1	0.3%	7	2.1%
13.人件費が安い	0	0.0%	2	0.6%
14.保育園等の施設が充実している	2	0.6%	11	3.4%
15.商業・サービス業が充実している	0	0.0%	2	0.6%
16.地盤が安定	16	4.9%	80	24.5%
17.良質な水や工業用水が得やすい	0	0.0%	8	2.5%
18.自然環境が良い	21	6.4%	88	27.0%
19.その他	51	15.6%	57	17.5%
合計	259	79.4%	709	217.5%

図 3-53 小平市の立地上の強み

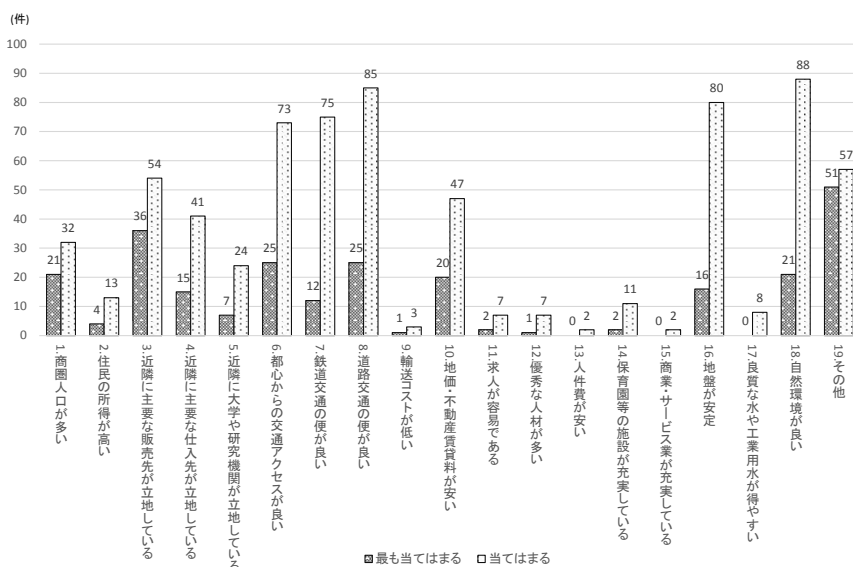


表 3-64 及び図 3-54 は、回答企業における小平市の立地上の強みを業種別に表している。全体で回答割合が高かった上位 2 項目について挙げると、「18.自然環境が良い」では、「教育、学習支援業(7 件、70.0%)」、「医療、福祉(12 件、37.5%)」、「学術研究、専門・技術サービス業(5 件、35.7%)」などの業種で回答割合が高かった。「8.道路交通の便が良い」では、「金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業(6 件、37.5%)」、「製造業(12 件、35.3%)」、「建設業(33 件、30.0%)」などの業種で回答割合が高かった。

表 3-64 業種別小平市の立地上の強み

	1.商圏人口が多い		2.住民の所得が高い		3.近隣に主要な販売先が立地している		4.近隣に主要な仕入先が立地している		5.近隣に大学や研究機関が立地している		6.都心からの交通アクセスが良い		7.鉄道交通の便が良い		8.道路交通の便が良い		9.輸送コストが低い		10.地価・不動産賃料が安い	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
建設業	4	3.6%	1	0.9%	22	20.0%	25	22.7%	5	4.5%	24	21.8%	15	13.6%	33	30.0%	1	0.9%	14	12.7%
製造業	0	0.0%	0	0.0%	5	14.7%	1	2.9%	4	11.8%	13	38.2%	12	35.3%	12	35.3%	2	5.9%	4	11.8%
情報通信業、運輸業、郵便業	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
卸売業、小売業	8	15.4%	4	7.7%	13	25.0%	2	3.8%	2	3.8%	7	13.5%	10	19.2%	9	17.3%	0	0.0%	9	17.3%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	2	12.5%	0	0.0%	3	18.8%	1	6.3%	1	6.3%	5	31.3%	6	37.5%	6	37.5%	0	0.0%	3	18.8%
学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	2	14.3%	0	0.0%	3	21.4%	6	42.9%	3	21.4%	0	0.0%	2	14.3%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	7	18.9%	5	13.5%	6	16.2%	8	21.6%	2	5.4%	6	16.2%	8	21.6%	11	29.7%	0	0.0%	5	13.5%
教育、学習支援業	1	10.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	60.0%	2	20.0%	3	30.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	30.0%
医療、福祉	7	21.9%	2	6.3%	1	3.1%	1	3.1%	3	9.4%	5	15.6%	9	28.1%	5	15.6%	0	0.0%	5	15.6%

	11.求人が容易である		12.優秀な人材が多い		13.人件費が安い		14.保育園等の施設が充実している		15.商業・サービス業が充実している		16.地盤が安定		17.良質な水や工業用水が得やすい		18.自然環境が良い		19.その他		有効回答数	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
建設業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.7%	0	0.0%	32	29.1%	2	1.8%	23	20.9%	17	15.5%	110	100.0%
製造業	4	11.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	5	14.7%	1	2.9%	7	20.6%	7	20.6%	34	100.0%
情報通信業、運輸業、郵便業	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%	0	0.0%	2	33.3%	1	16.7%	6	100.0%
卸売業、小売業	1	1.9%	2	3.8%	1	1.9%	0	0.0%	1	1.9%	13	25.0%	2	3.8%	16	30.8%	10	19.2%	52	100.0%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%	4	25.0%	1	6.3%	4	25.0%	1	6.3%	16	100.0%
学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	35.7%	1	7.1%	5	35.7%	1	7.1%	14	100.0%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	8.1%	0	0.0%	4	10.8%	1	2.7%	7	18.9%	9	24.3%	37	100.0%
教育、学習支援業	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	3	30.0%	0	0.0%	7	70.0%	1	10.0%	10	100.0%
医療、福祉	1	3.1%	2	6.3%	1	3.1%	2	6.3%	1	3.1%	9	28.1%	0	0.0%	12	37.5%	7	21.9%	32	100.0%

図 3-54 業種別小平市の立地上の強み

	1.商圏人口が多い	2.住民の所得が高い	3.近隣に主要な販売先が立地している	4.近隣に主要な仕入先が立地している	5.近隣に大学や研究機関が立地している	6.都心からの交通アクセスが良い	7.鉄道交通の便が良い	8.道路交通の便が良い	9.輸送コストが低い	10.地価・不動産賃料が安い	11.求人が容易である	12.優秀な人材が多い	13.人件費が安い	14.保育園等の施設が充実している	15.商業・サービス業が充実している	16.地盤が安定	17.良質な水や工業用水が得やすい	18.自然環境が良い	19.その他
建設業	3.6%	0.9%	20.0%	22.7%	4.5%	21.8%	13.6%	30.0%	0.9%	12.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	29.1%	1.8%	20.9%	15.5%
製造業	0.0%	0.0%	14.7%	2.9%	11.8%	38.2%	35.3%	35.3%	5.9%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	14.7%	2.9%	20.6%	20.6%
情報通信業、運輸業、郵便業	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%
卸売業、小売業	15.4%	7.7%	25.0%	3.8%	3.8%	13.5%	19.2%	17.3%	0.0%	17.3%	1.9%	3.8%	1.9%	0.0%	1.9%	25.0%	3.8%	30.8%	19.2%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	12.5%	0.0%	18.8%	6.3%	6.3%	31.3%	37.5%	37.5%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	25.0%	6.3%	25.0%	6.3%
学術研究、専門・技術サービス業	0.0%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	21.4%	42.9%	21.4%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	7.1%	35.7%	7.1%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	18.9%	13.5%	16.2%	21.6%	5.4%	16.2%	21.6%	29.7%	0.0%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%	0.0%	10.8%	2.7%	18.9%	24.3%
教育、学習支援業	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%	70.0%	10.0%
医療、福祉	21.9%	6.3%	3.1%	3.1%	9.4%	15.6%	28.1%	15.6%	0.0%	15.6%	3.1%	6.3%	3.1%	6.3%	3.1%	28.1%	0.0%	37.5%	21.9%

問 20. 貴社が事業を行う上で、小平市にはどのような立地上の弱みがあると思いますか。最も当てはまるもの1つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-65 及び図 3-55 は、回答企業における小平市の立地上の弱みを表している。「最も当てはまる」ものとして、「11.求人が困難である(36 件、12.3%)」が最も多く、次いで「7.鉄道交通の便が悪い(20 件、6.8%)」、「8.道路交通の便が悪い(20 件、6.8%)」が同率であった。

「当てはまる」ものとしては、「11.求人が困難である(72 件、24.6%)」という回答が最も多く、次いで「8.道路交通の便が悪い(48 件、16.4%)」であった。

「19.その他」の欄では、「特になし」という記載が多くみられた。

表 3-65 小平市の立地上の弱み

(有効回答数293)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1.商圏人口が少ない	19	6.5%	44	15.0%
2.住民の所得が低い	9	3.1%	26	8.9%
3.近隣に主要な販売先が立地していない	16	5.5%	38	13.0%
4.近隣に主要な仕入先が立地していない	4	1.4%	22	7.5%
5.近隣に大学や研究機関が立地していない	1	0.3%	3	1.0%
6.都心からの交通アクセスが悪い	13	4.4%	44	15.0%
7.鉄道交通の便が悪い	20	6.8%	44	15.0%
8.道路交通の便が悪い	20	6.8%	48	16.4%
9.輸送コストが高い	0	0.0%	4	1.4%
10.地価・不動産賃貸料が高い	19	6.5%	39	13.3%
11.求人が困難である	36	12.3%	72	24.6%
12.優秀な人材が少ない	5	1.7%	21	7.2%
13.人件費が高い	5	1.7%	16	5.5%
14.保育園等の施設が充実していない	0	0.0%	10	3.4%
15.商業・サービス業が充実していない	18	6.1%	39	13.3%
16.地盤が不安定	1	0.3%	2	0.7%
17.良質な水や工業用水が得づらい	0	0.0%	2	0.7%
18.自然環境が悪い	0	0.0%	0	0.0%
19.その他	58	19.8%	66	22.5%
合計	244	83.3%	540	184.3%

図 3-55 小平市の立地上の弱み

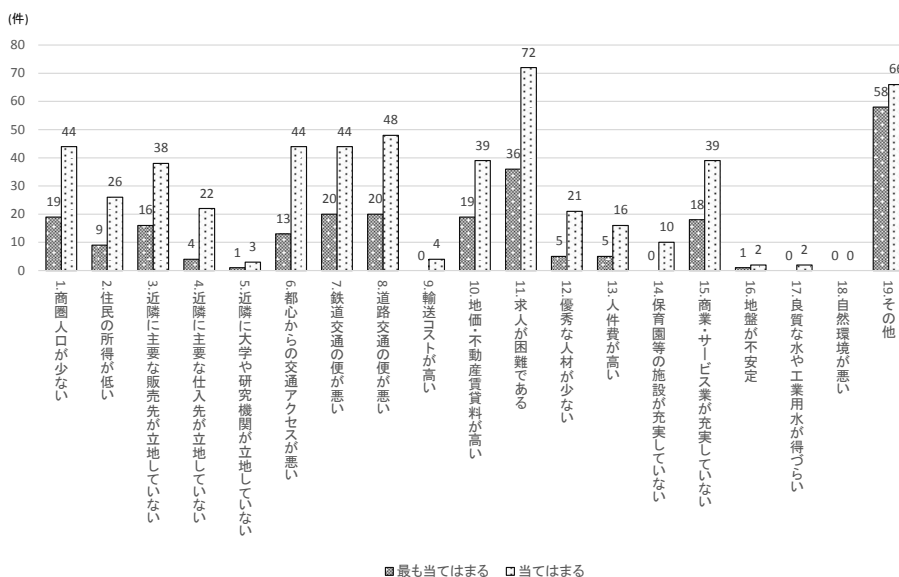


表 3-66 及び図 3-56 は、回答企業における小平市の立地上の弱みを業種別に表している。全体で回答割合が高かった上位 2 項目について挙げると、「11.求人が困難である」では、「宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業(15 件、46.9%)」、「情報通信業、運輸業、郵便業(3 件、37.5%)」、「医療、福祉(9 件、31.0%)」などの業種で回答割合が高かった。「8.道路交通の便が悪い」では、「教育、学習支援業(5 件、55.6%)」、「情報通信業、運輸業、郵便業(2 件、25.0%)」、「建設業(20 件、22.0%)」などの業種で回答割合が高かった。

表 3-66 小平市の立地上の弱み(業種別)

	1.商圏人口が少ない		2.住民の所得が低い		3.近隣に主要な販売先が立地していない		4.近隣に主要な仕入先が立地していない		5.近隣に大学や研究機関が立地していない		6.都心からの交通アクセスが悪い		7.鉄道交通の便が悪い		8.道路交通の便が悪い		9.輸送コストが高い		10.地価・不動産賃料が高い	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
建設業	6	6.6%	6	6.6%	6	6.6%	4	4.4%	0	0.0%	15	16.5%	15	16.5%	20	22.0%	1	1.1%	16	17.6%
製造業	5	14.7%	0	0.0%	8	23.5%	6	17.6%	0	0.0%	4	11.8%	3	8.8%	4	11.8%	1	2.9%	5	14.7%
情報通信業、運輸業、郵便業	2	25.0%	0	0.0%	3	37.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	2	25.0%	2	25.0%	1	12.5%	3	37.5%
卸売業、小売業	14	28.6%	8	16.3%	13	26.5%	4	8.2%	1	2.0%	9	18.4%	6	12.2%	5	10.2%	1	2.0%	2	4.1%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	5	35.7%	0	0.0%	1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%	4	28.6%	4	28.6%	2	14.3%	0	0.0%	1	7.1%
学術研究、専門・技術サービス業	1	9.1%	0	0.0%	3	27.3%	1	9.1%	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	3	27.3%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	4	12.5%	3	9.4%	3	9.4%	3	9.4%	1	3.1%	3	9.4%	3	9.4%	2	6.3%	0	0.0%	3	9.4%
教育、学習支援業	3	33.3%	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	55.6%	5	55.6%	5	55.6%	0	0.0%	0	0.0%
医療、福祉	2	6.9%	3	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.9%	3	10.3%	5	17.2%	0	0.0%	3	10.3%

	11.求人が困難である		12.優秀な人材が少ない		13.人件費が高い		14.保育園等の施設が充実していない		15.商業・サービス業が充実していない		16.地盤が不安定		17.良質な水や工業用水が得づらい		18.自然環境が悪い		19.その他		有効回答数	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
建設業	23	25.3%	7	7.7%	3	3.3%	5	5.5%	12	13.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	21	23.1%	91	100.0%
製造業	6	17.6%	1	2.9%	5	14.7%	1	2.9%	6	17.6%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	6	17.6%	34	100.0%
情報通信業、運輸業、郵便業	3	37.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	100.0%
卸売業、小売業	8	16.3%	3	6.1%	3	6.1%	1	2.0%	8	16.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	28.6%	49	100.0%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	1	7.1%	0	0.0%	1	7.1%	1	7.1%	3	21.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%	14	100.0%
学術研究、専門・技術サービス業	3	27.3%	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	27.3%	11	100.0%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	15	46.9%	6	18.8%	4	12.5%	0	0.0%	4	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	21.9%	32	100.0%
教育、学習支援業	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	9	100.0%
医療、福祉	9	31.0%	2	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%	1	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	8	27.6%	29	100.0%

図 3-56 小平市の立地上の弱み(業種別)

	1.商圏人口が少ない	2.住民の所得が低い	3.近隣に主要な販売先が立地していない	4.近隣に主要な仕入先が立地していない	5.近隣に大学や研究機関が立地していない	6.都心からの交通アクセスが悪い	7.鉄道交通の便が悪い	8.道路交通の便が悪い	9.輸送コストが高い	10.地価・不動産賃料が高い	11.求人が困難である	12.優秀な人材が少ない	13.人件費が高い	14.保育園等の施設が充実していない	15.商業・サービス業が充実していない	16.地盤が不安定	17.良質な水や工業用水が得づらい	18.自然環境が悪い	19.その他
建設業	6.6%	6.6%	6.6%	4.4%	0.0%	16.5%	16.5%	22.0%	1.1%	17.6%	25.3%	7.7%	3.3%	5.5%	13.2%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%
製造業	14.7%	0.0%	23.5%	17.6%	0.0%	11.8%	8.8%	11.8%	2.9%	14.7%	17.6%	2.9%	14.7%	2.9%	17.6%	0.0%	2.9%	0.0%	17.6%
情報通信業、運輸業、郵便業	25.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
卸売業、小売業	28.6%	16.3%	26.5%	8.2%	2.0%	18.4%	12.2%	10.2%	2.0%	4.1%	16.3%	6.1%	6.1%	2.0%	16.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	35.7%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
学術研究、専門・技術サービス業	9.1%	0.0%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	27.3%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	12.5%	9.4%	9.4%	9.4%	3.1%	9.4%	9.4%	6.3%	0.0%	9.4%	46.9%	18.8%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	21.9%
教育、学習支援業	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	55.6%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
医療、福祉	6.9%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	10.3%	17.2%	0.0%	10.3%	31.0%	6.9%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%	27.6%

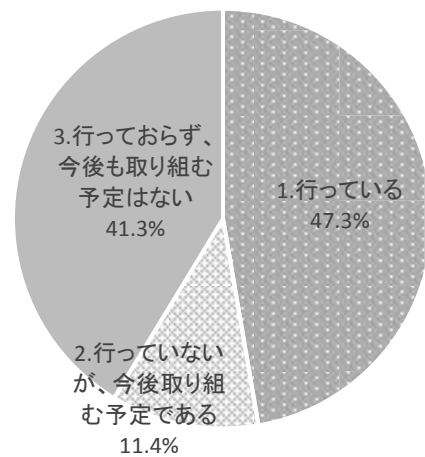
問 21. 貴社では社会貢献活動(事業所近隣の清掃や見守り活動、地域イベントへの参加、協賛金の拠出なども含む)を行っていますか。次のうち当てはまるもの 1 つに○印をつけてください。また「1. 行っている」、「2. 行っていないが、今後取り組む予定である」と回答した場合、その内容についてご記入ください。

表 3-67 及び図 3-57 は、回答企業における社会貢献活動の実施の有無を表している。最も多かったのは「1.行っている(166 件、47.3%)」であり、半数近くの企業が答えている。次いで「3.行っておらず、今後取り組む予定はない(145 件、41.3%)」、「2.行っていないが、今後取り組む予定である(40 件、11.4%)」であった。

表 3-67 社会貢献活動の実施の有無

	件数	割合
1.行っている	166	47.3%
2.行っていないが、今後取り組む予定である	40	11.4%
3.行っておらず、今後取り組む予定はない	145	41.3%
合計	351	100.0%

図 3-57 社会貢献活動の有無



問 22. 前問で「3. 行っておらず、今後取り組む予定もない」と回答した方にお聞きします。貴社が「社会貢献活動」に取り組まない理由を教えてください。最も当てはまるもの 1 つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

表 3-68 及び図 3-58 は、回答企業における社会貢献活動に取り組まない理由を表している。「最も当てはまる」ものとして、「1.人手が足りないため(41 件、29.5%)」が最も多く、約 3 割の企業が回答している。

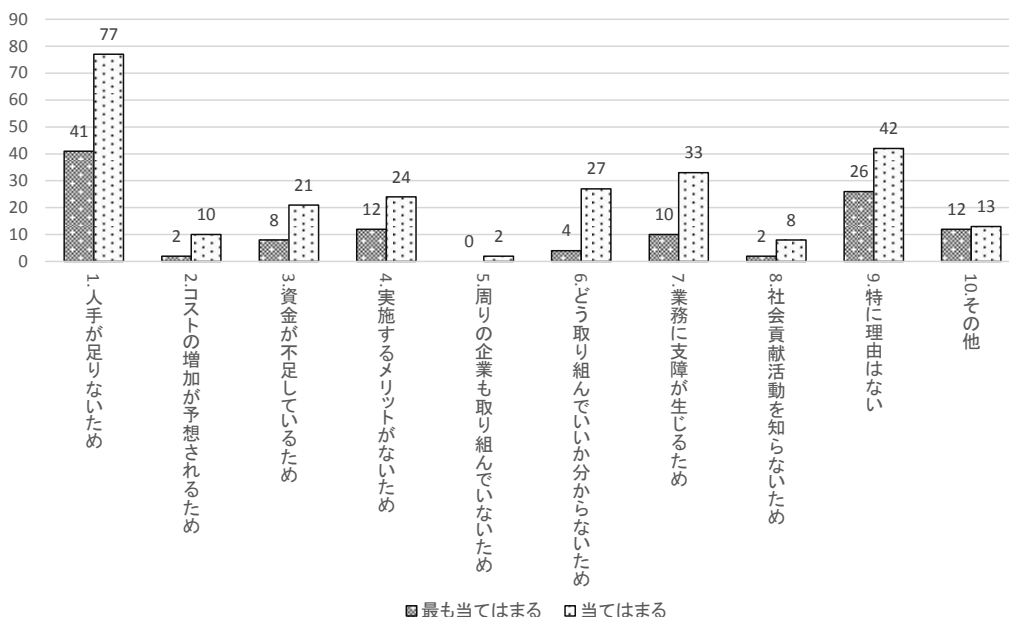
「当てはまる」ものとして、「1.人手が足りないため(77 件、55.4%)」が最も多く、次いで、「7.業務に支障が生じるため(33 件、23.7%)」、「6.どう取り組んでいいか分からないため(27 件、19.4%)」であった。

表 3-68 社会貢献活動に取り組まない理由

(有効回答数:139)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1.人手が足りないため	41	29.5%	77	55.4%
2.コストの増加が予想されるため	2	1.4%	10	7.2%
3.資金が不足しているため	8	5.8%	21	15.1%
4.実施するメリットがないため	12	8.6%	24	17.3%
5.周りの企業も取り組んでいないため	0	0.0%	2	1.4%
6.どう取り組んでいいか分からないため	4	2.9%	27	19.4%
7.業務に支障が生じるため	10	7.2%	33	23.7%
8.社会貢献活動を知らないため	2	1.4%	8	5.8%
9.特に理由はない	26	18.7%	42	30.2%
10.その他	12	8.6%	13	9.4%
合計	117	84.2%	257	184.9%

図 3-58 社会貢献活動に取り組まない理由



問 23. 問 21 で社会貢献活動を「1. 行っている」又は「2. 行っていないが、今後取り組む予定である」と回答した方にお聞きします。貴社が社会貢献活動を行うことによって得られた(得られると予想される)メリットは何ですか。最も当てはまるもの1つに◎印を、当てはまるものすべてに○印をつけてください。

表 3-69 及び図 3-59 は、回答企業における社会貢献活動を実施することによるメリットを表している。「最も当てはまる」ものとして、「4.地域社会からの信頼の向上(74 件、38.3%)」が最も多かった。

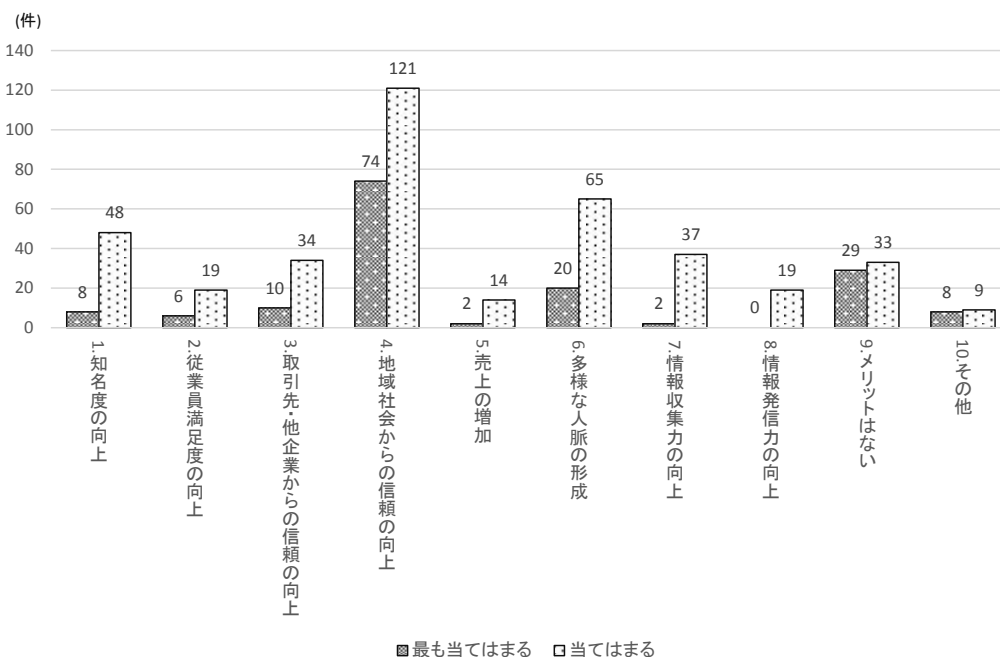
「当てはまる」ものとして、「4.地域社会からの信頼の向上(121 件、62.7%)」が最も多く、次いで「6.多様な人脈の形成(65 件、33.7%)」であった。

表 3-69 社会貢献活動を実施することによるメリット

(有効回答数:193)

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1.知名度の向上	8	4.1%	48	24.9%
2.従業員満足度の向上	6	3.1%	19	9.8%
3.取引先・他企業からの信頼の向上	10	5.2%	34	17.6%
4.地域社会からの信頼の向上	74	38.3%	121	62.7%
5.売上の増加	2	1.0%	14	7.3%
6.多様な人脈の形成	20	10.4%	65	33.7%
7.情報収集力の向上	2	1.0%	37	19.2%
8.情報発信力の向上	0	0.0%	19	9.8%
9.メリットはない	29	15.0%	33	17.1%
10.その他	8	4.1%	9	4.7%
合計	159	82.4%	399	206.7%

図 3-59 社会貢献活動を実施することによるメリット



問 24. 貴社は行政(小平市など)の支援の中で、どのような支援の強化を希望しますか。最も当てはまるもの1つに◎印を、当てはまるもの全てに○印をつけてください。

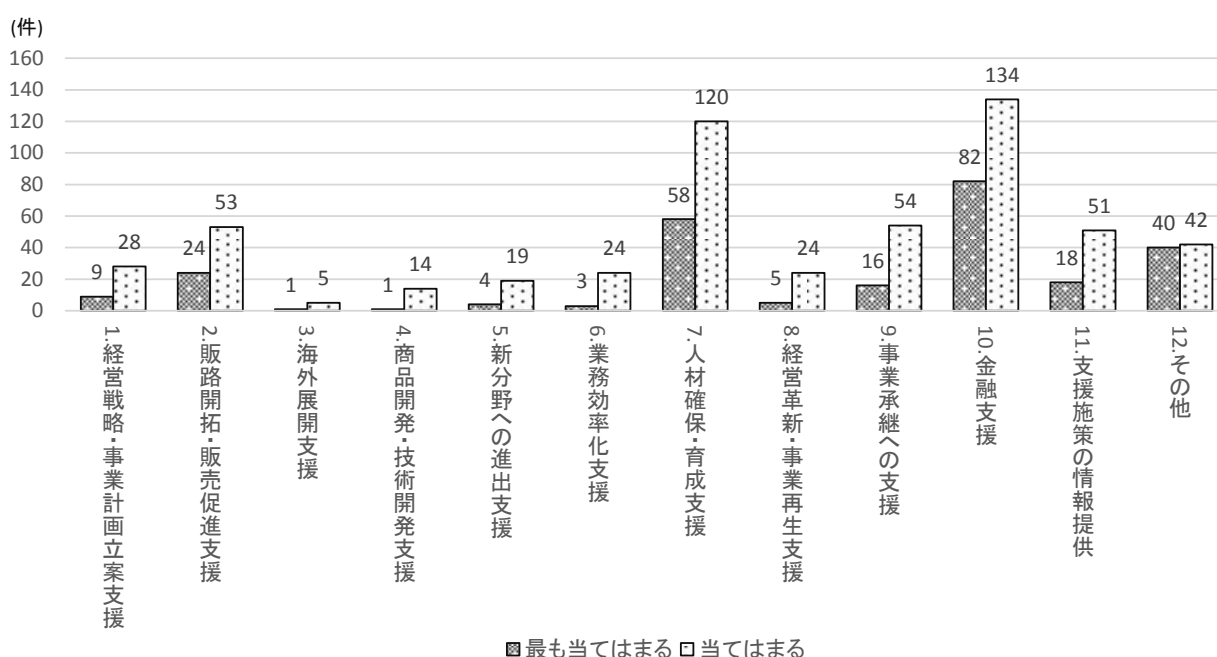
表 3-70 及び図 3-60 は、回答企業における強化を希望する行政の支援を表している。「最も当てはまる」ものとして、「10.金融支援(82件、26.3%)」が最も多く、次いで「7.人材確保・育成支援(58件、18.6%)」であった。

「当てはまる」ものについても、同様の結果であった。

表 3-70 強化を希望する行政の支援

	最も当てはまる(◎)		当てはまる(◎+○)	
	件数	割合	件数	割合
1.経営戦略・事業計画立案支援	9	2.9%	28	9.0%
2.販路開拓・販売促進支援	24	7.7%	53	17.0%
3.海外展開支援	1	0.3%	5	1.6%
4.商品開発・技術開発支援	1	0.3%	14	4.5%
5.新分野への進出支援	4	1.3%	19	6.1%
6.業務効率化支援	3	1.0%	24	7.7%
7.人材確保・育成支援	58	18.6%	120	38.5%
8.経営革新・事業再生支援	5	1.6%	24	7.7%
9.事業承継への支援	16	5.1%	54	17.3%
10.金融支援	82	26.3%	134	42.9%
11.支援施策の情報提供	18	5.8%	51	16.3%
12.その他	40	12.8%	42	13.5%
合計	261	83.7%	568	182.1%

図 3-60 強化を希望する行政の支援



本アンケート調査の結果より、新たな顧客の開拓や新事業分野への進出などに対して、積極的な取り組みを行っている企業(以下「積極的企業」と呼ぶ)を抽出し、それら企業がどのような特徴・課題を持っているかについて分析を行った。本分析を行う目的としては、新規顧客の開拓や新事業への進出などは、将来の企業の成長にとって必要不可欠な取り組みであり、これら取り組みに対して積極的である企業の現状や抱えている課題を把握することは、産業の活性化のために不可欠であると考えられるためである。

ここでは、「積極的企業」について、以下のように定義づけを行った。

問7「重視している経営上の取り組み」において、5つ以上の項目を回答している企業のうち、「(イ)小平市における新規顧客の開拓」、「(ウ)隣接自治体における新規顧客開拓」、「(エ)上記(イ)(ウ)以外の国内における新規顧客の開拓」、「(オ)海外の新規顧客の開拓」、「(ケ)新製品・サービスの研究・開発」、「(コ)業務のIT化・合理化」、「(サ)人材の採用・育成」、「(シ)新店舗・新工場・研究開発拠点」、「(ス)既存設備、建物・工場の更新」、「(セ)産学連携による研究開発の実施」、「(ソ)M&Aによる企業買収」、「(タ)新規事業の開発」の平均スコアが、3.5点以上である企業

表 3-71 と表 3-72 は積極的企業における業種と規模を表している。業種では、回答企業全体の分布同様、「建設業」の割合が最も高い。また、事業所規模別にみても、「1～5人(18件、39.1%)」の事業所が最も多く、次いで「21人～50人(10件、21.7%)」と小規模、中規模の事業所に多くみられた。

表 3-71 積極的企業(業種別)

	回答企業全体		積極的企業	
	件数	割合	件数	割合
建設業	125	34.9%	14	29.8%
製造業	38	10.6%	6	12.8%
情報通信業、運輸業、郵便業	9	2.5%	1	2.1%
卸売業、小売業	64	17.9%	3	6.4%
金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	19	5.3%	2	4.3%
学術研究、専門・技術サービス業	15	4.2%	5	10.6%
宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、その他のサービス業	40	11.2%	6	12.8%
教育、学習支援業	10	2.8%	3	6.4%
医療、福祉	38	10.6%	7	14.9%
有効回答数	358	100.0%	47	100.0%

表 3-72 積極的企業(規模別)

	回答企業全体		積極的企業	
	件数	割合	件数	割合
0人	9	2.6%	1	2.2%
1～5人	156	45.3%	18	39.1%
6～10人	69	20.1%	3	6.5%
11～20人	39	11.3%	7	15.2%
21～50人	43	12.5%	10	21.7%
51～100人	7	2.0%	1	2.2%
101～300人	17	4.9%	4	8.7%
301人以上	4	1.2%	2	4.3%
有効回答数	344	100.0%	46	100.0%

表 3-73 及び図 3-61 は積極的企業と回答企業全体における経営上の取り組みを表している。積極的企業の定義上当然ではあるが、全体と比較し高いスコアとなっている。特に積極的企業の方が上回った項目は、「(エ)隣接自治体以外の国内における新規顧客開拓(4.48点)」、「(セ)産学連携による研究開発の実施(3.20点)」、「(タ)新規事業の開発(4.19点)」であり、それぞれ1.50点、1.23点、1.57点の差があった。

「(キ)人件費の引き下げ(2.91点)」においては、回答企業全体と積極的企業においてあまり差はみられなかった。

表 3-73 積極的企業と回答企業全体における重視している経営上の取り組み

	(ア)既存の顧客との関係強化	(イ)小平市における新規顧客の開拓	(ウ)隣接自治体における新規顧客開拓	(エ)隣接自治体以外の国内における新規顧客開拓	(オ)海外の新規顧客の開拓	(カ)仕入価格の引き下げ	(キ)人件費の引き下げ	(ク)諸経費の引き下げ	(ケ)新製品・サービスの研究・開発	(コ)業務のIT化・合理化	(サ)人材の採用・育成	(シ)新店舗・新工場・研究開発拠点	(ス)既存設備、建物・工場の更新	(セ)産学連携による研究開発の実施	(ソ)M&Aによる企業買収	(タ)新規事業の開発
回答企業全体	4.38	3.26	3.07	2.98	1.60	3.19	2.70	3.66	3.22	3.23	3.54	2.31	2.64	1.97	1.71	2.62
積極的企業	4.70	4.26	4.14	4.48	2.62	3.63	2.91	4.04	4.30	3.98	4.45	3.43	3.62	3.20	2.59	4.19

図 3-61 積極的企業と回答企業全体における重視している経営上の取り組み

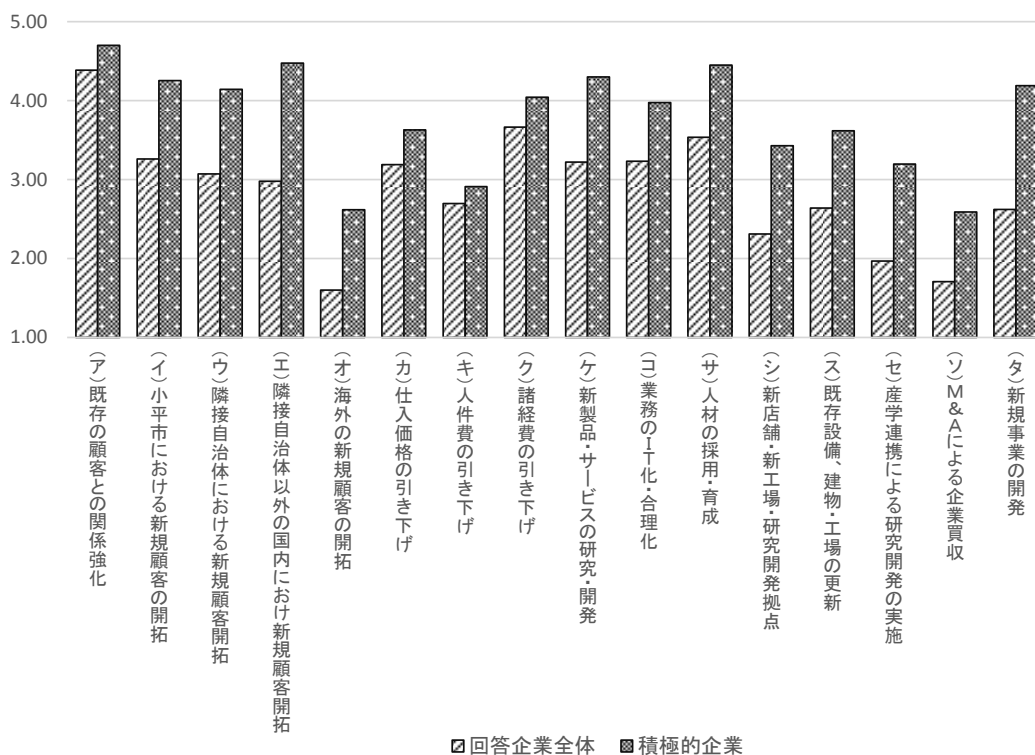


表 3-74 及び図 3-62 は積極的企業と回答企業全体における事業経営上の課題を表している。回答企業全体と比較し、積極的企業が事業経営上の課題として多く上げた項目は、「10.人手不足、人材の確保難(27件、54.0%)」、「8.店舗・工場・事務所の狭小化・老朽化(13件、26.0%)」、「7.人件費以外の経費増加(12件、24.0%)」であり、それぞれ全体よりも11.2ポイント、10.2ポイント、9.8ポイント上回っている。一方、「1.売上げの停滞・減少(19件、38.0%)」と「2.販売先の減少(9件、18.0%)」等については、積極的企業の方が、課題として挙げている割合が低かった。

表 3-74 積極的企業と回答企業全体における事業経営上の課題

	回答企業全体		積極的企業	
	件数	割合	件数	割合
1.売上の停滞・減少	190	50.8%	19	38.0%
2.販売先の減少	82	21.9%	9	18.0%
3.商圏人口の減少	16	4.3%	3	6.0%
4.他社との競争の激化	125	33.4%	21	42.0%
5.仕入価格の上昇	77	20.6%	10	20.0%
6.人件費の増加	113	30.2%	19	38.0%
7.人件費以外の経費増加	53	14.2%	12	24.0%
8.店舗・工場・事務所の狭小化・老朽化	59	15.8%	13	26.0%
9.設備・機械の老朽化	72	19.3%	13	26.0%
10.人手不足、人材の確保難	160	42.8%	27	54.0%
11.従業員の高齢化	119	31.8%	15	30.0%
12.製品・サービス・技術の陳腐化	11	2.9%	1	2.0%
13.業務のIT化・合理化の遅れ	19	5.1%	4	8.0%
14.資金繰りの悪化	43	11.5%	9	18.0%
15.為替レートの変動	14	3.7%	2	4.0%
16.その他	13	3.5%	2	4.0%
有効回答数	374	100.0%	50	100.0%

図 3-62 積極的企業と回答企業全体における事業経営上の課題

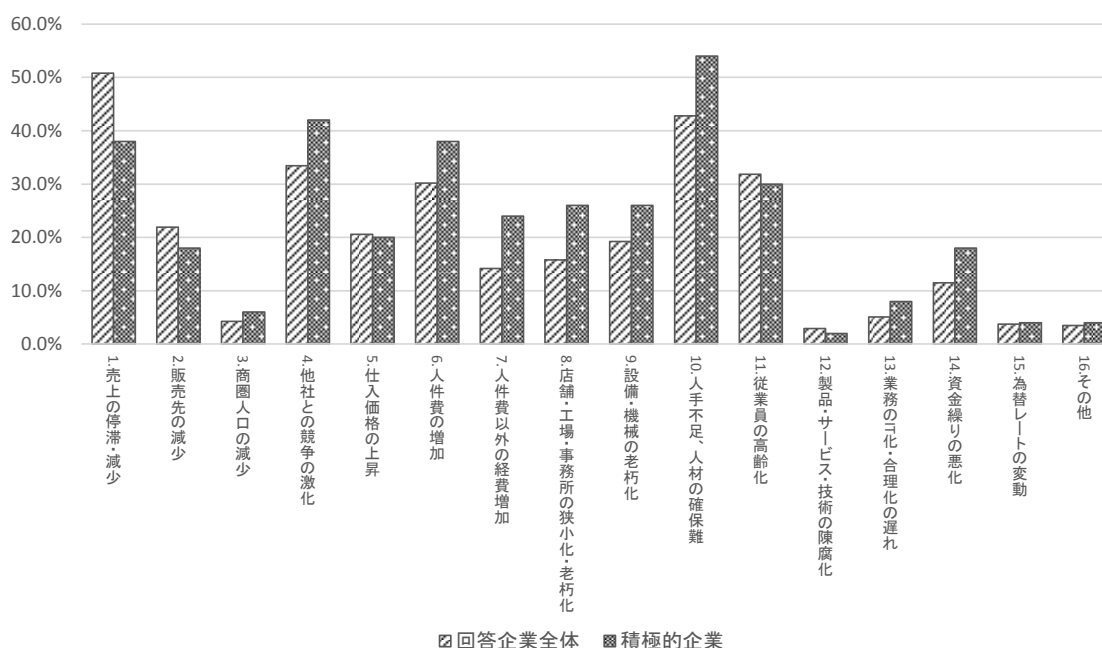
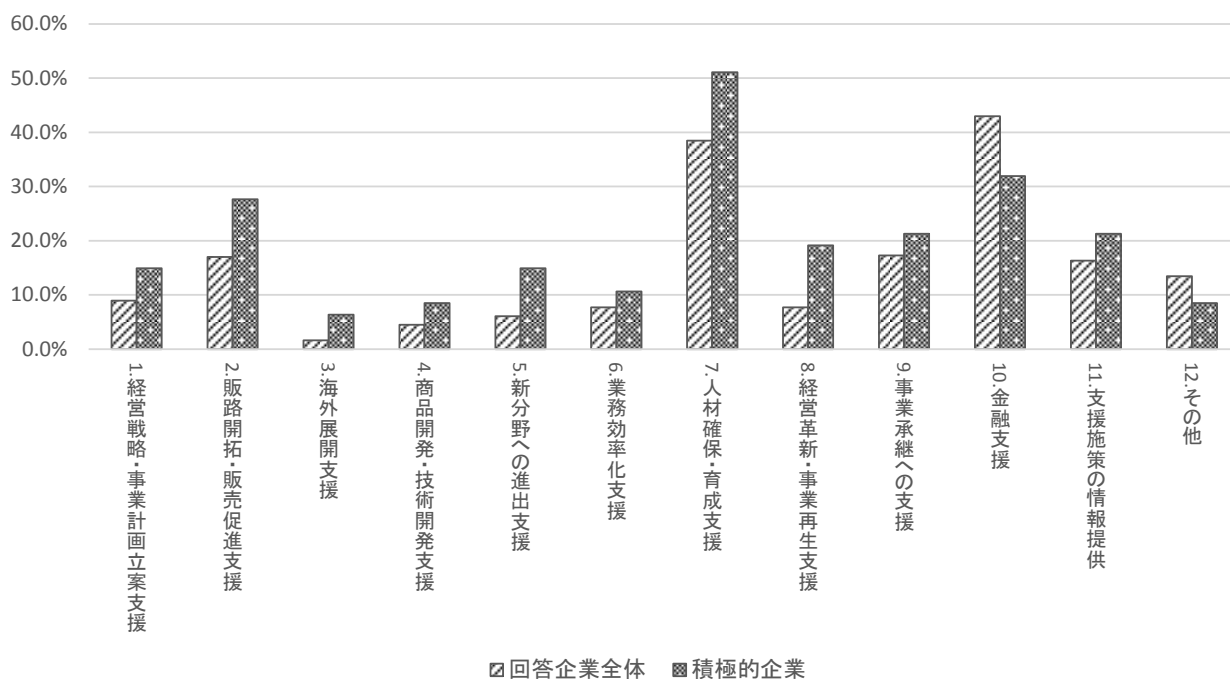


表 3-75 及び図 3-63 は、積極的企業と回答企業全体における強化を希望する行政の支援を表している。積極的企業において回答企業全体よりも上回った項目は、「7.人材確保・育成支援(24 件、51.1%)」であり、12.6 ポイント上回っている。次いで、「8.経営革新・事業再生支援(9 件、19.1%)」、「2.販路開拓・販売促進支援(13 件、27.7%)」であり、回答企業全体と比較して、それぞれ 11.4 ポイント、10.7 ポイント上回った。積極的企業において回答企業全体よりも下回った項目は「10.金融支援(15 件、31.9%)」であり、11.0 ポイント下回った。

表 3-75 積極的企業と回答企業全体における強化を希望する行政の支援

	回答企業全体		積極的企業	
	件数	割合	件数	割合
1.経営戦略・事業計画立案支援	28	9.0%	7	14.9%
2.販路開拓・販売促進支援	53	17.0%	13	27.7%
3.海外展開支援	5	1.6%	3	6.4%
4.商品開発・技術開発支援	14	4.5%	4	8.5%
5.新分野への進出支援	19	6.1%	7	14.9%
6.業務効率化支援	24	7.7%	5	10.6%
7.人材確保・育成支援	120	38.5%	24	51.1%
8.経営革新・事業再生支援	24	7.7%	9	19.1%
9.事業承継への支援	54	17.3%	10	21.3%
10.金融支援	134	42.9%	15	31.9%
11.支援施策の情報提供	51	16.3%	10	21.3%
12.その他	42	13.5%	4	8.5%
有効回答数	312	100.0%	47	100.0%

図 3-63 積極的企業と回答企業全体における強化を希望する行政の支援



経営の現状と課題、販売先、人材採用、事業承継及び地域との関わりについての事業所動向調査の結果とその分析から以下のような点が明らかになった。

- 小平市内の企業では、規模の大小を問わず、売上の減少や経費の増加、また人手不足・従業員の高齢化などの課題を抱えている企業が多く、厳しい経営環境におかれている。
- 新規顧客の開拓や新製品・サービスの開発などの新しい取組みを重視している企業はあまり多くないが、中にはこれらの新しい取組みを重視する積極的な経営を行っている企業も存在している。これらの積極的な企業では、抱えている課題や希望する支援内容が回答企業全体とは異なっている。
- 現在インターネット販売を行っている企業は 13.9%であったが、今後取り組む予定の企業は 16.2%おり、今後のインターネット販売の拡大についても積極的な意向を持っていることから、企業におけるインターネット販売への関心が高い。
- 現在海外への輸出を行っている企業は 4.3%と少数となっている。また、今後取り組む予定の企業についても 4.6%と少数となっている。
- 半数近くの企業で、従業員の小平市在住割合が 50%以上となっており、比較的職住近接が実現されている。また、小平市全体の従業員平均年齢は 48.6 歳となっている。
- 従業員の採用については、紹介等を通じた募集とハローワークを通じた募集が多いことがわかった。特に、建設業や医療、福祉では紹介等を通じた募集が多く、情報通信業、運輸業、製造業などではハローワークを通じた採用が多かった。
- 事業承継に関しては、企業のうち約半数において後継者が決まっている、又は後継者候補がいることが明らかになった。その一方で、事業を売却又は廃業する予定である企業も 7.5%おり、これらの企業の半数以上が 5 年以内に事業を売却又は廃業すると回答している。また事業承継に関する課題としては、事業の将来性への不安や、後継者の育成といったことが挙げられている。
- 企業における小平市への立地上のメリットは、自然環境が良い、道路交通の便が良い、地盤が安定しているといったほか、近隣に主要な販売先が立地していることを挙げる企業も一定数見られた。その他、教育、学習支援業では、豊かな自然環境や、近隣に大学や研究機関が立地していることが立地上のメリットとして強く影響していることが明らかになった。反対にデメリットとしては、求人が困難であることが最も多く挙げられた。また、特に立地のメリット・デメリットを意識していない企業も目立つ結果となった。
- 社会貢献活動については、半数近くの企業が既に何らかの形で実施しており、また、今後取り組む予定であるとした企業も 1 割ほどいることから、多くの企業で関心を持っていることがわかった。また、社会貢献活動を実施するメリットとしては、地域社会からの信頼の向上が 6 割以上の企業で挙げられた。
- 強化を希望する行政の支援としては、金融支援と人材確保・育成支援が最も多く挙げられた。積極的な企業では、希望する支援として、人材確保・育成支援がより強く望まれているほか、経営革新・事業再生支援や販路開拓支援など行政からの様々な支援を望む声強い結果となっている。

2) 従業員アンケート

問 1. ご回答されるあなたのことについておたずねします。以下の項目について、それぞれ当てはまるものに○印をつけてください。

表 3-76 及び図 3-64 は、回答者の性別を表している。内訳は、「1.男性(107 件、59.8%)」、「2.女性(72 件、40.2%)」と 6 対 4 の割合であった。

表 3-76 性別

	件数	割合
1.男性	107	59.8%
2.女性	72	40.2%
合計	179	100.0%

図 3-64 性別

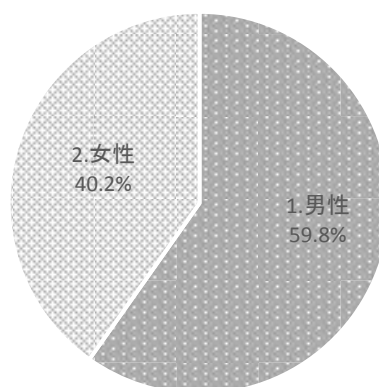
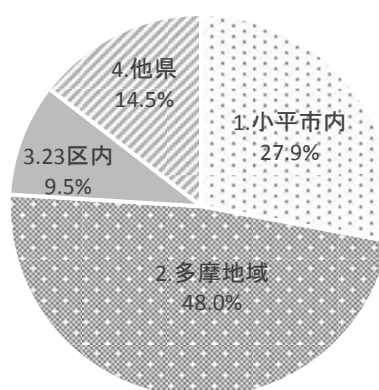


表 3-77 及び図 3-65 は回答者の居住地を表している。回答者の居住地は、「2.小平市以外の多摩地域(86 件、48.0%)」が最も多く、次いで、「1.小平市内(50 件、27.9%)」であった。

表 3-77 居住地

	件数	割合
1.小平市内	50	27.9%
2.多摩地域	86	48.0%
3.23区内	17	9.5%
4.他県	26	14.5%
5.その他	0	0.0%
合計	179	100.0%

図 3-65 居住地



問 2. 以下の項目について、それぞれ当てはまる割合として最も適切なものに○印をつけてください。

表 3-78 及び図 3-66 は、回答者の市内での消費頻度とニーズを表している。農産物については、「(ア)小平産の農産物を良く買う」に、「非常に当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した割合が 14.0%であるのに対し、「(イ)小平産の農産物を買いたいと思う」に「非常に当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した割合が 42.4%と高いことから、回答者は小平産農産物の購入に関して潜在的ニーズがあると考えられる。

また、飲食店利用に関しては、「(キ)昼食時に市内飲食店を良く利用する」、「(ク)夕食時に市内飲食店を良く利用する」の設問に対し、「非常に当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した割合の合計がそれぞれ 22.9%と 15.8%であるのに対し、「(ケ)市内飲食店を利用したいと思う」に、「非常に当てはまる」、「やや当てはまる」と回答した割合が 46.7%と高いことから、回答者による市内飲食店の利用について潜在的ニーズがあると考えられる。

表 3-78 市内での消費頻度とニーズ

	非常に当てはまる		やや当てはまる		あまり当てはまらない		全く当てはまらない		スコア	合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		件数	割合
(ア)小平産の農産物を良く買う	4	2.2%	21	11.8%	67	37.6%	86	48.3%	1.68	178	100.0%
(イ)小平産の農産物を買いたいと思う	14	7.8%	62	34.6%	60	33.5%	43	24.0%	2.26	179	100.0%
(ウ)市内で買い物をする事が多い	39	21.8%	46	25.7%	49	27.4%	45	25.1%	2.44	179	100.0%
(エ)市内で買い物をしたと思う	25	14.2%	57	32.4%	56	31.8%	38	21.6%	2.39	176	100.0%
(オ)余暇を市内で過ごす事が多い	13	7.3%	15	8.4%	58	32.6%	92	51.7%	1.71	178	100.0%
(カ)余暇を市内で過ごしたいと思う	5	2.8%	26	14.5%	75	41.9%	73	40.8%	1.79	179	100.0%
(キ)昼食時に市内飲食店を良く利用する	14	7.8%	27	15.1%	67	37.4%	71	39.7%	1.91	179	100.0%
(ク)夕食時に市内飲食店を良く利用する	6	3.4%	22	12.4%	93	52.2%	57	32.0%	1.87	178	100.0%
(ケ)市内飲食店を利用したいと思う	9	5.1%	74	41.6%	64	36.0%	31	17.4%	2.34	178	100.0%

図 3-66 市内での消費頻度とニーズ

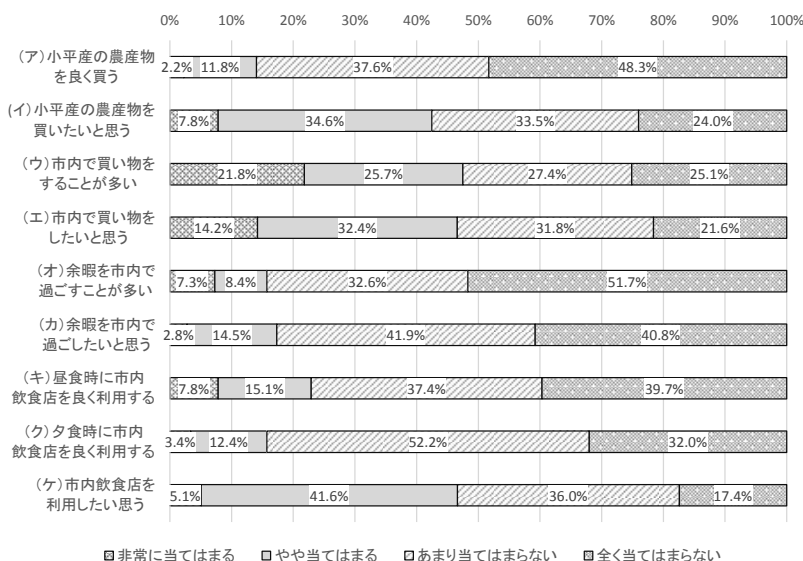


表 3-79 及び図 3-67 は、回答従業員の小平市内での消費頻度とニーズをスコア化したものを男女別に表している。(ア)~(エ)の「買い物」に関する設問では、女性のニーズが高かった。一方、「(キ)昼食時に市内飲食店を良く利用する」、「(ク)夕食時に市内飲食店を良く利用する」の2つの設問においては、男性のスコアが高く、現状男性の方が市内飲食店を利用している傾向がみられた。

表 3-79 小平市内での消費頻度とニーズ(男女別)

	(ア)小平産の農産物を良く買う	(イ)小平産の農産物を買いたいと思う	(ウ)市内で買い物をする事が多い	(エ)市内で買い物をしたいと思う	(オ)余暇を市内で過ごす事が多い	(カ)余暇を市内で過ごしたいと思う	(キ)昼食時に市内飲食店を良く利用する	(ク)夕食時に市内飲食店を良く利用する	(ケ)市内飲食店を利用したいと思う
1.男性	1.57	2.05	2.33	2.21	1.65	1.70	1.95	1.93	2.31
2.女性	1.85	2.58	2.61	2.67	1.81	1.93	1.85	1.78	2.39
合計	1.68	2.26	2.44	2.39	1.71	1.79	1.91	1.87	2.34

図 3-67 小平市内での消費頻度とニーズ(男女別)

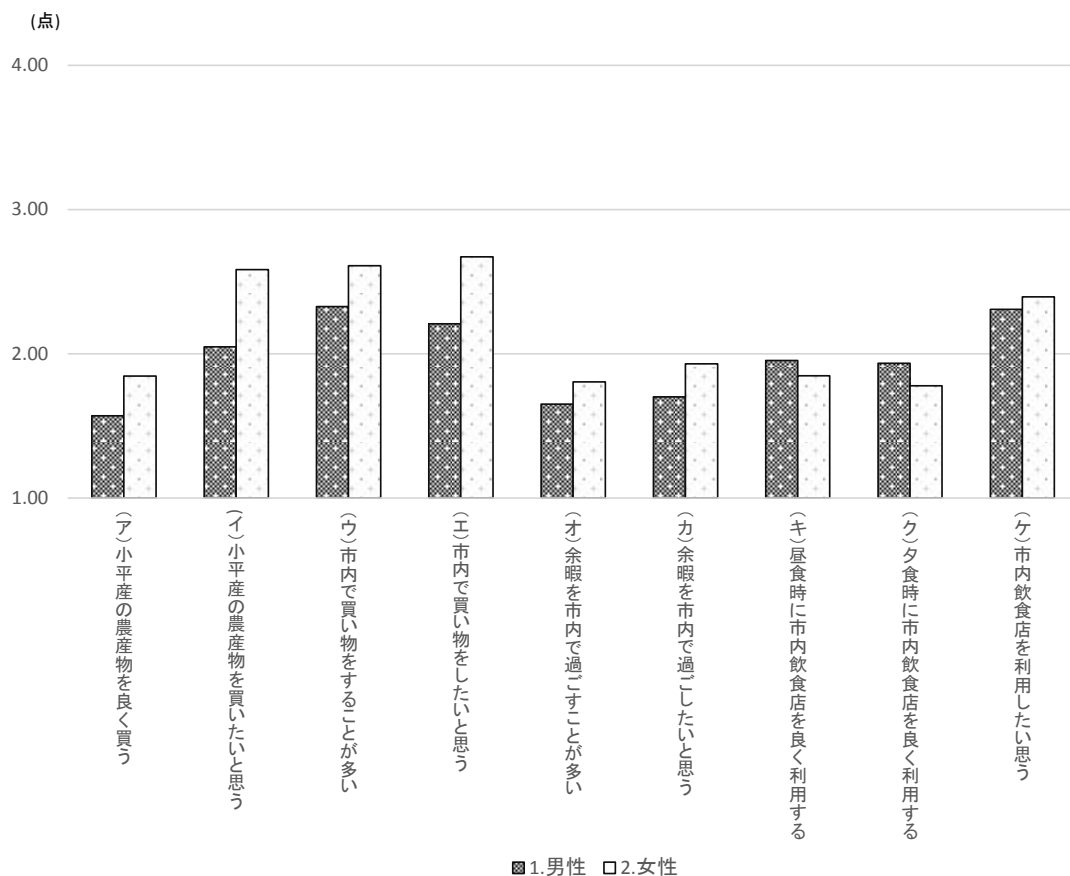


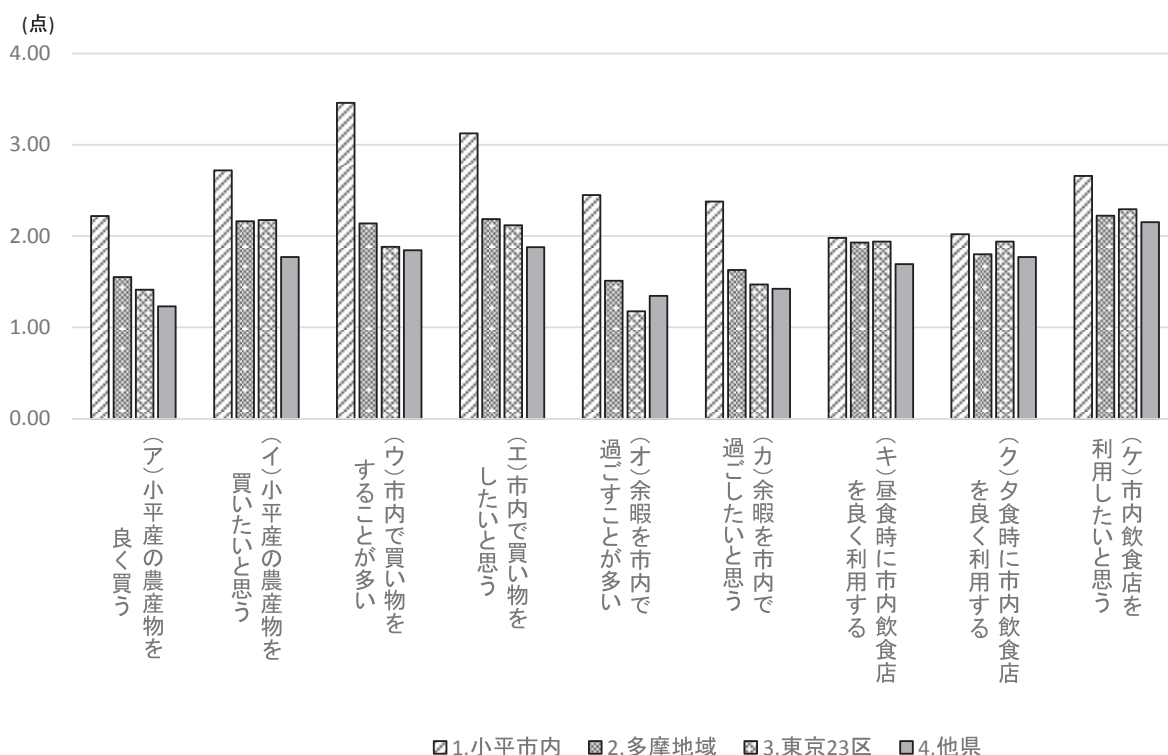
表 3-80 及び図 3-68 は、回答従業員の小平市内での消費頻度とニーズをスコア化したものを居住地別に表している。

「1.小平市内」在住者は、全ての項目において最もスコアが高く、関心が高いことが示された。また、「(イ)小平産の農産物を買いたいと思う」、「(キ)昼食時に市内飲食店を良く利用する」、「(ク)夕食時に市内飲食店を良く利用する」、「(ケ)市内飲食店を利用したいと思う」については、「1.小平市内」在住者とそれ以外での差が小さい傾向が示された。

表 3-80 小平市内での消費頻度とニーズ(居住地別)

	(ア)小平産の農産物を良く買う	(イ)小平産の農産物を買いたいと思う	(ウ)市内で買い物をすることが多い	(エ)市内で買い物をしたいと思う	(オ)余暇を市内で過ごすことが多い	(カ)余暇を市内で過ごしたいと思う	(キ)昼食時に市内飲食店を良く利用する	(ク)夕食時に市内飲食店を良く利用する	(ケ)市内飲食店を利用したいと思う
1.小平市内	2.22	2.72	3.46	3.13	2.45	2.38	1.98	2.02	2.66
2.多摩地域	1.55	2.16	2.14	2.19	1.51	1.63	1.93	1.80	2.22
3.東京23区	1.41	2.18	1.88	2.12	1.18	1.47	1.94	1.94	2.29
4.他県	1.23	1.77	1.85	1.88	1.35	1.42	1.69	1.77	2.15

図 3-68 小平市内での消費頻度とニーズ(居住地別)



問 3. 以下の項目について、それぞれ当てはまる度合いとして最も適切なものに○印をつけてください。

表 3-81 及び図 3-69 は、回答従業員の小平市に関する情報への関心について表している。それぞれの項目の「非常に当てはまる」、「やや当てはまる」を合計すると、「(ア)小平産の農産物に関する情報が欲しい」では 44.3%ではあったものの、他の 3 項目に関しては、50%以上となった。中でも「(エ)市内飲食店の情報が欲しい」については、「非常に当てはまる」、「やや当てはまる」を合計すると 62.0%となり、高い関心が示された。

表 3-81 小平市に関する情報への関心

	非常に当てはまる		やや当てはまる		あまり当てはまらない		全く当てはまらない		スコア	合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		件数	割合
(ア)小平産の農産物に関する情報が欲しい	20	11.2%	59	33.1%	59	33.1%	40	22.5%	2.33	178	100.0%
(イ)市内の買い物に関する情報が欲しい	18	10.1%	71	39.9%	53	29.8%	36	20.2%	2.40	178	100.0%
(ウ)市内で余暇を楽しめる場所の情報が欲しい	23	12.9%	75	42.1%	40	22.5%	40	22.5%	2.46	178	100.0%
(エ)市内飲食店の情報が欲しい	28	15.6%	83	46.4%	35	19.6%	33	18.4%	2.59	179	100.0%

図 3-69 小平市に関する情報への関心

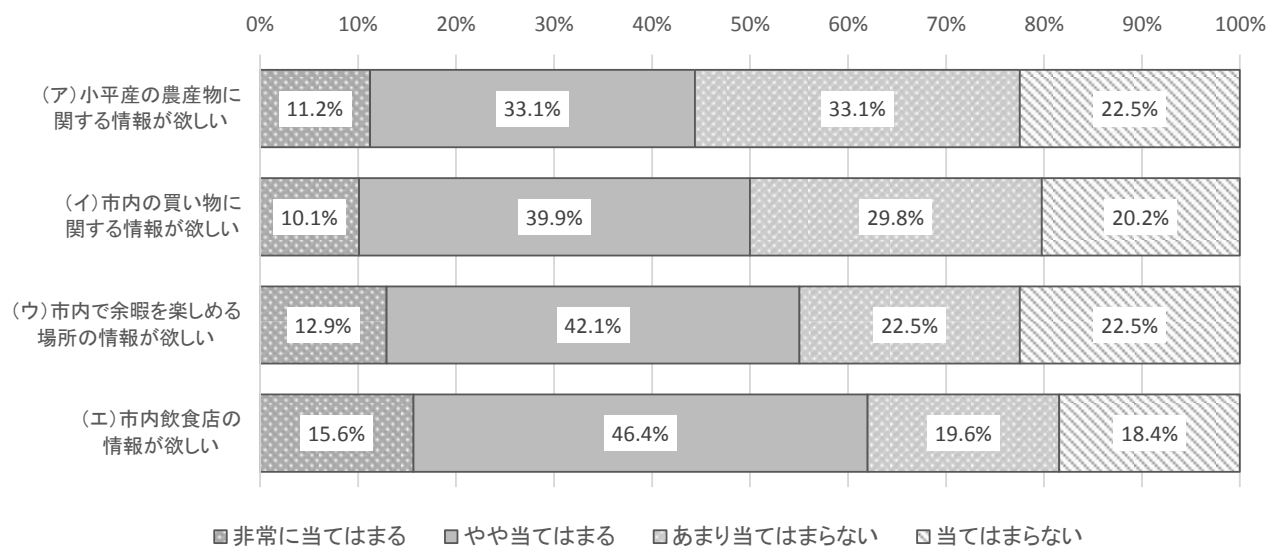


表 3-82 及び図 3-70 は、回答従業員の小平市に関する情報への関心をスコア化したものを男女別に表している。男女別にみると、全ての設問に対し、女性のスコアが高いことから、女性の方が小平市に関する情報を求めていることがわかる。

表 3-82 小平市に関する情報への関心(男女別)

	(ア)小平産の農産物に関する情報が欲しい	(イ)市内の買い物に関する情報が欲しい	(ウ)市内で余暇を楽しめる場所の情報が欲しい	(エ)市内飲食店の情報が欲しい
1.男性	2.01	2.13	2.25	2.44
2.女性	2.81	2.79	2.76	2.82
合計	2.33	2.40	2.46	2.59

図 3-70 小平市に関する情報への関心(男女別)

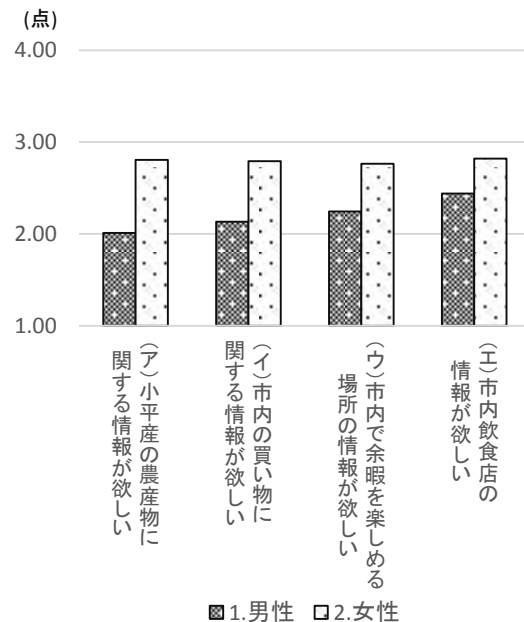
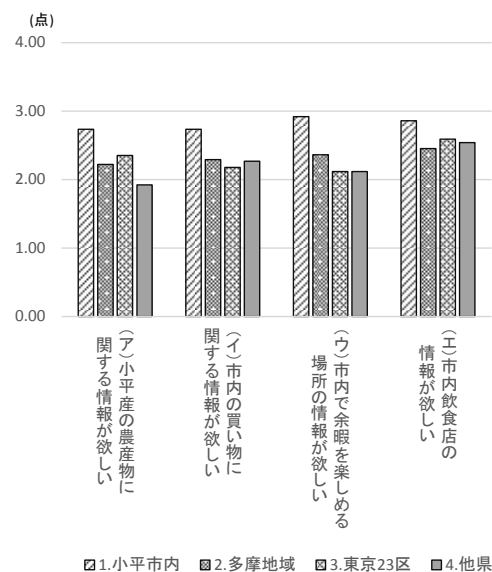


表 3-83 及び図 3-71 は、回答従業員の小平市に関する情報への関心をスコア化したものを居住地別に表している。居住地別にみると、「1.小平市内」在住者が全ての項目において高い関心が示された。

表 3-83 小平市に関する情報への関心(居住地別)

	(ア)小平産の農産物に関する情報が欲しい	(イ)市内の買い物に関する情報が欲しい	(ウ)市内で余暇を楽しめる場所の情報が欲しい	(エ)市内飲食店の情報が欲しい
1.小平市内	2.73	2.73	2.92	2.86
2.多摩地域	2.22	2.29	2.36	2.45
3.東京23区	2.35	2.18	2.12	2.59
4.他県	1.92	2.27	2.12	2.54

図 3-71 小平市に関する情報への関心(居住地別)



従業員アンケート調査の結果とその分析から以下のような点が明らかになった。

- 市内の飲食店の利用については、現在一定数の利用者がいるが、潜在的なニーズとギャップがあり、利用者増加の余地があることが明らかになった。また、飲食店については、店に関する情報が欲しいという意見も多く挙げられた。
- 半数近くの従業員が市内で買い物を行っていることが明らかになった。また、市内で余暇を過ごすことについては、あまり行われておらず、潜在的なニーズも小さい傾向が見られた。
- 現在、小平産農産物を購入している従業員は少数にとどまっている。一方、小平産農産物を購入したいと思っている従業員は多く、潜在的なニーズは高い。

3) 事業所ヒアリング調査

市内の14の事業所（大企業、中小企業の双方を含む）に対して、事業所の現状と課題や、小平市の立地上のメリット・デメリットなどについてヒアリング調査を実施した。ヒアリング調査を通じて、次のような点が明らかになった。

- 生産工場の多くは、かつては周囲に農地が多く都心部と比較して地価も安いというメリットがあったため、小平の地に立地した。しかし、現在は宅地化が進み、工場の操業がしづらい環境になっている。また、東京の最低賃金が高いことも生産工場の立地において逆風になっている。さらに、労働者の確保についても課題となっており、総じて市内における生産工場の立地環境は厳しい状況にある。現在の環境では、首都圏の外延部の方が立地上の優位性が高く、経済的な合理性からも今後市内に製造拠点の集積を促すことは厳しい状況にあり、今後市外への移転が進む可能性も考えられる。
- いくつかの事業所では生産拠点から設計・研究開発拠点への転換が図られている。設計・研究開発拠点としての立地メリットは、都心部との近接性を確保できること、さらに言えば「東京都」に立地しているというネームバリューを活かせることなどが挙げられた。設計・研究開発拠点として、小平の立地は「ちょうど良い」という声が挙げられている。
- 従業員規模の大きな事業所では、関連会社も入れて数千人の従業員が働いている所もある。そのような事業所では、従業員の飲食や買い物も含めて事業所内外で多くの消費活動が行われており、市内経済において少なくない影響力を持っていると考えられる。また、事業所内で農産物即売会などに取り組んでいる所もあり、非常に盛況であるという声が聞かれた。一方で、市内で消費できる店が少ないという声も多く聞かれ、需要を取り込めていない現状が明らかとなった。
- 本社機能を市内に置く理由として、かつて市内で事業を開始したことから小平市に愛着を感じ、現在も市内で事業を続けているという声が多く聞かれた。そのような企業では、小平市に対して何らかの貢献をしたいと考えていることも伺われた。
- 多くの企業で近隣住民との関係性を気にする声が挙げられた。発生する騒音、においへの対策などに取り組むだけでなく、事業所近隣の住民向けに社内見学の実施や、イベントへの参加・協賛などを行っている事例もあった。

4) 商店会ヒアリング調査

市内の 6 つの商店会に対して、商店街の現状と今後についてヒアリング調査を実施した。ヒアリング調査を通じて、次のような点が明らかになった。なお、ヒアリングを実施した商店会は、西武新宿線沿線、西武多摩湖線沿線、西武国分寺線沿線の駅が最寄り駅となる商店街である。

- 市内にある大手事業所の社宅の減少や住民の高齢化などを背景に、多くの商店街でかつてよりも客数が減少している。
- マンション開発などによって市内に住民が増えている商店街もあり、そういった商店街では女性向けの魅力的な飲食店や学習塾などが増加している。一方で、新たな住民の需要を上手く捉えることができていない店舗が多いという声も聞かれた。
- 住民があまり増えていない地域の商店街では、シャッターを閉める店が増えている。店主が店舗の上階に居住しているケースが多く、廃業した後は住居として店のシャッターを閉めたまま居住を続けることによって、店が「空店舗」とならず、商店街の魅力低下の一因となっている。また、利用者の高齢化とともに診療所やマッサージ店などは増加しているものの、生鮮食品や物販を扱う店舗が減少しており、商店街の日常の買い物需要を満たす機能は低下している。
- 現在、商店会ごとに様々なイベントを実施しており、店舗の認知度上昇や集客に一定の効果がある。一方、商店会加盟店の減少や店主の高齢化などによって、イベント開催にかかる負担も増しているとの声も聞かれた。
- 市内にある大学と連携を行っている商店会も見られた。

5) 小括

ここまでの調査から、小平市内の企業の現状と課題について以下の点が明らかになった。

- 業種や事業所の機能によって差があるものの、企業にとっての小平市の立地環境はかつてと比較して大きな変化が起きている。製造業の製造部門は、まちのベッドタウン化に伴ってその立地上の優位性を失いつつあり、今後の事業所数の増加は見込みづらい。その一方で、製造部門の研究開発機能への転換が進んでおり、市内就業者の職種転換が起きていると考えられる。また、介護・医療や、教育・学習支援業は、市場が厚みを増したことで事業所数を増やしている。このようなベッドタウン化の進展によって、市内産業の立地環境が変化してきている。
- より積極的な経営を志している企業ほど課題は多く、同時に行政への期待も大きい。市内や近隣市町村に多くの雇用を抱えるとともに小平市に愛着を感じている経営者も多く、厳しい経営環境の中でも市内で操業を続けながら成長を模索する企業が少なからず存在している。
- 小平市は、市内従業員のうち大きな事業所に勤務する人の割合が高いという特徴がある。従業員はあまり市内で消費を行っていないが、農産物の購入や市内での飲食店の利用については潜在的なニーズが大きい。
- 商店街の小売業は従来の顧客の転出や高齢化によって廃業し、シャッターを閉める店が増えている。一方で新規顧客を取り込めておらず、住民や市内雇用者のニーズとのミスマッチが起きている。